

RADIO CONTROLLED ELECTRIC POWERED SPECIAL RACING BUGGY
4WD OFF-ROAD RACER

TURBO OPTIMA MID

- FOUR-WHEEL DRIVE BY LIGHTWEIGHT, EFFICIENT TOOTHED BELT.
- EXTRA-LONG SUSPENSION TRAVEL FOR TOP HANDLING.
- MID-SHIP MOTOR POSITION FOR BEST WEIGHT DISTRIBUTION.
- STRONG, LIGHT ALUMINUM-ALLOY PLATE CHASSIS.
- OVERSIZE PRESSURE SHOCKS. ANTI-SWAY BARS F/R.
- GLASS-REINFORCED SUSPENSION ARMS FOR STRENGTH WITH LIGHT WEIGHT.
- LOW-PROFILE HIGH-GRIP TIRES.
- HIGH PERFORMANCE: LIGHT WEIGHT WITH TOP SUSPENSION ACTION.

1/10スケール 電動ラジオコントロール レーシング バギー

4WDオフロードレーサー ターボオプティマミッド



1:10 SCALE

BATTERY: 7.2V-1200mAh

RADIO: 2ch.

MOTOR: LeMMANS 240/360 TYPE
[NOT INCLUDED]



組立て説明書



KIT No. 3136

- 高い走行性を引き出す、ミッドシップタイプ
- ボールベアリング18個付(フルベアリング)
- プレッシャーダンパー4基標準装備
- ダブルウィッシュボーン4輪独立懸架サスペンション
- ジュラルミン製フラットパンシャーシ
- スタビライザーを前後に装備

■ 7.2V-1200mAhニカドバッテリー、ル・マン240/360タイプモーター、2chプロポ(アンプ仕様)別売

● 製品改良の為、予告なく仕様を変更する場合があります。

TURBO OPTIMA MID

組み立てる前によくお読み下さい。

○説明書をよく読む。

説明書は最後までよく読み、おおよその構造を理解してから組み立てに入るとスムーズに作業が進みます。



組立説明書

○キット内のパーツをチェックする。

キット内の各パーツが22、23ページの「袋詰パーツ一覧表」に通り入っているかよくおたしかめ下さい。



袋詰パーツ一覧表

組立を始めてからの商品の返品や交換はできませんが、万一組立中に不足や不良部品がありましたら愛用者カードに販売店の印をもらい、パーツ名をはっきりと書いて「京商サービス部」までご連絡下さい。

○説明書にでてくるマークをおぼえる。

SW/CEMENT ...ネジロック剤をつけるところ
(走行中の振動でビスやナットがゆるむのをふせぎ、またベルトカバーのシール剤としても使います。)

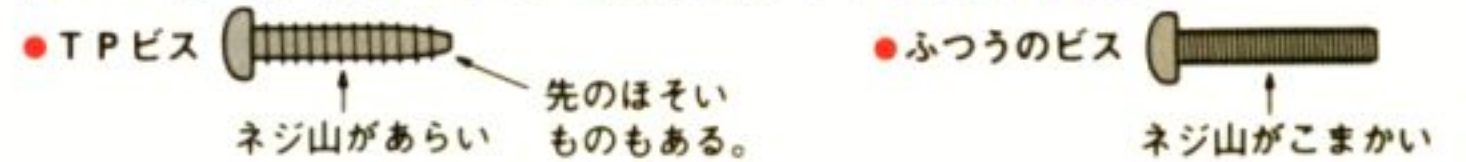
GREASE ...グリスをつけるところ
(パーツどうしのまさつをへらし、動きをなめらかにします。)



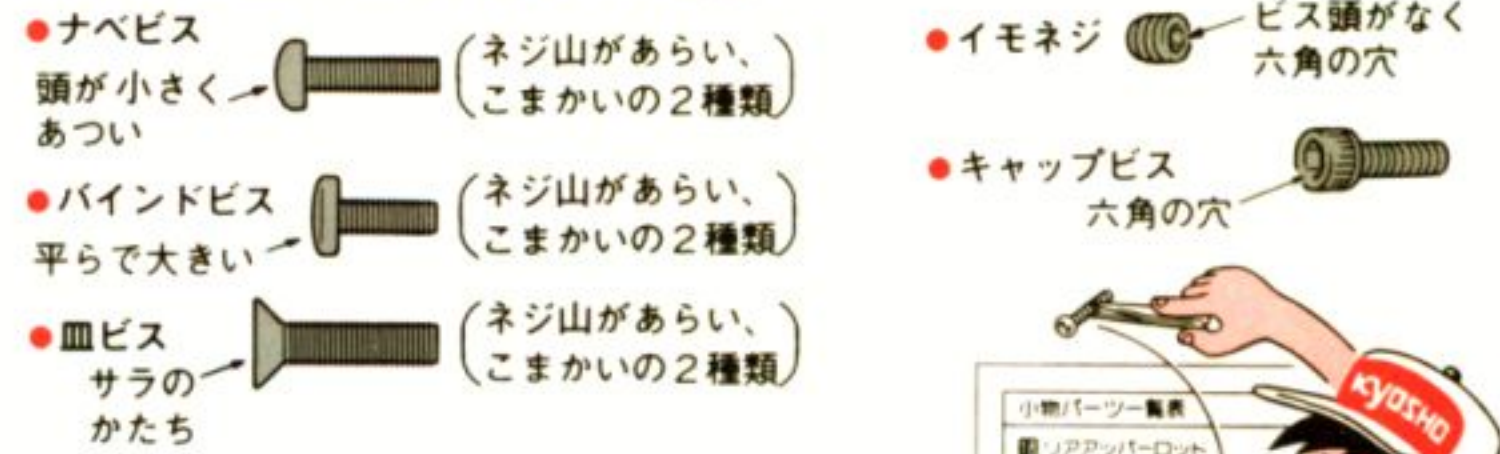
...組み立てのとき、注意するところ

○使用するビスのちがいをおぼえる。

1. TPビス(タッピングビスの略)とふつうのビスのちがいを

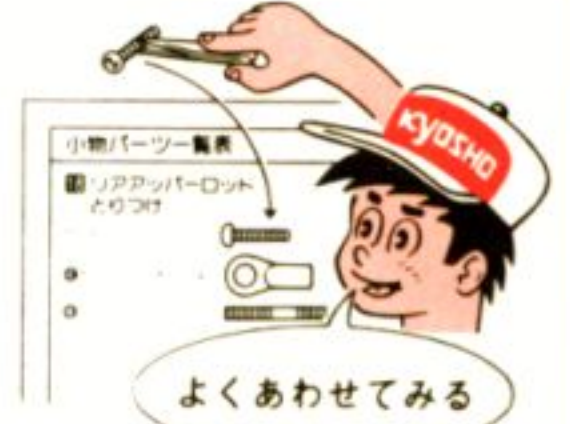


2. この説明書で使用するビスの種類



○小さいパーツの長さや形をたしかめる。

ビス、ナット、ワッシャーなどの小物のパーツは別紙の「小物パーツ一覧表」で長さや形を合わせてから使うようにしましょう。



よくあわせてみる

○パーツの向きと取付位置をたしかめる。

イラストでパーツの向きや取付る位置をよくたしかめること。組む前にパーツどうしを仮に合わせてみてOKだったら作業を進めるようにしましょう。



向き

○TPビスのしめつけはほどほどに。

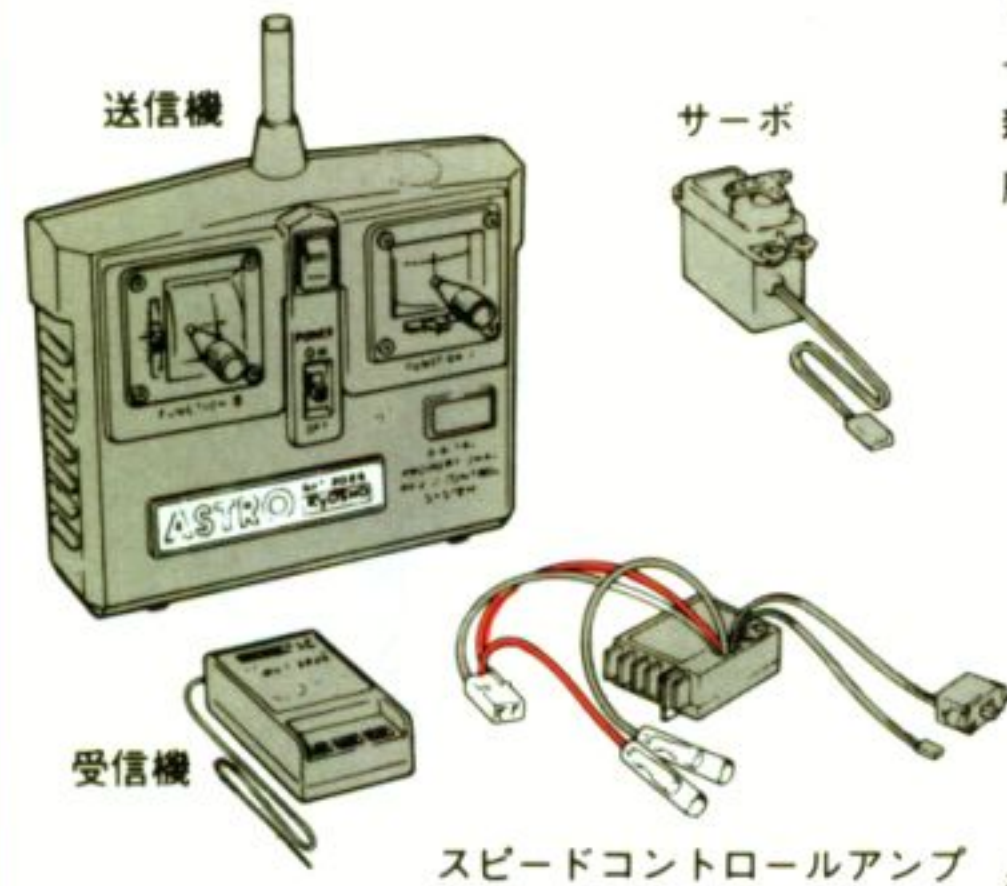
TPビスはパーツにネジを切りながらしめつけていくビスです。本車ではプラ部品の組立に使用しています。しめつける時、ネジ部分がプラ部品の中にかくれ、しめつけがきつなくなったらやめること。それ以上しめていくとプラ部品のネジを切っていくところがこわれ、TPビスがきかなくなります。



キットのほかに下記のものをおそろえ下さい。

<2チャンネルプロポ>

プロポにはスティックタイプとハンドルタイプがあります。自分に合った方をおえらび下さい。



<プロポ用電池>



単三電池 送信機用...8本

<ラジオコントロール用電波について>

ラジオコントロール用に使用できる電波は、下表のように「空用」「地上・水上用」に区別されています。必ず車・ボートには「地上・水上用」、飛行機には「空用」の電波をご使用下さい。

ラジオコン電波使用区分

新周波数の区分と表示方法

周波数 (MHz)	旗の色	呼び方	区分
40.61	青/茶	61	地上・水上用
40.63	青/橙	63	
40.65	青/緑	65	
40.67	青/紫	67	
40.69	青/白	69	
40.71	紫/茶	71	
40.73	紫/橙	73	
40.75	紫/緑	75	
40.77	紫/紫	77	
40.79	紫/白	79	
40.81	グレイ/茶	81	空用
40.83	グレイ/橙	83	
40.85	グレイ/緑	85	

従来電波区分

40.665MHz	ピンク	地上・水上用
40.695MHz	白	
①バンド	茶	地上・水上用
②	赤	
③	オレンジ	
④	黄	
⑤	グリーン	
⑥	青	



<走行用ニカドバッテリー>

このR/Cカーには下図のいずれかのバッテリーが使えます。

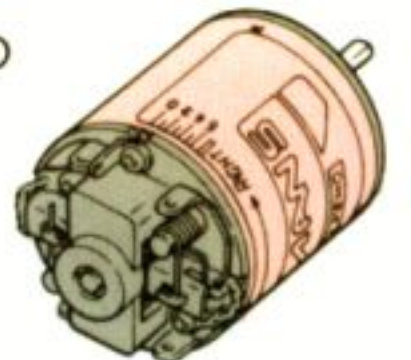


7.2V スプリントバッテリー-SCR 7.2V レーシングバッテリー

<モーター>

ターボオプティマミッドには下記のモーターが最適です。

- スバ240WS
- ル・マン スポーツH-240S
- ル・マン240SB



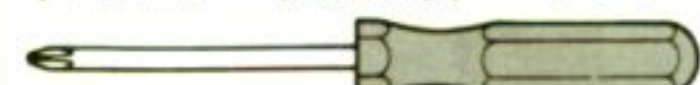
<ニカドバッテリーの充電器>

京商ニカドバッテリーは高性能で正しく充電すれば長期間使用できます。充電方法は家庭用100Vコンセントから行なう充電器と自動車のシガーライター又は12Vバッテリーから行なう急速充電器があります。使用目的に合った充電器を下の方より選んでお求め下さい。

品番	充電器名	充電時間	充電%	特長	価格
No.2221	スーパーニカド充電器 (AC100V)	14~16時間	100%	初心者向	¥1,700
No.2326	7.2Vパワーチャージャー (DC12V)	15分	約70%	初心者向 タイマー付	¥2,800
No.1846	マルチチャージャー (DC12V)	20分	100%	タイマー、電流計付	¥6,800
No.1845	ラムダクイックチャージャー (DC12V)	約20分	100%	デルタピーク検知式 トリクル充電機能付	¥9,800
No.2232	スーパーニカドAC急速充電器 (AC100V)	約40分	約80%	家庭用電源から充電 電子タイマー付	¥4,900

<組立に必要な用具> 六角レンチ、グリス、ネジロック剤はキットに入っています。

+ドライバー(大、中、小) -ドライバー(中)



ボックスドライバー (M3、M4ナット用)



カッター
ナイフ



ラジオペンチ



ラウンドカッター&サンダー



キリ



ニッパー



瞬間接着剤



京商ポリカラー
及びエンビ系塗料



京商マイクロ
ラインテープ



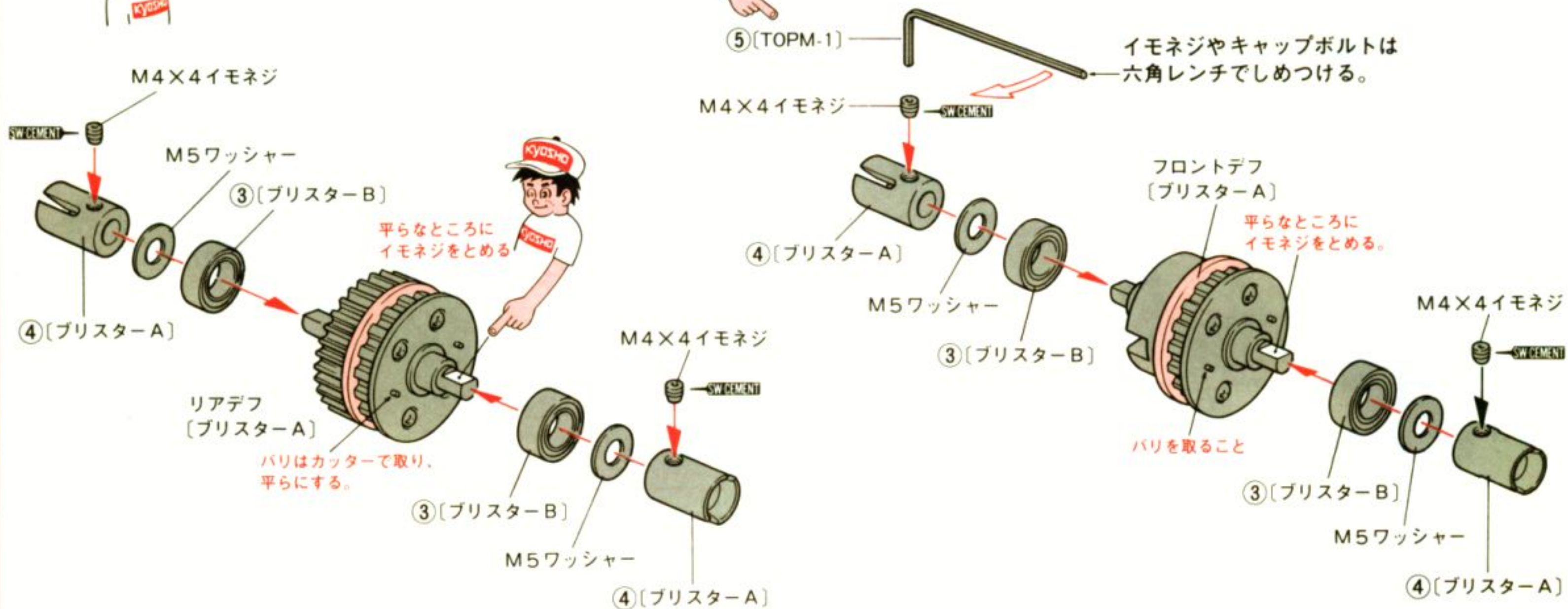
ハケ



1 ジョイントのとりつけ

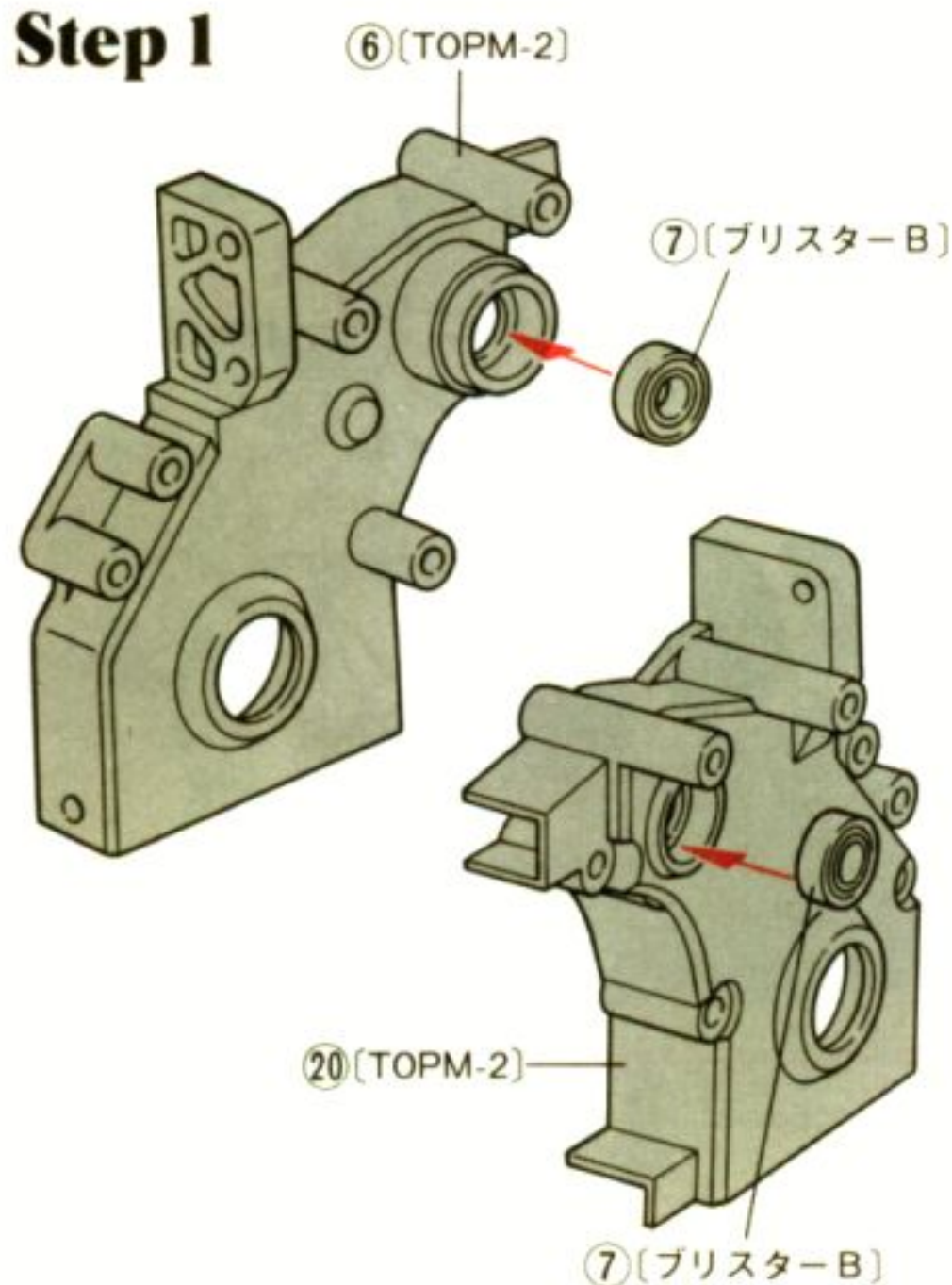


[]はパーツが入っている袋のヘッダーNO.です。パーツを袋から取り出した時、ヘッダーをすてないこと。ヘッダーを袋の中に入れておくか又はセロテープで袋にはりつけておきましょう。

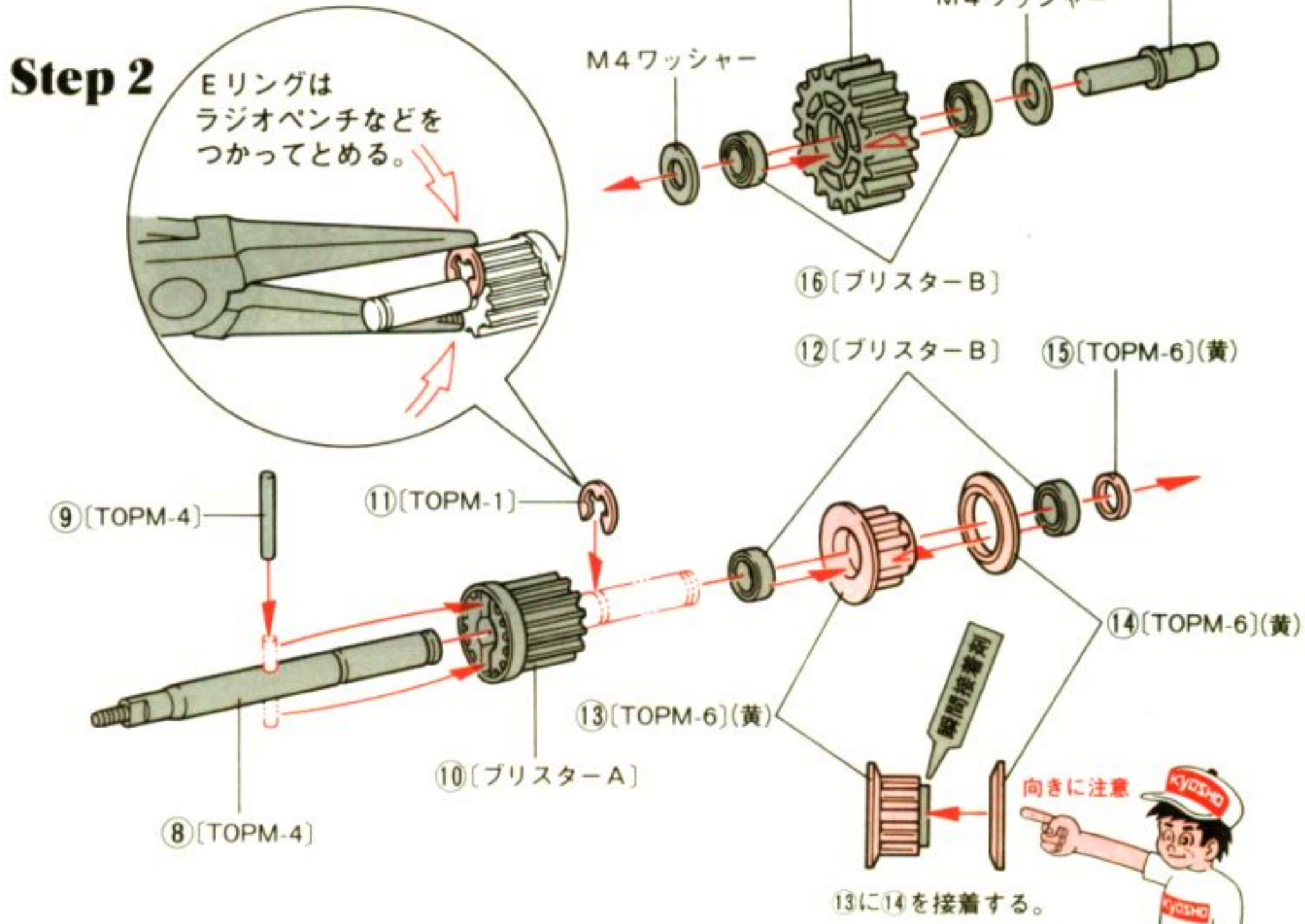


2 リアギヤボックスのくみだて

Step 1

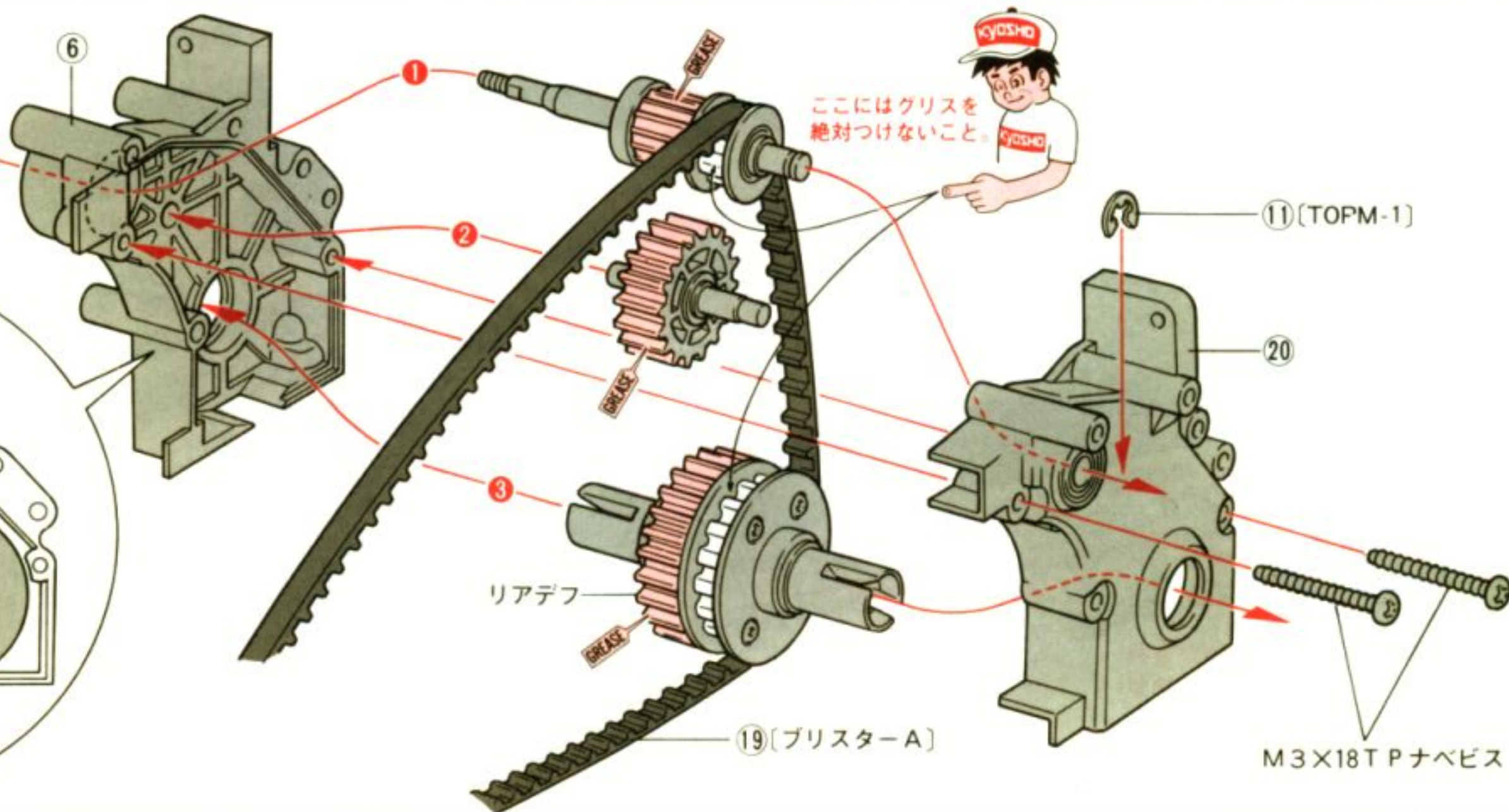
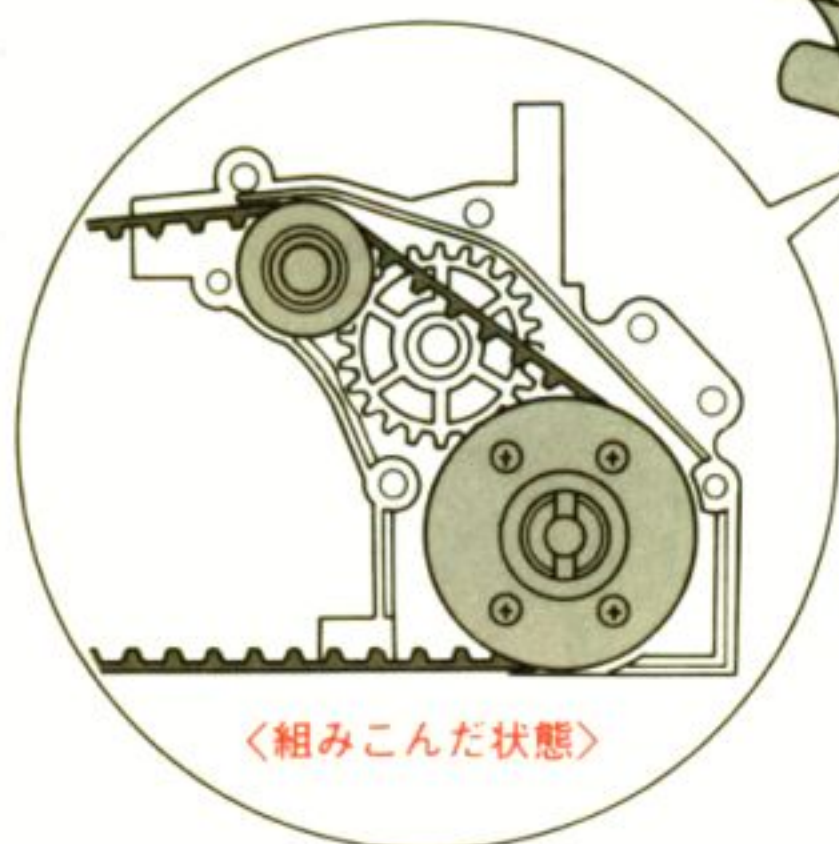


Step 2



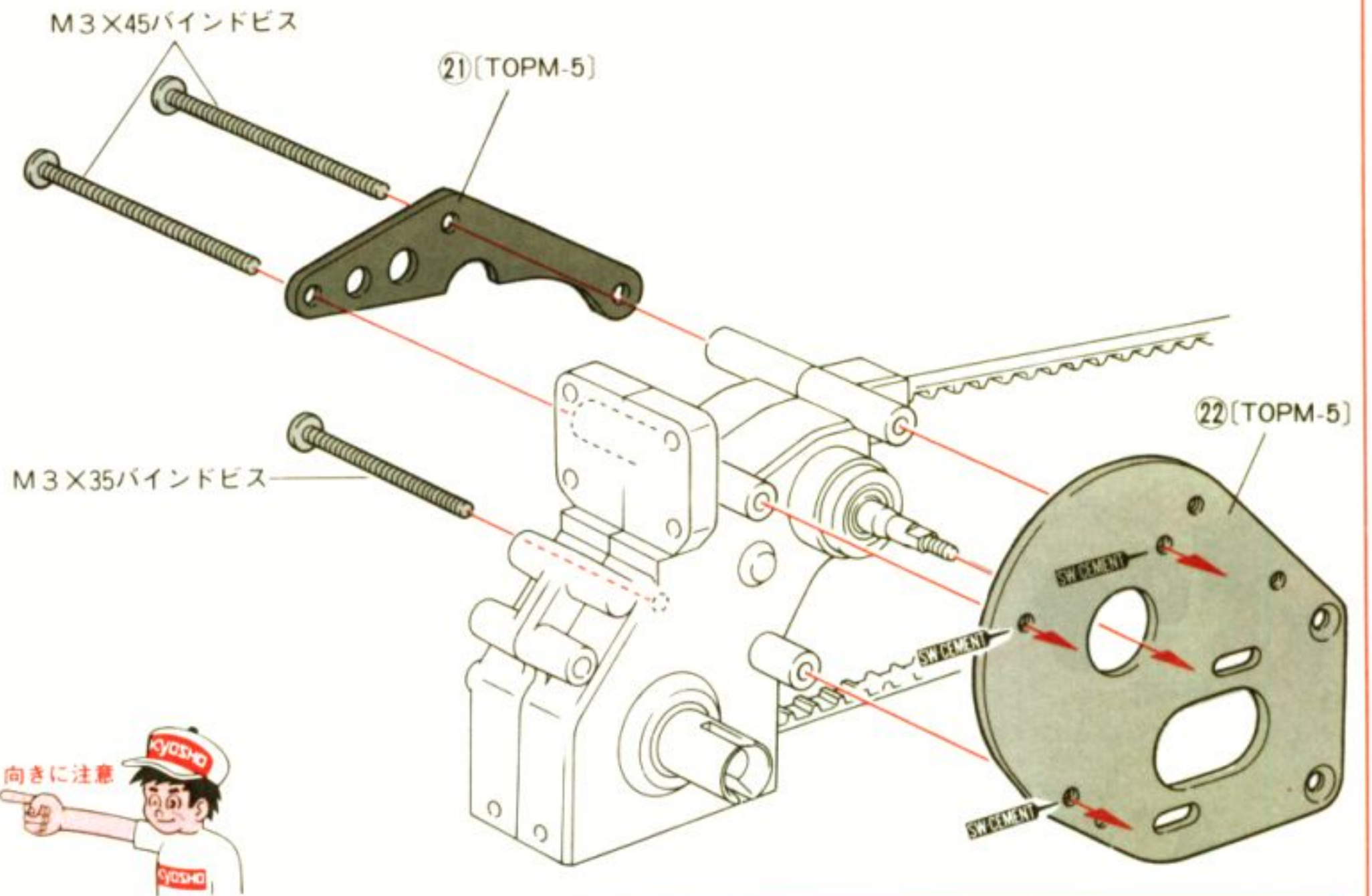
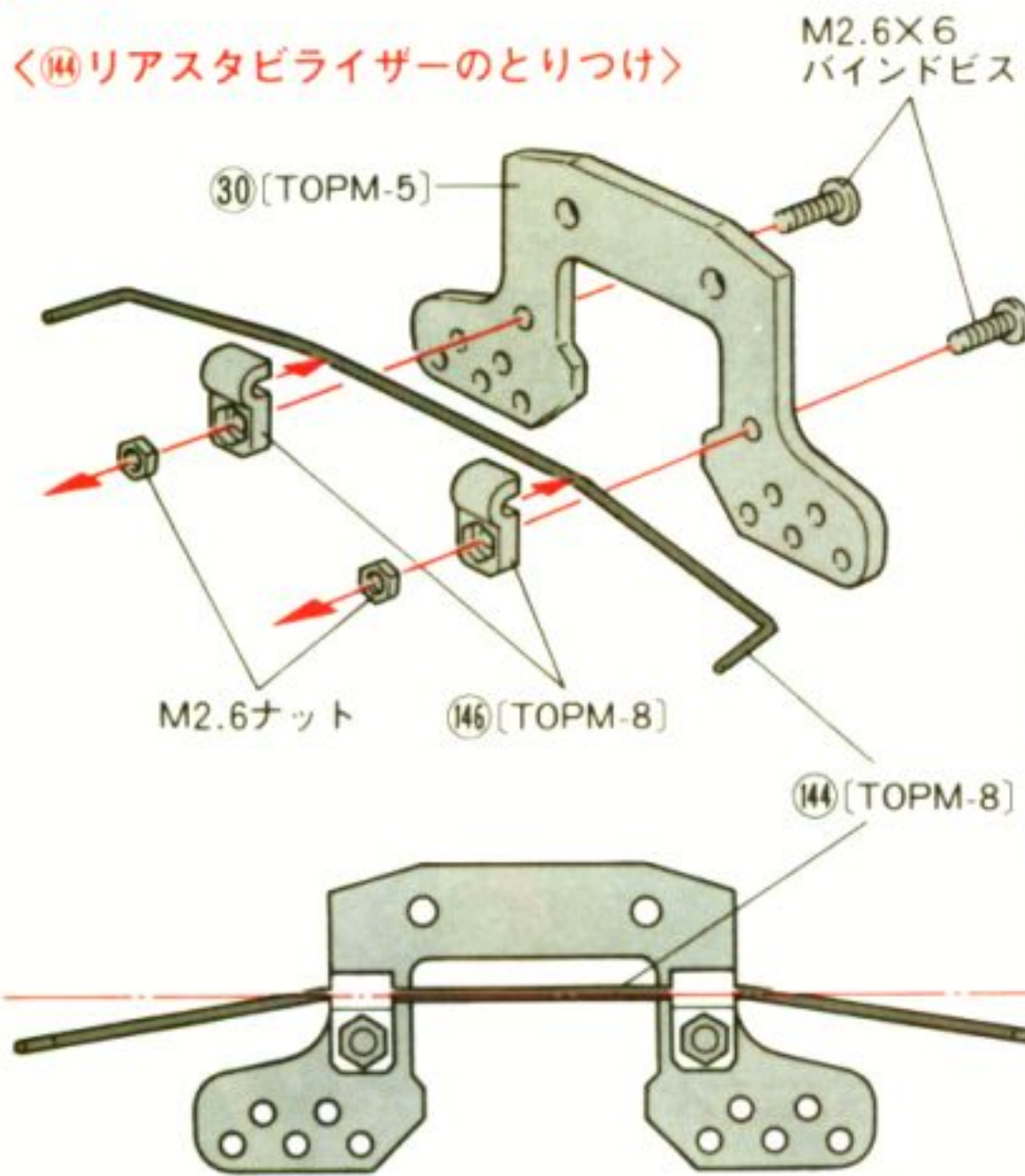
Step 3

①～③の順にセットしたら①⑨を下図のようにかけ、②⑩をかぶせてビス止める。



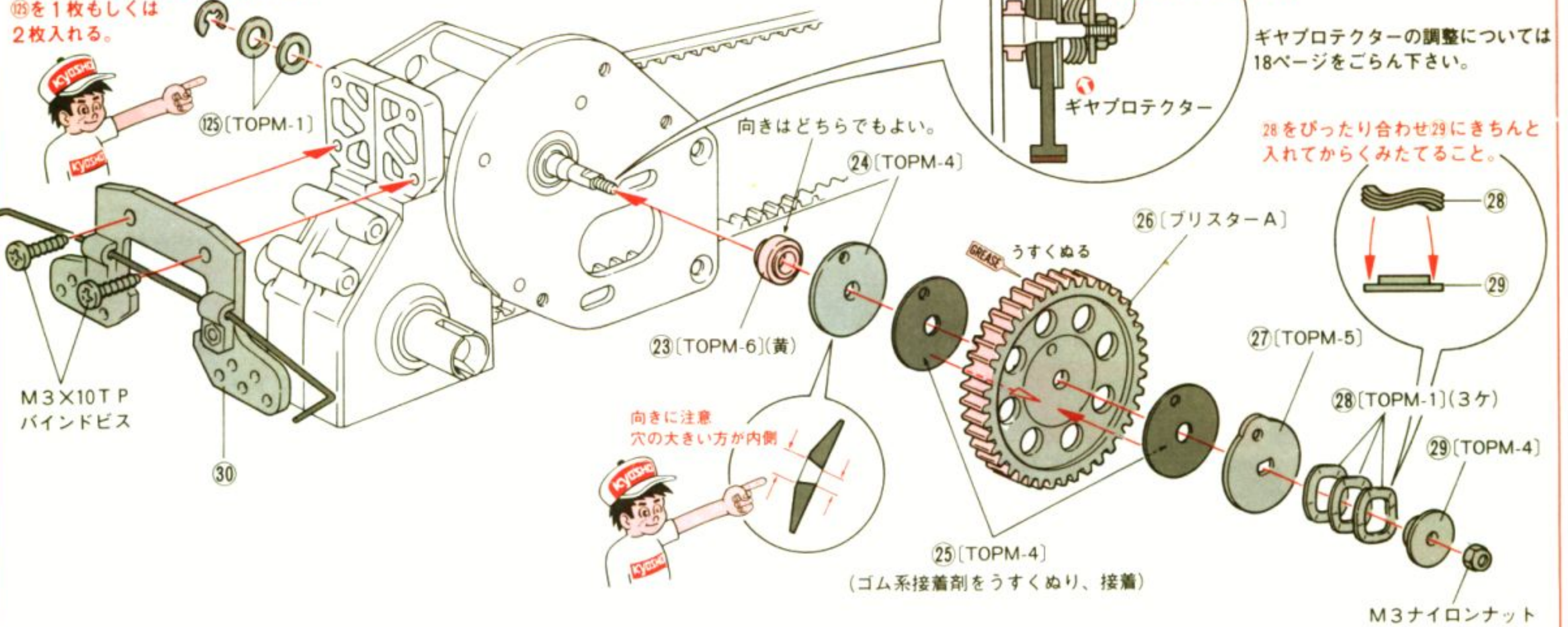
3 リアプレートのとりつけ

＜⑭リアスタビライザーのとりつけ＞

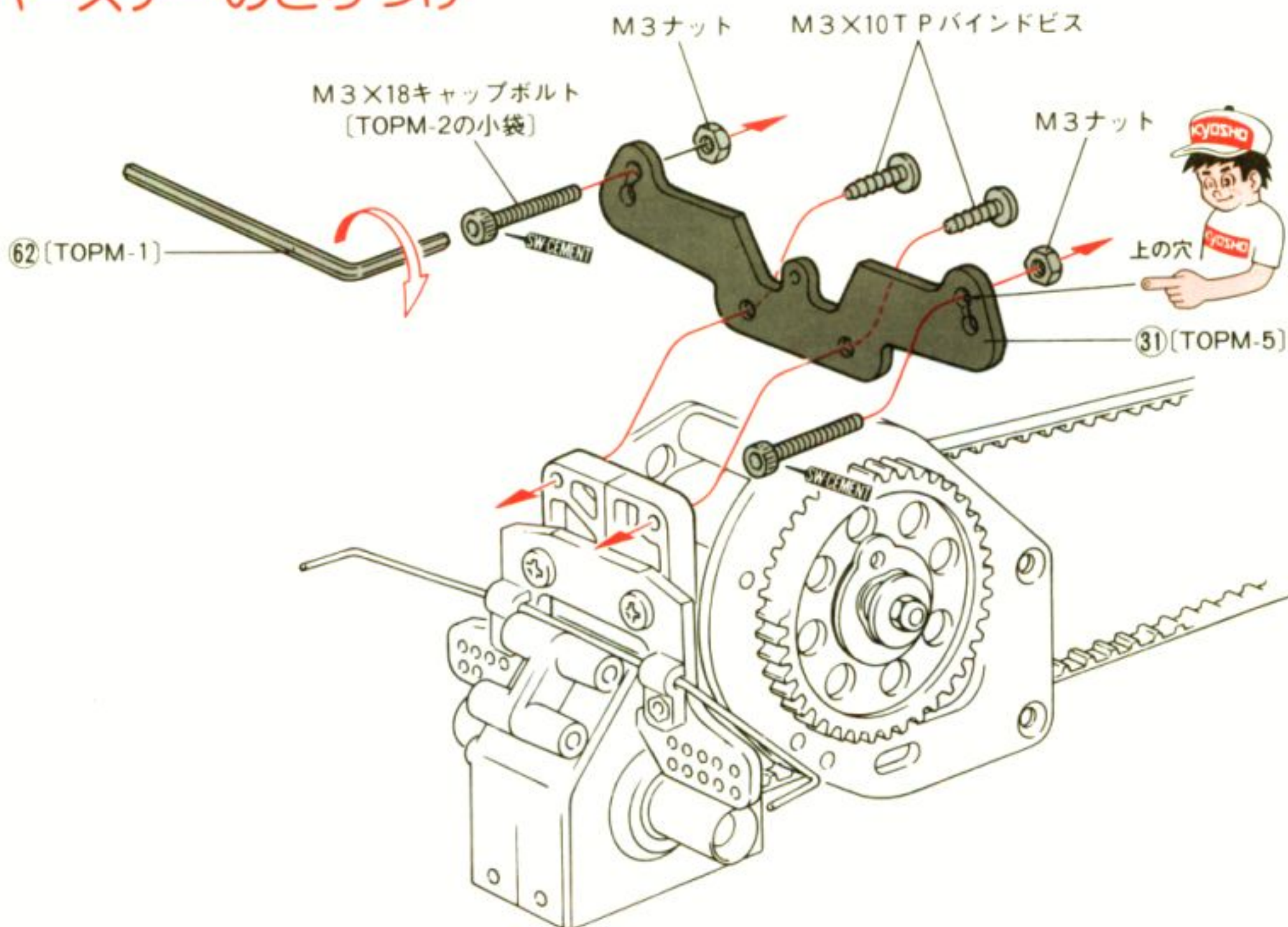


4 スパーギヤのとりつけ

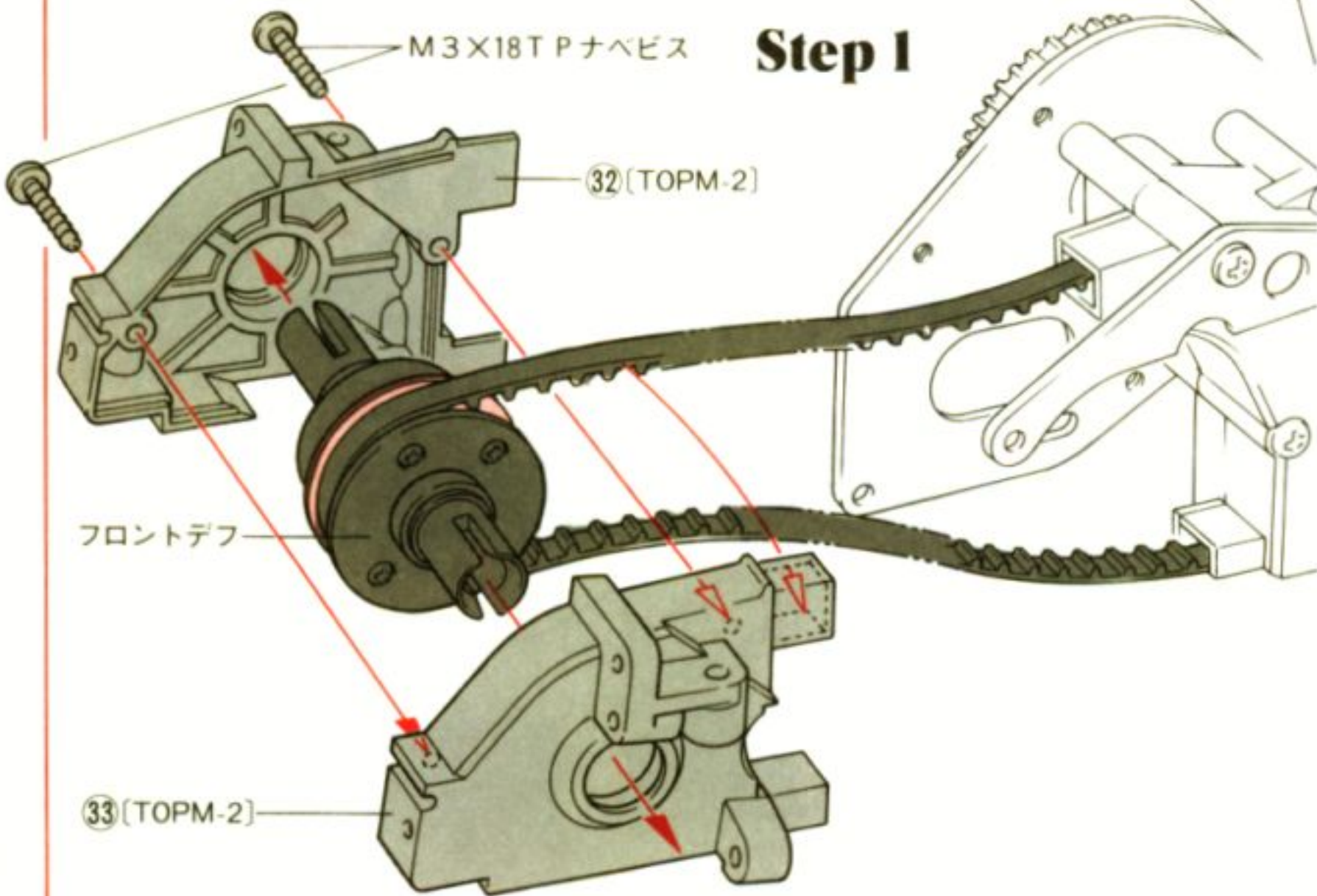
右図のようにくみだててガタがある場合、こちらのEリングをいったんはずし、⑳を1枚もしくは2枚入れる。



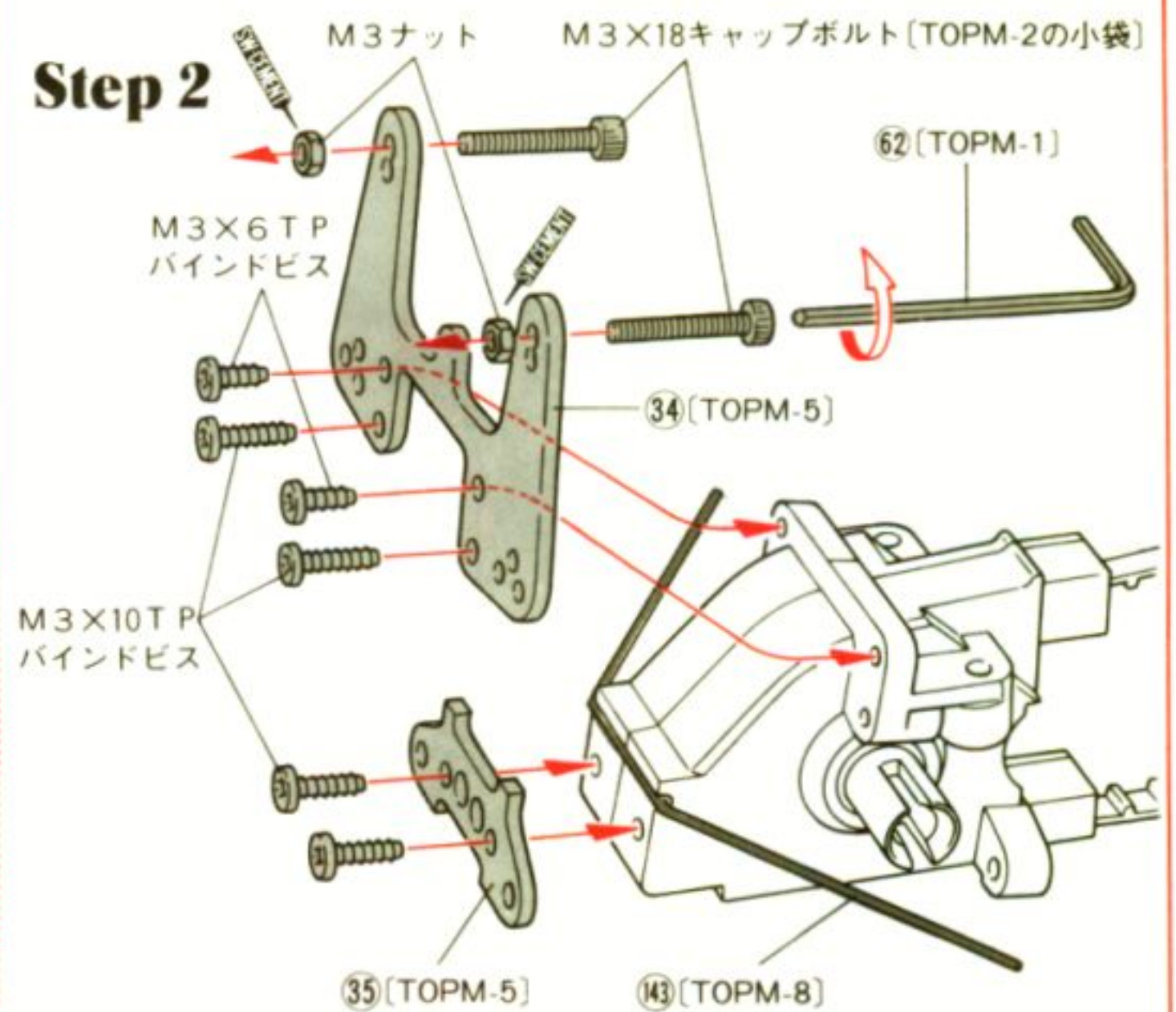
5 リアダンパーステーのとりつけ



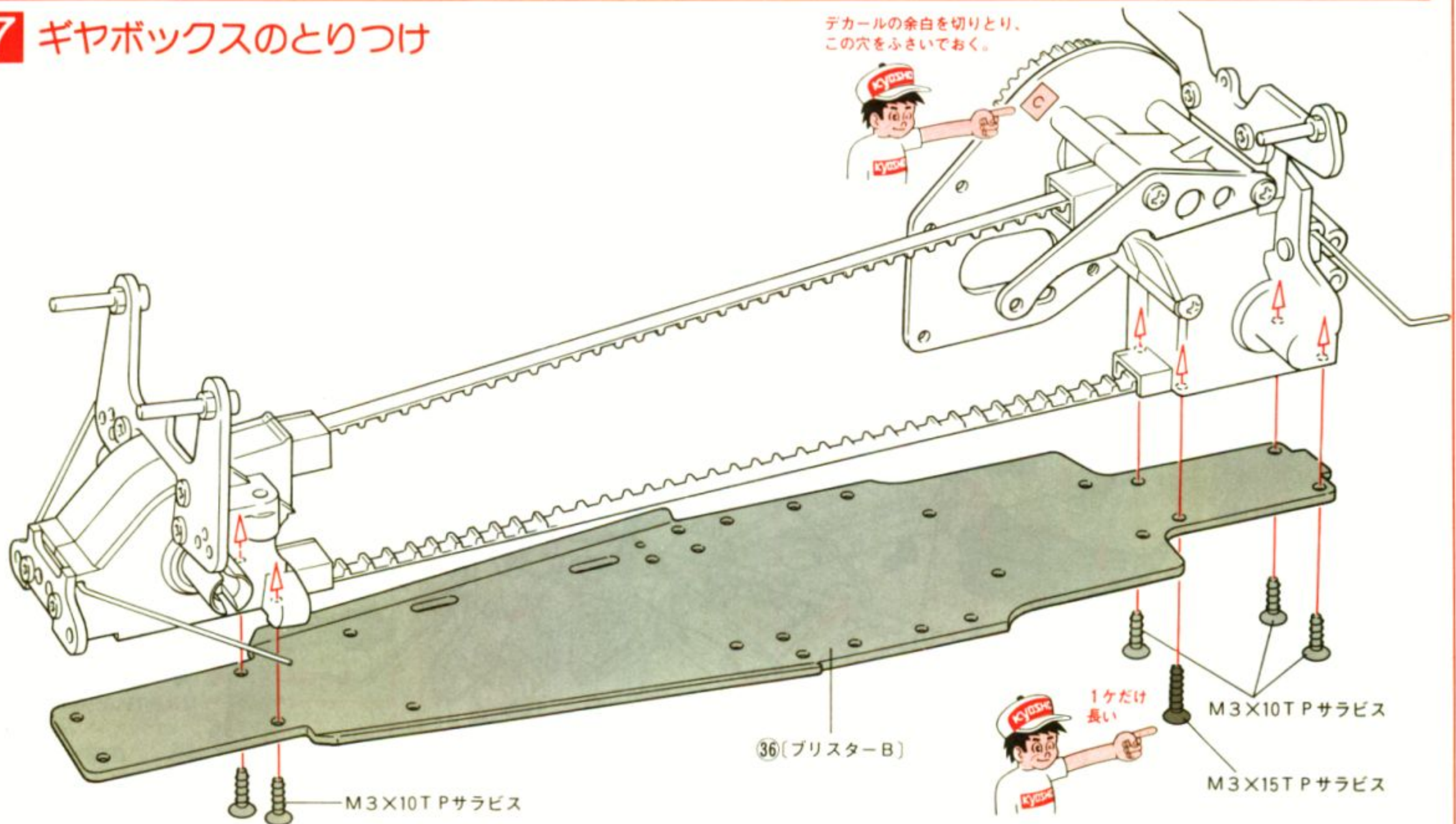
6 フロントギヤボックスのくみだて



Step 2



7 ギヤボックスのとりつけ

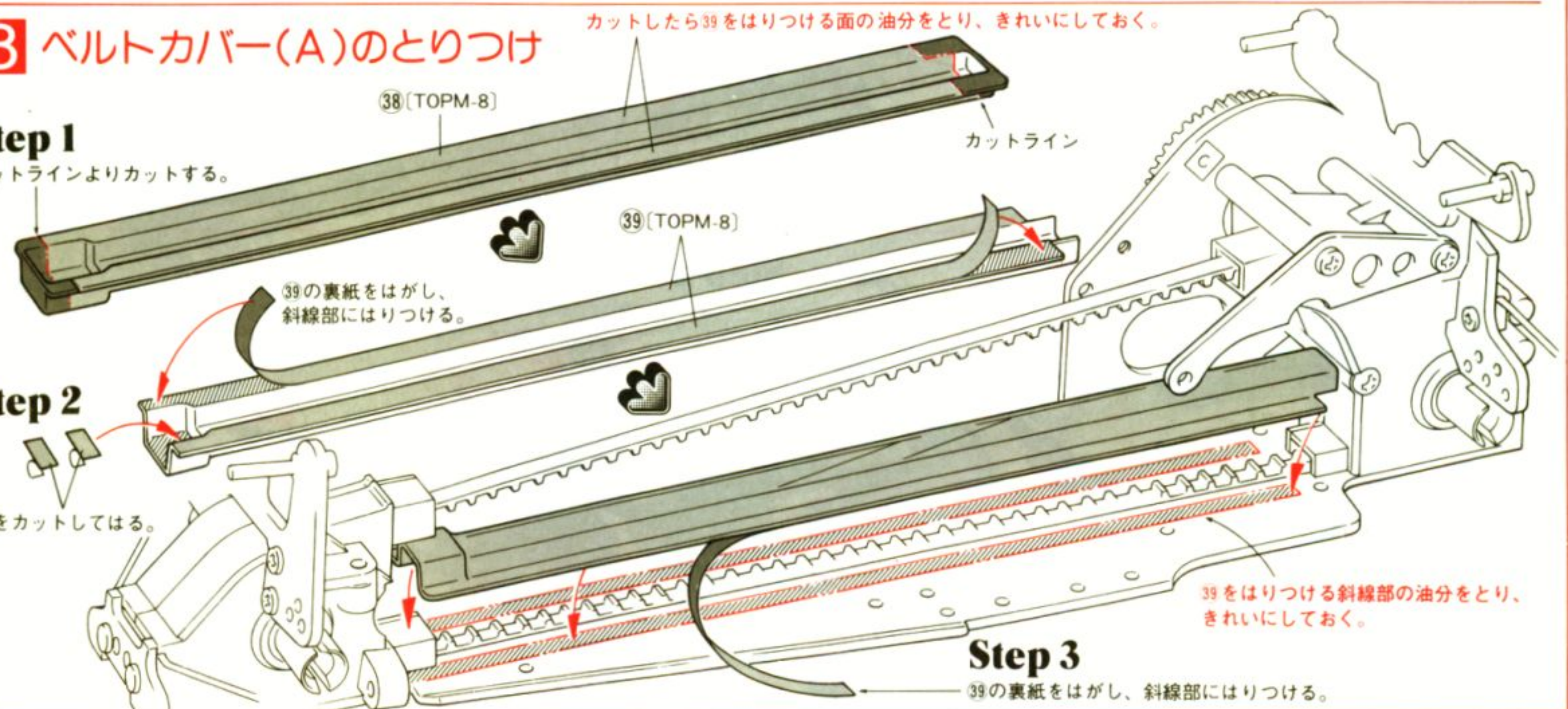


8 ベルトカバー(A)のとりつけ

カットしたら39をはりつける面の油分をとり、きれいにしておく。

Step 1

カットラインよりカットする。



Step 2

39をカットしてはる。

39の裏紙をはがし、
斜線部にはりつける。

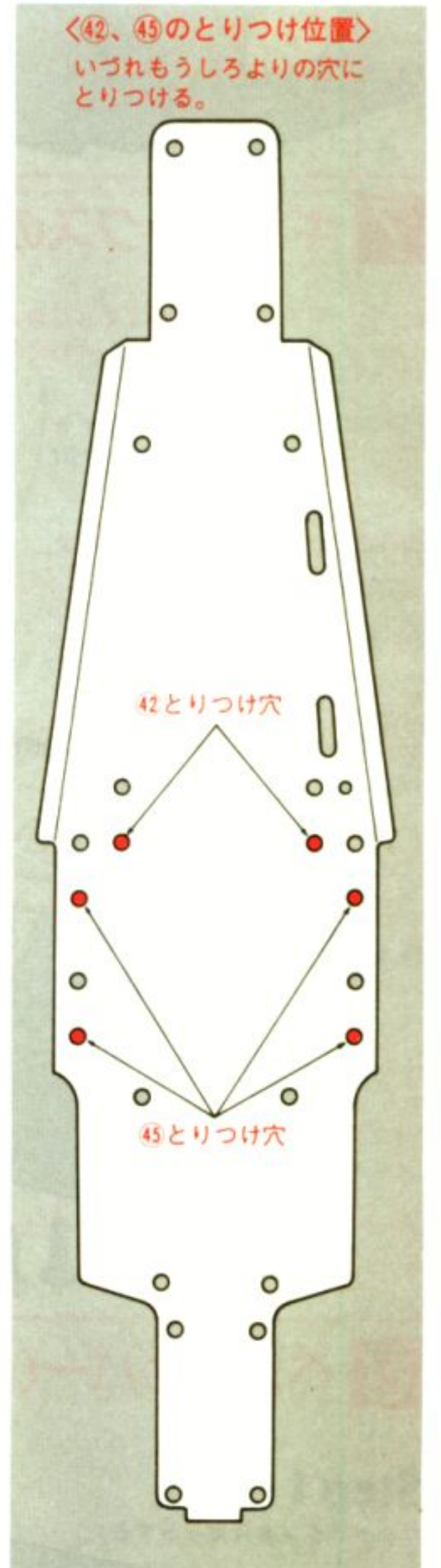
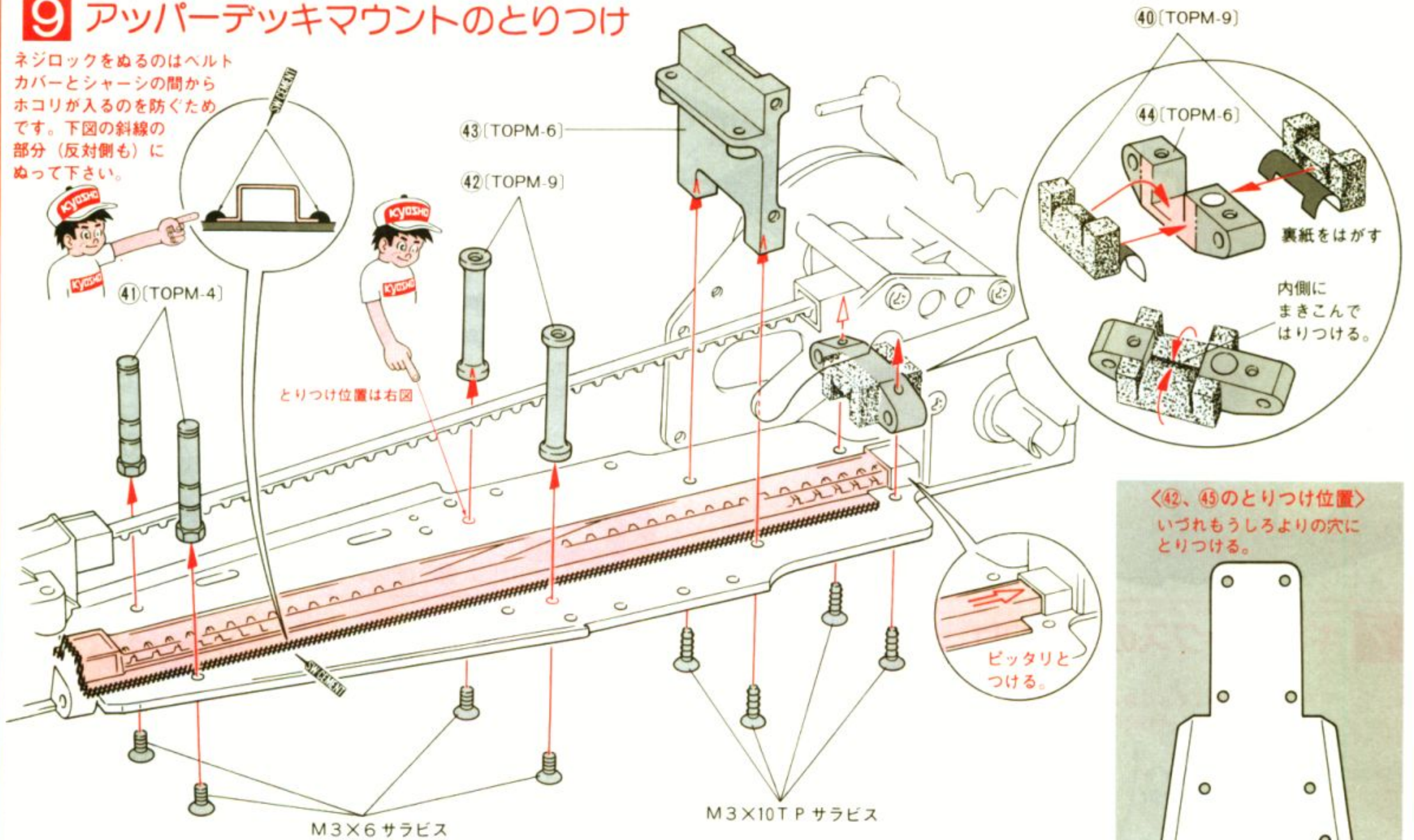
39をはりつける斜線部の油分をとり、
きれいにしておく。

Step 3

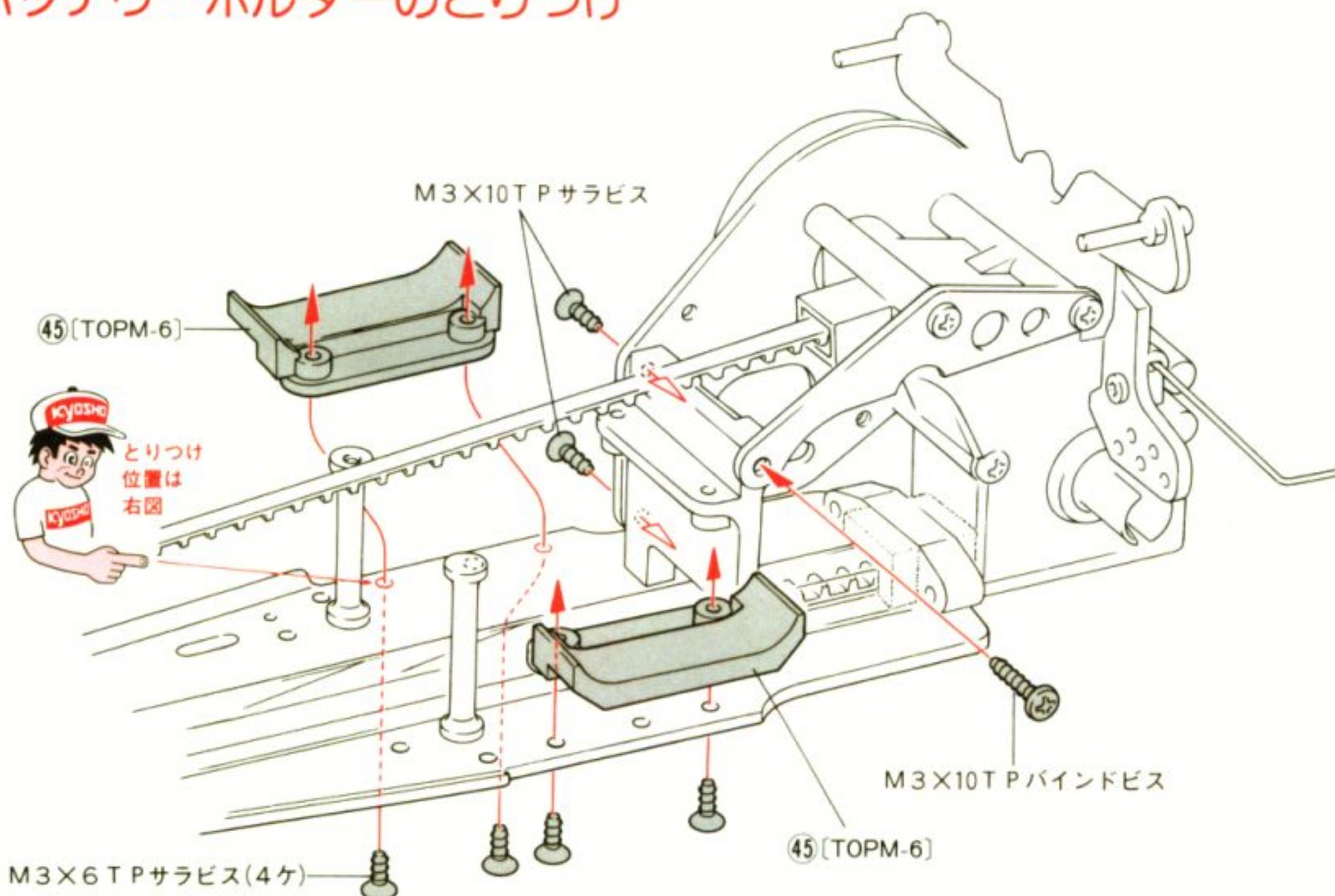
39の裏紙をはがし、斜線部にはりつける。

9 アッパーデッキマウントのとりつけ

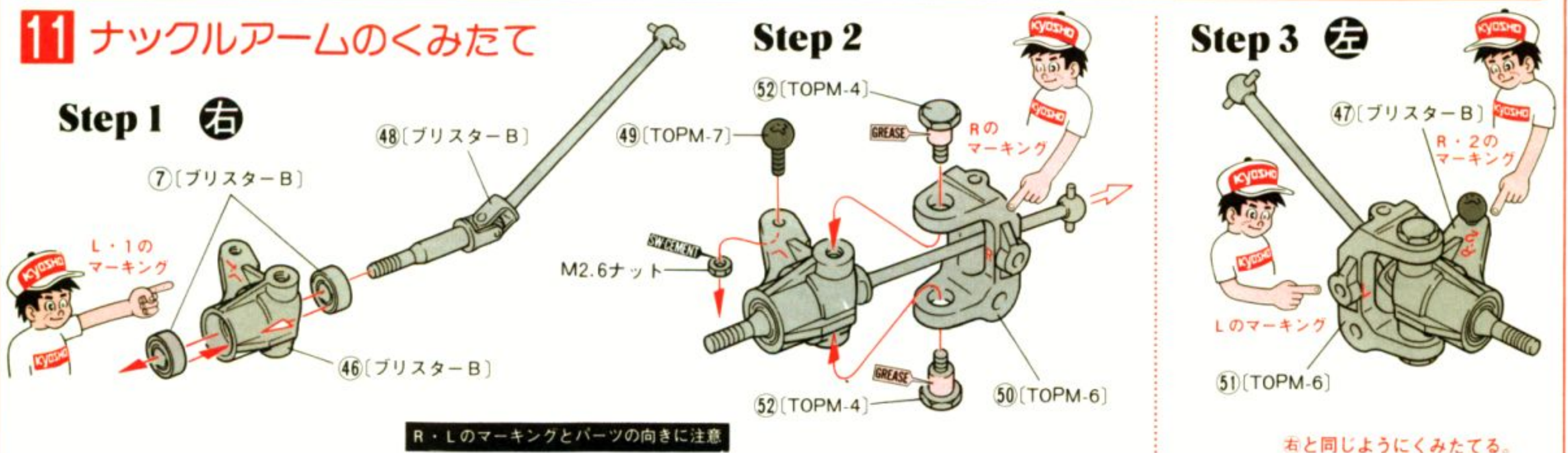
ネジロックをぬるのはベルトカバーとシャーシの間からホコリが入るのを防ぐためです。下図の斜線の部分（反対側も）にぬって下さい。



10 バッテリーホルダーのとりつけ



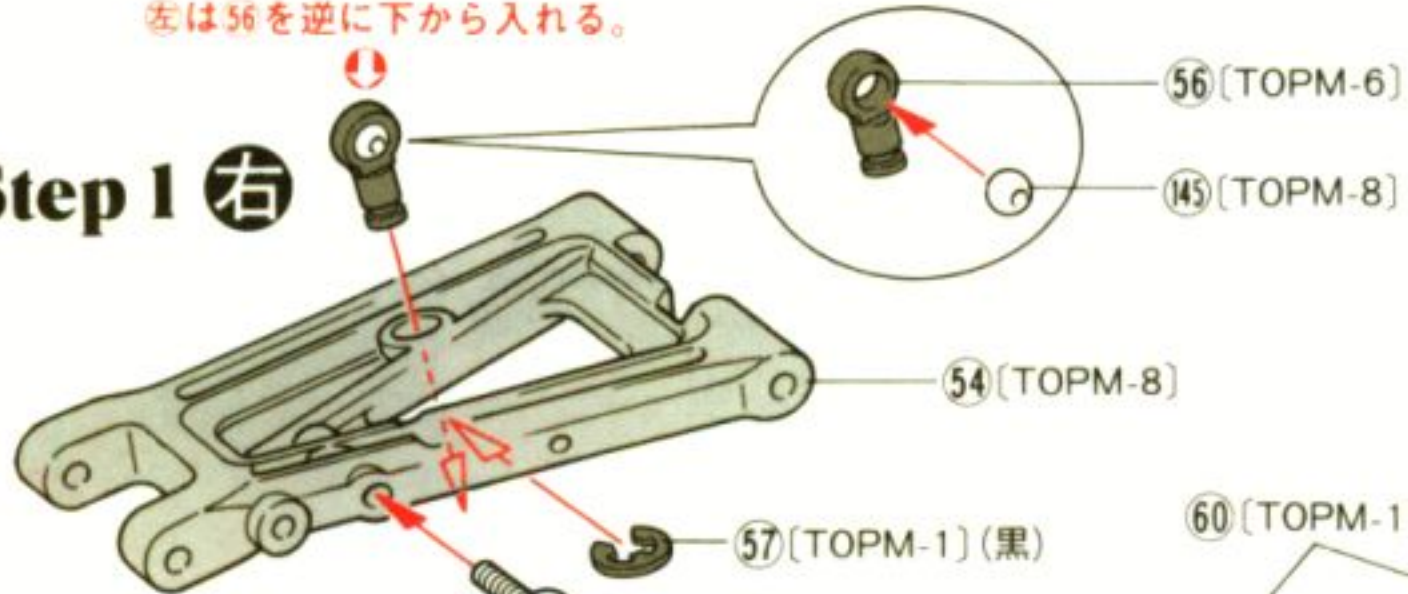
11 ナックルアームのくみたて



12 フロントサスアームのとりつけ

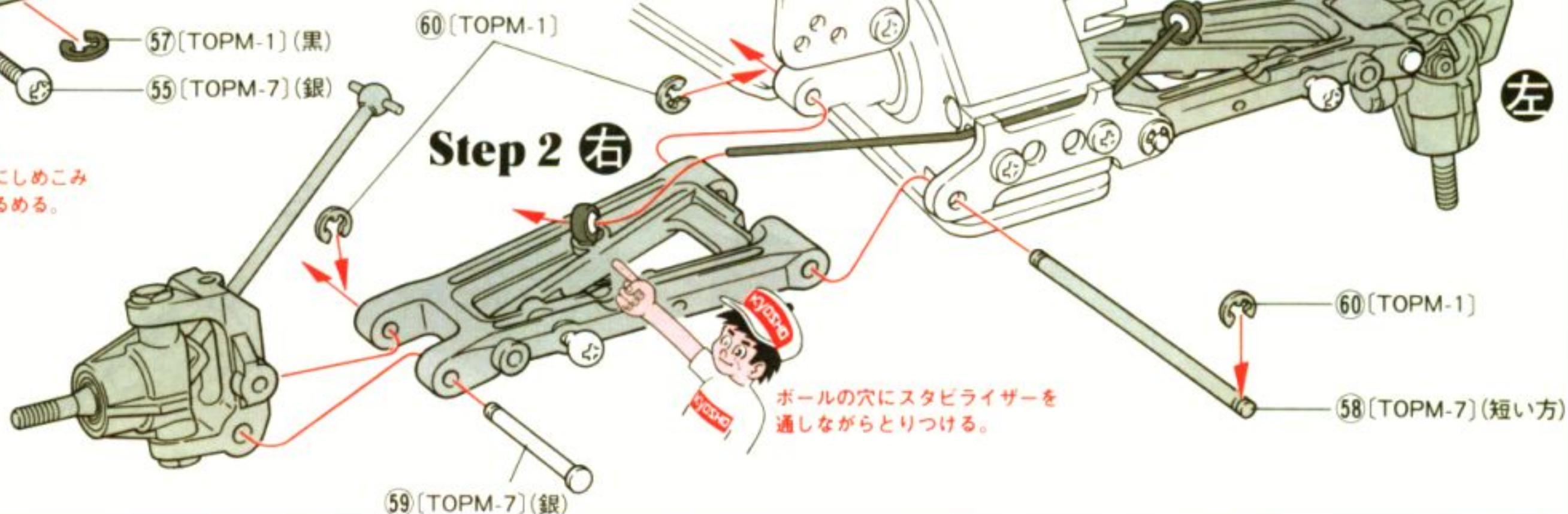
左は56を逆に下から入れる。

Step 1 右



いっぱいにしめこみ
1回転ゆるめる。

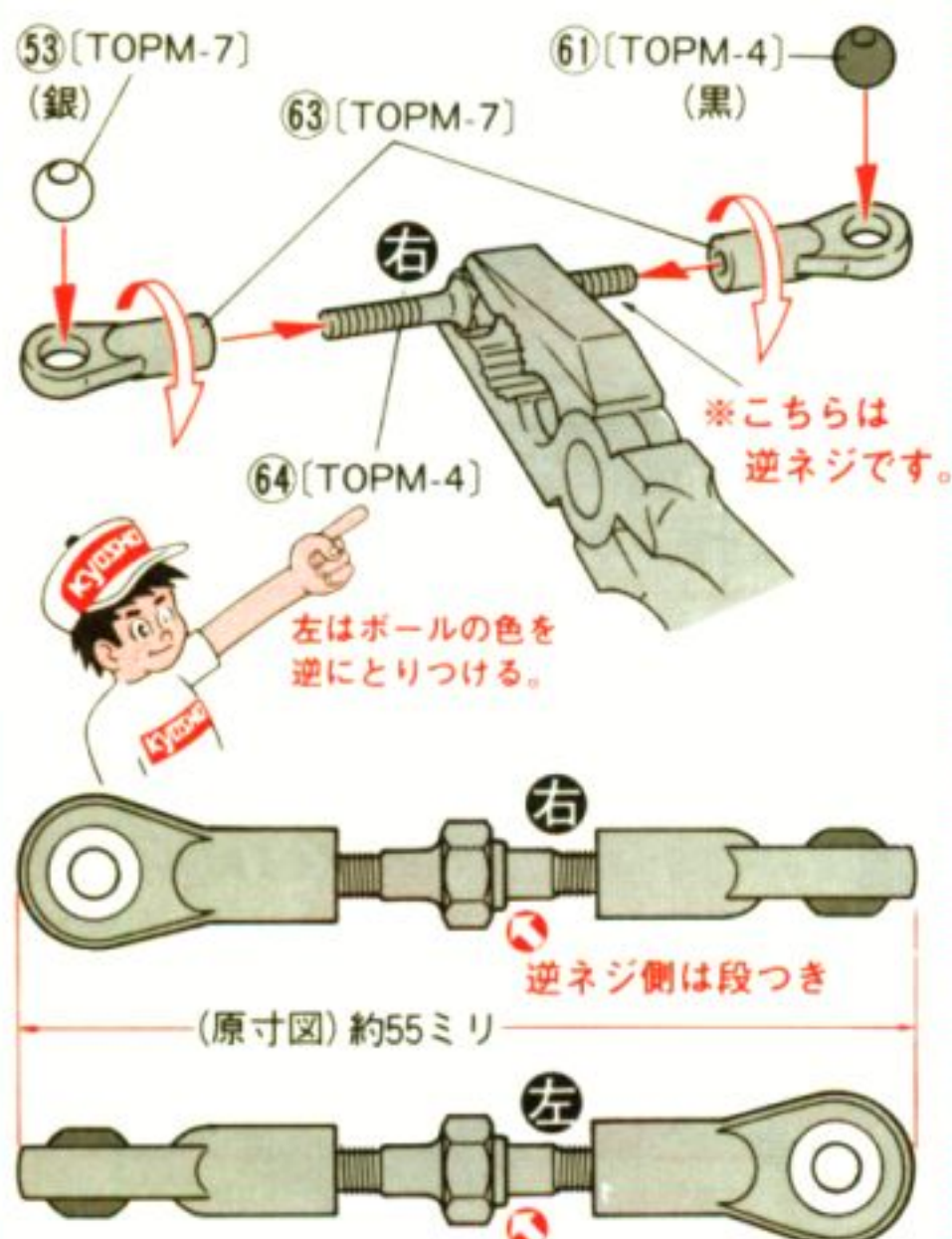
Step 2 右



ボールの穴にスタビライザーを
通しながらとりつける。

13 フロントアッパーロッドのとりつけ

Step 1 <アッパーロッドを2本つくります>



※こちらは
逆ネジです。

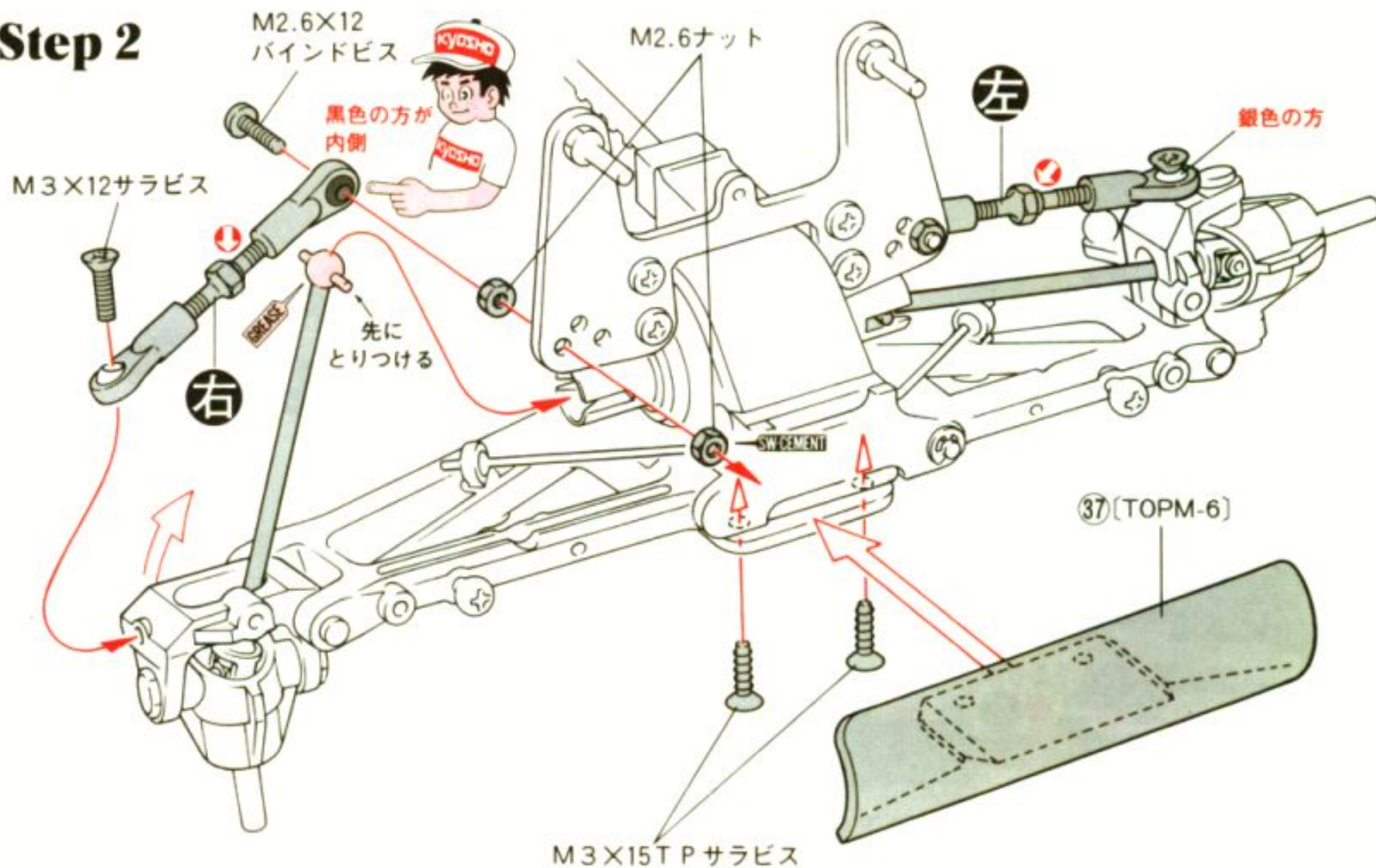
左はボールの色を
逆にとりつける。

逆ネジ側は段つき

(原寸図) 約55ミリ

※長さの調節のしかたは18ページをごらん下さい。

Step 2



M2.6×12
バインドビス

黒色の方が
内側

M2.6ナット

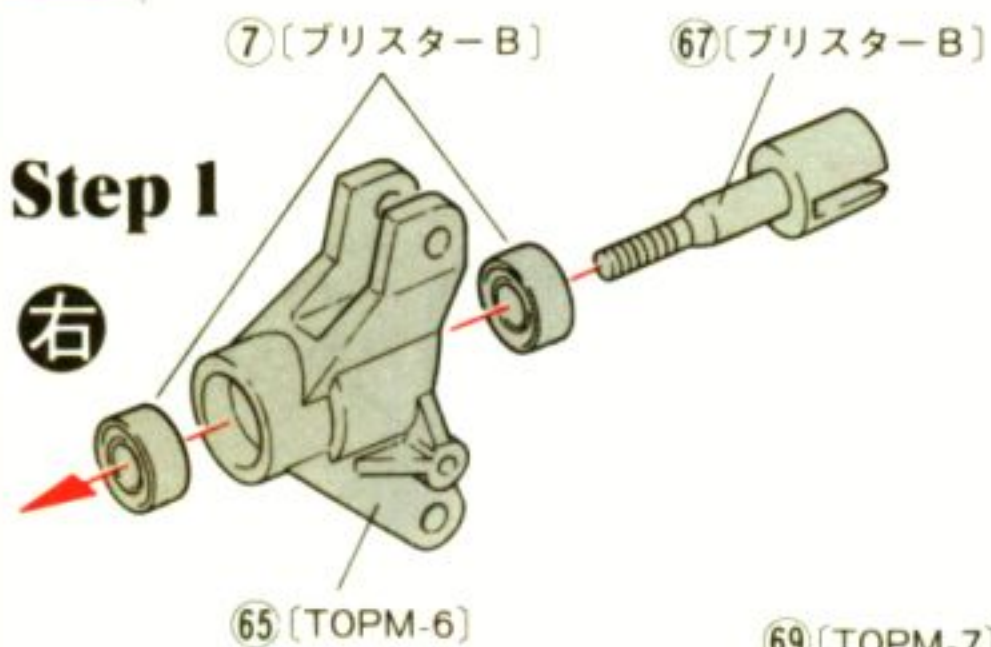
M3×12サラビス

先に
とりつける

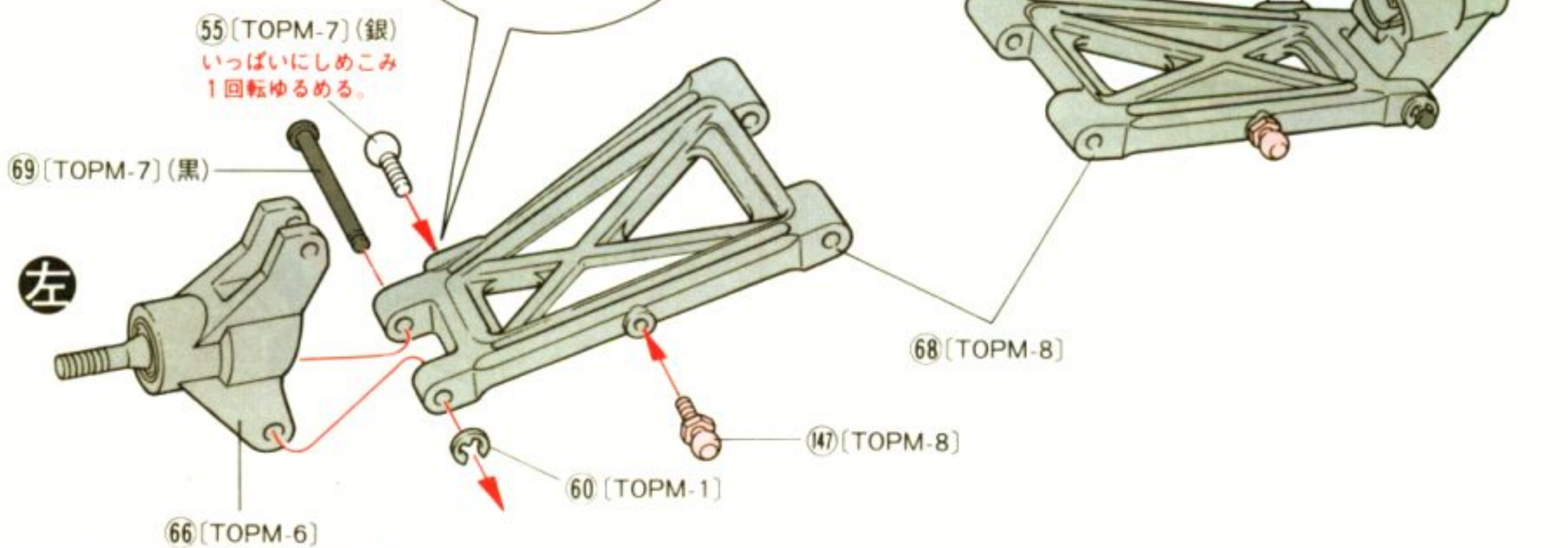
M3×15TPサラビス

14 リアハブのとりつけ

Step 1



Step 2

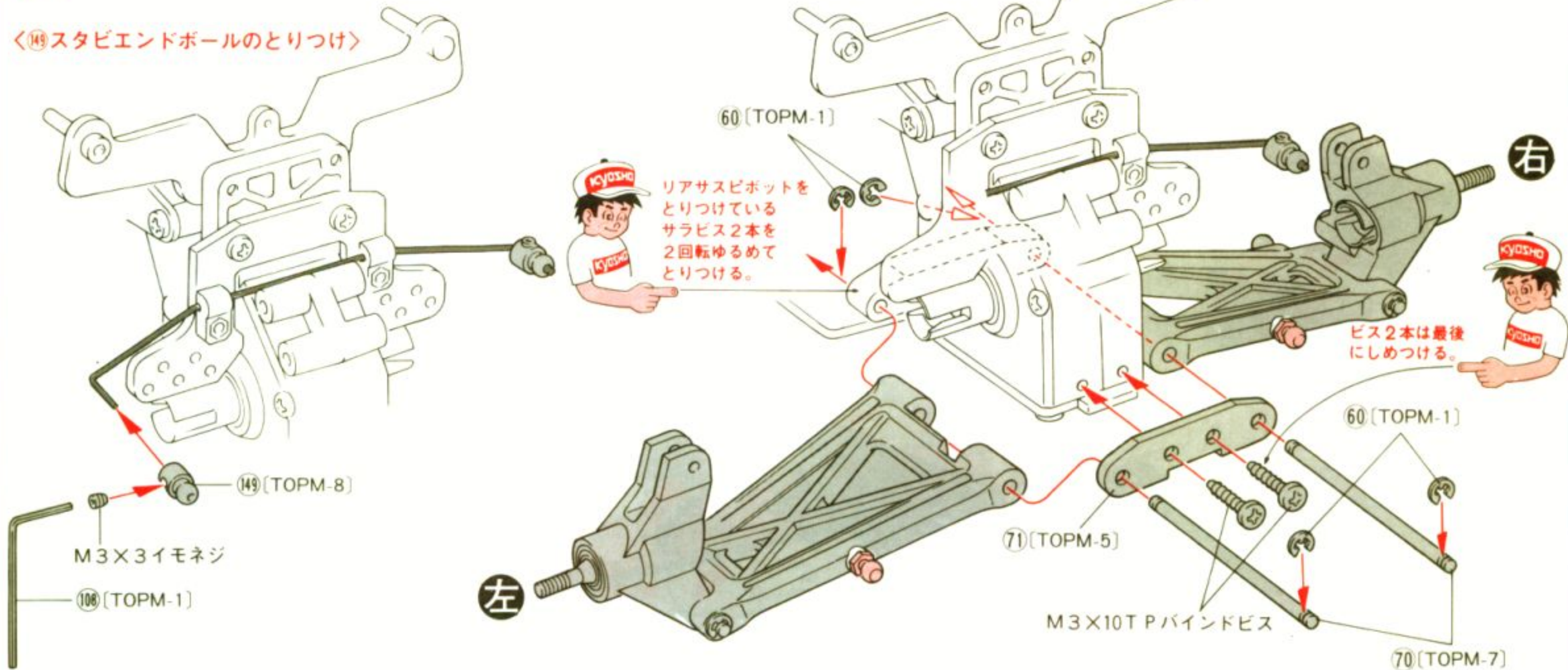


55 (TOPM-7) (銀)
いっぱいにしめこみ
1回転ゆるめる。

外側の穴に
とりつける

15 リアサスアームのとりつけ

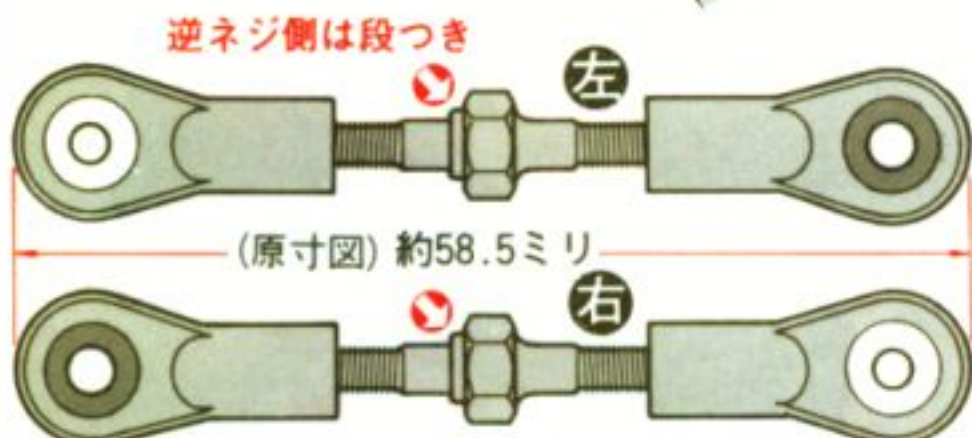
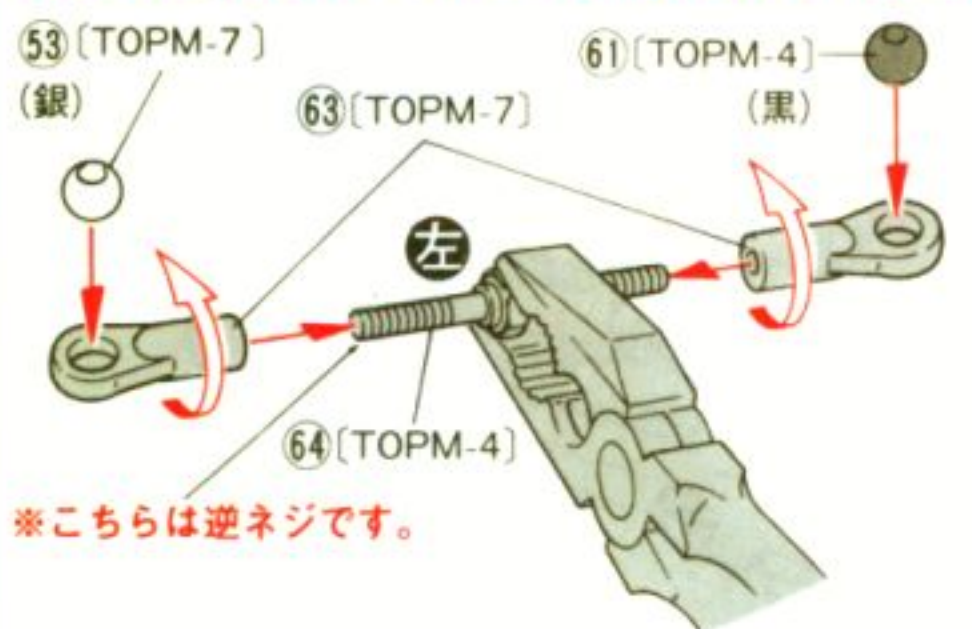
＜149スタビエンドボールのとりつけ＞



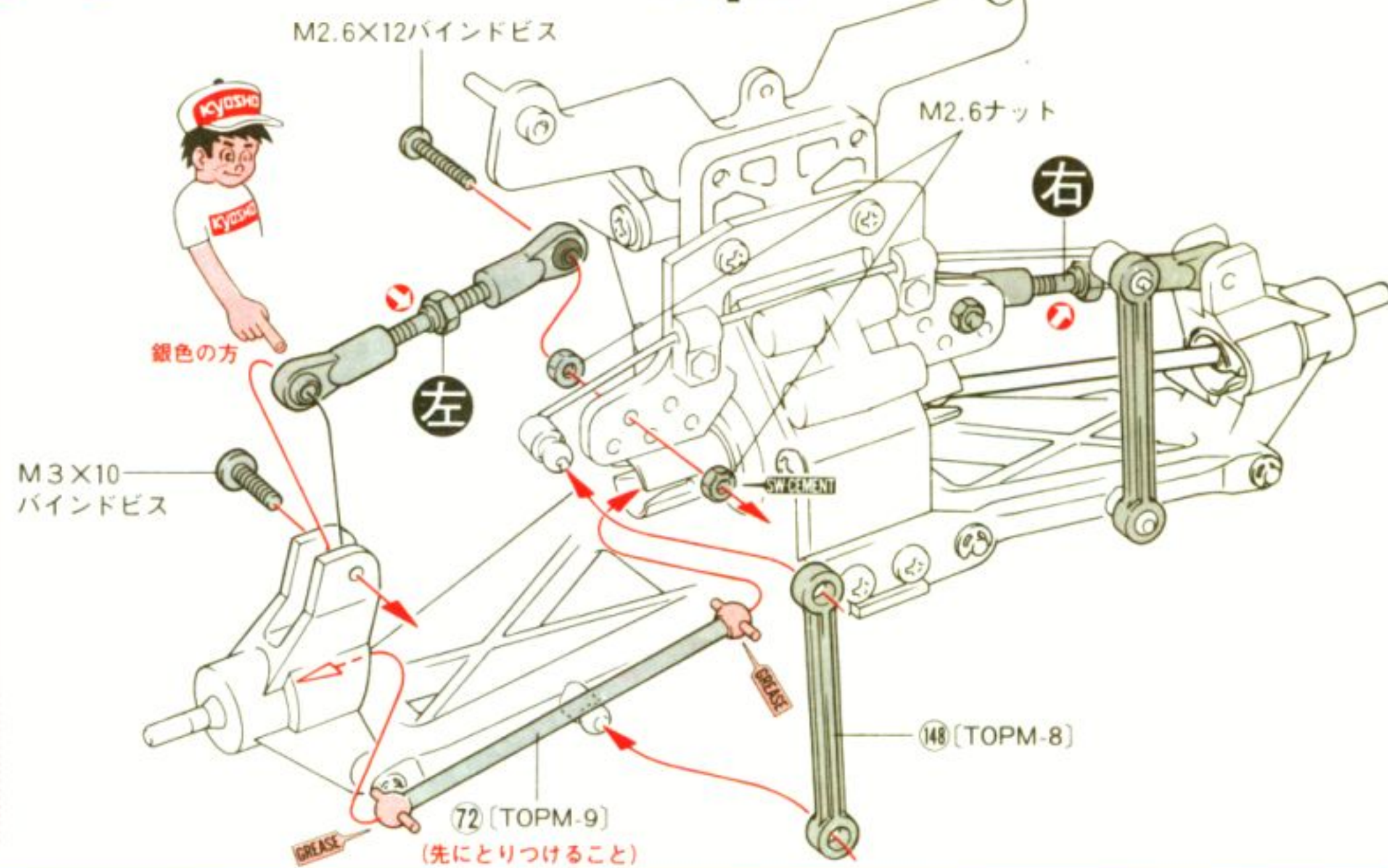
16 リアアッパーロッドのとりつけ

Step 1 <アッパーロッドを2本つくります>

イラストは⑤用です。⑥はボールを逆にとりつけること。

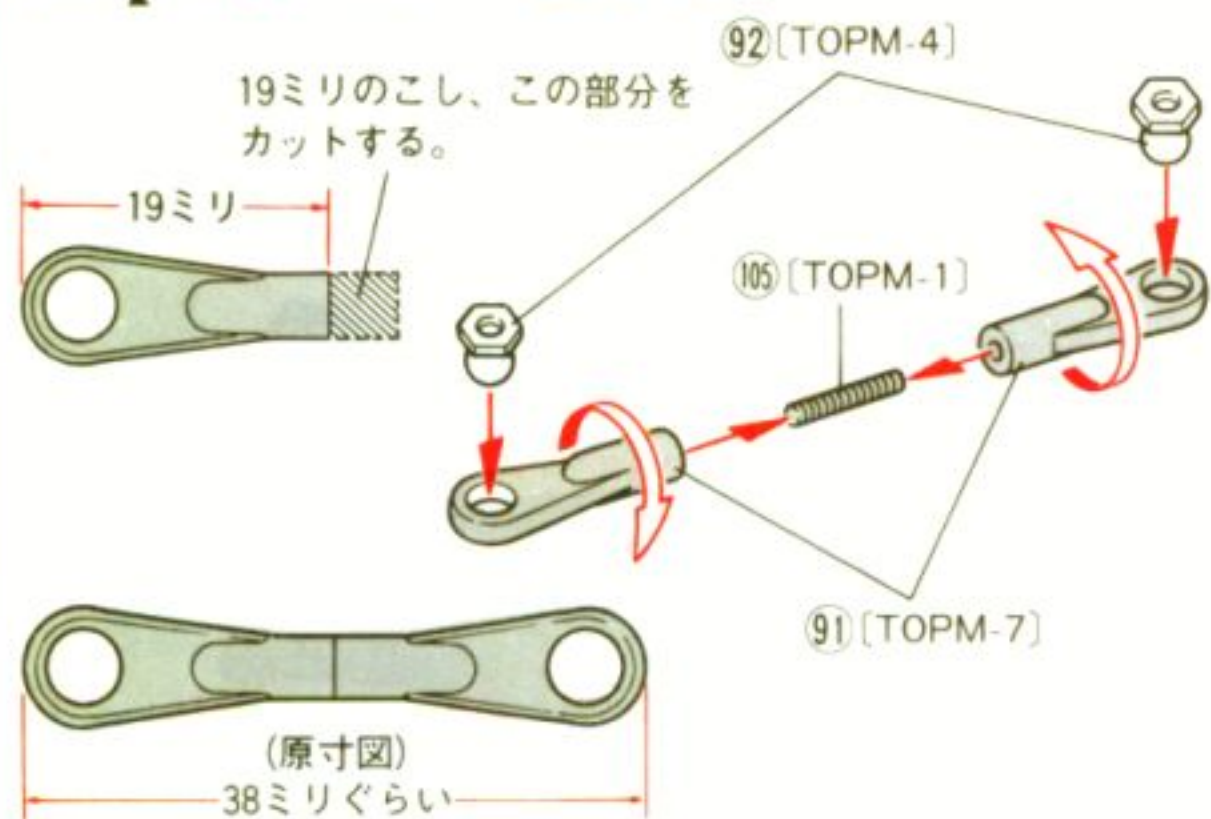


Step 2



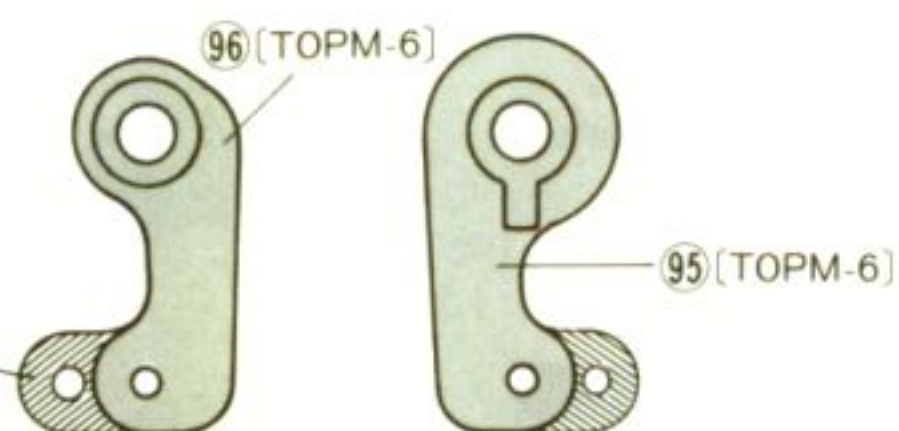
17 サーボセイバーのくみたて

Step 1 <ボールエンドをねじこむ>

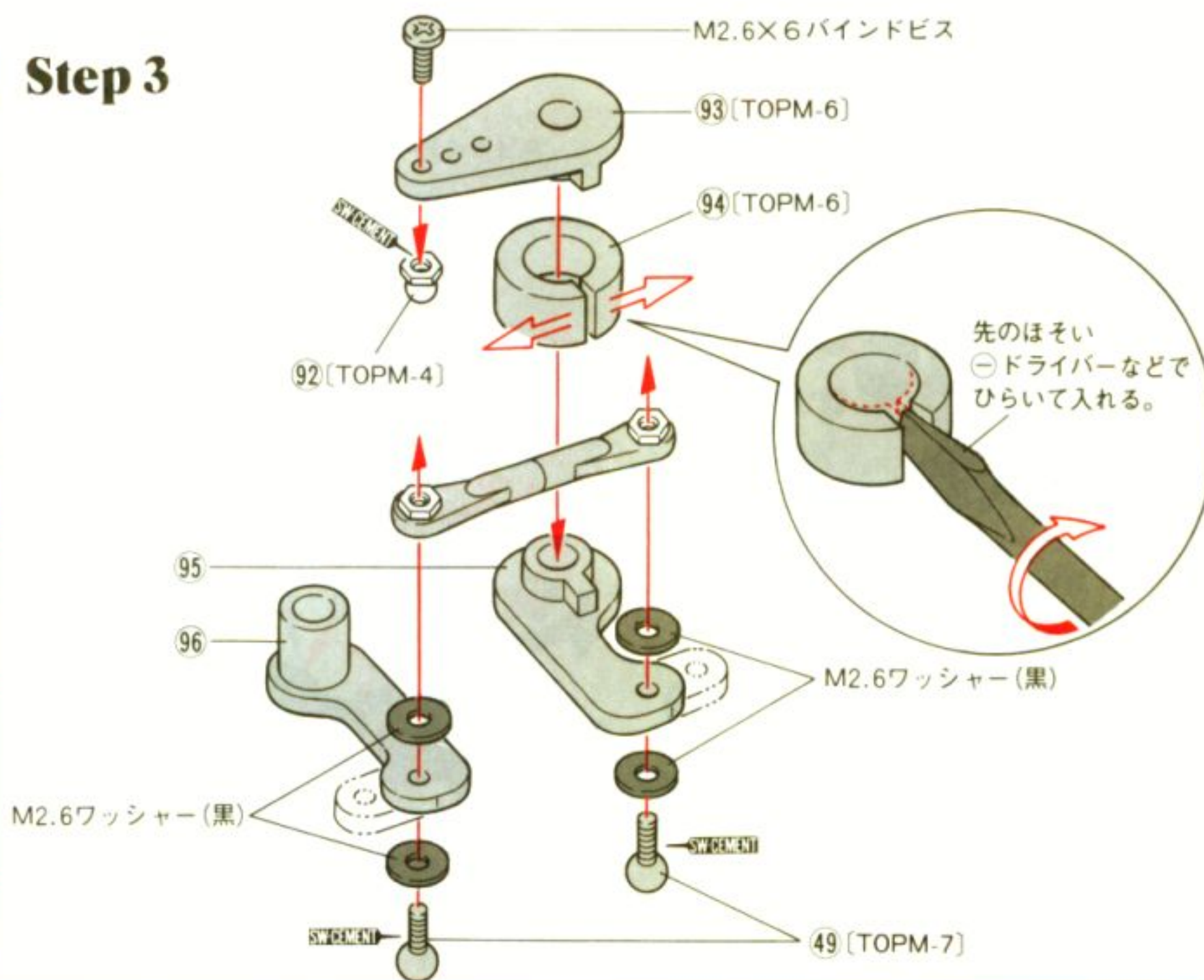


Step 2

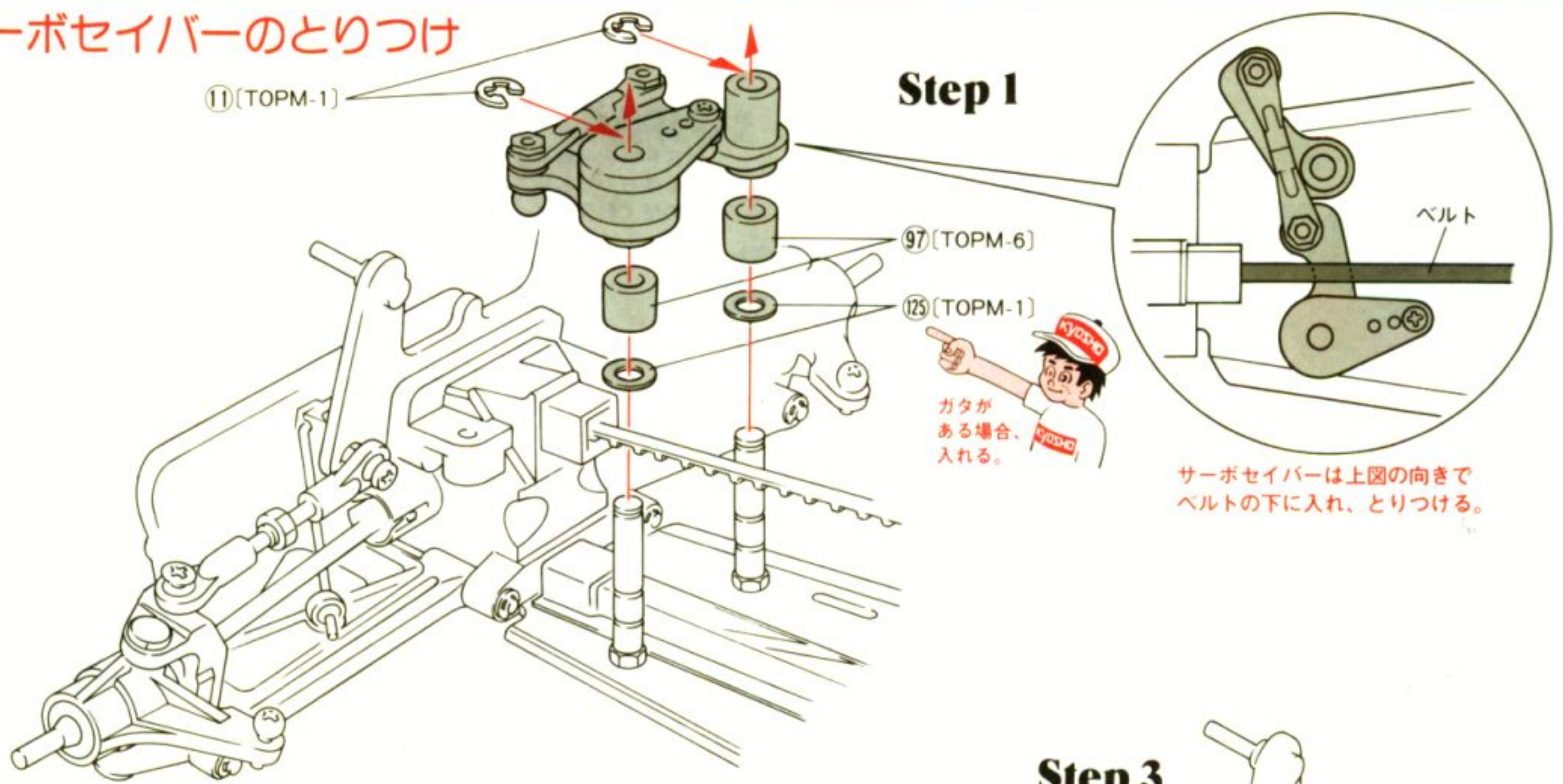
不要な部分をニッパーでカットする。



Step 3

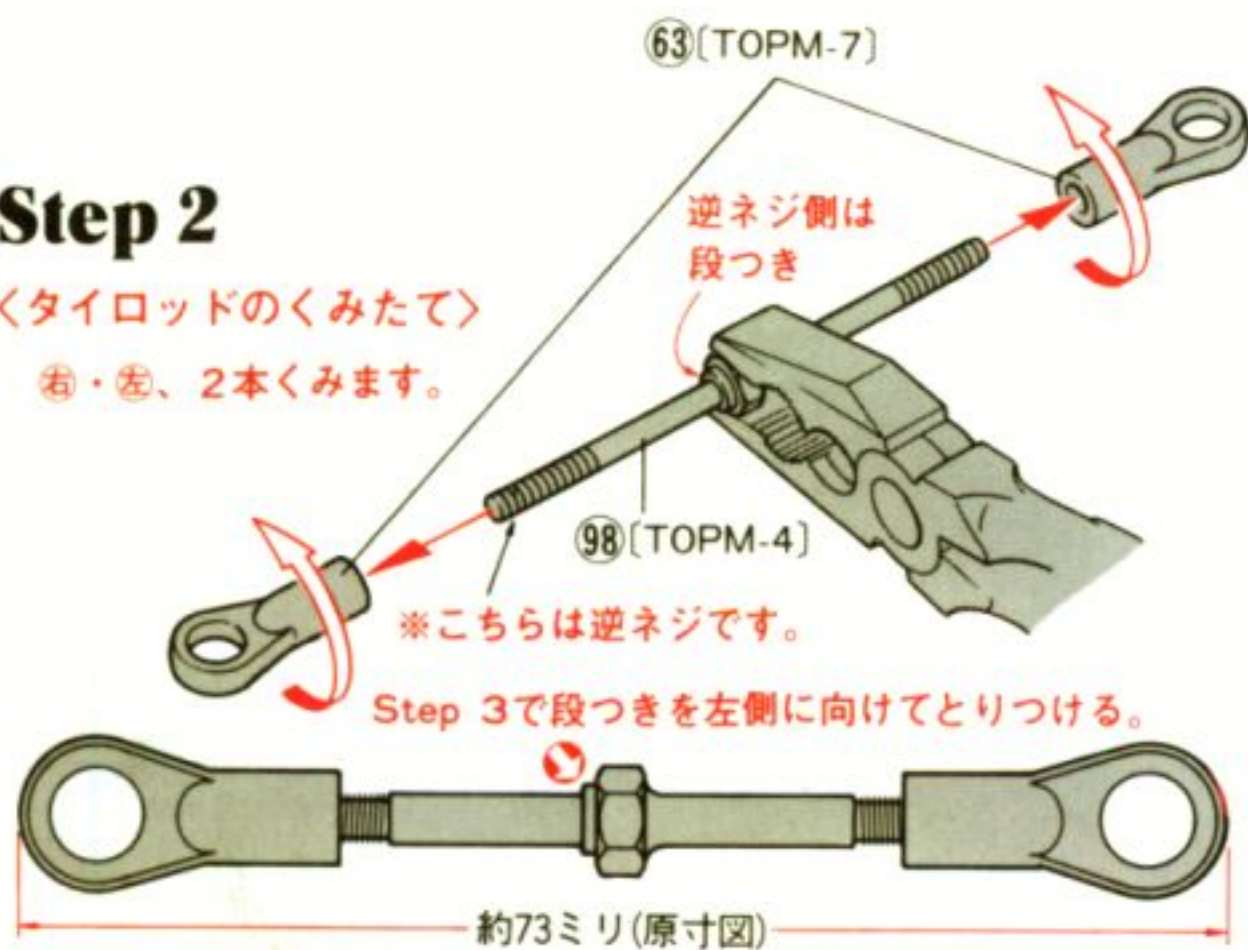


18 サーボセイバーのとりつけ

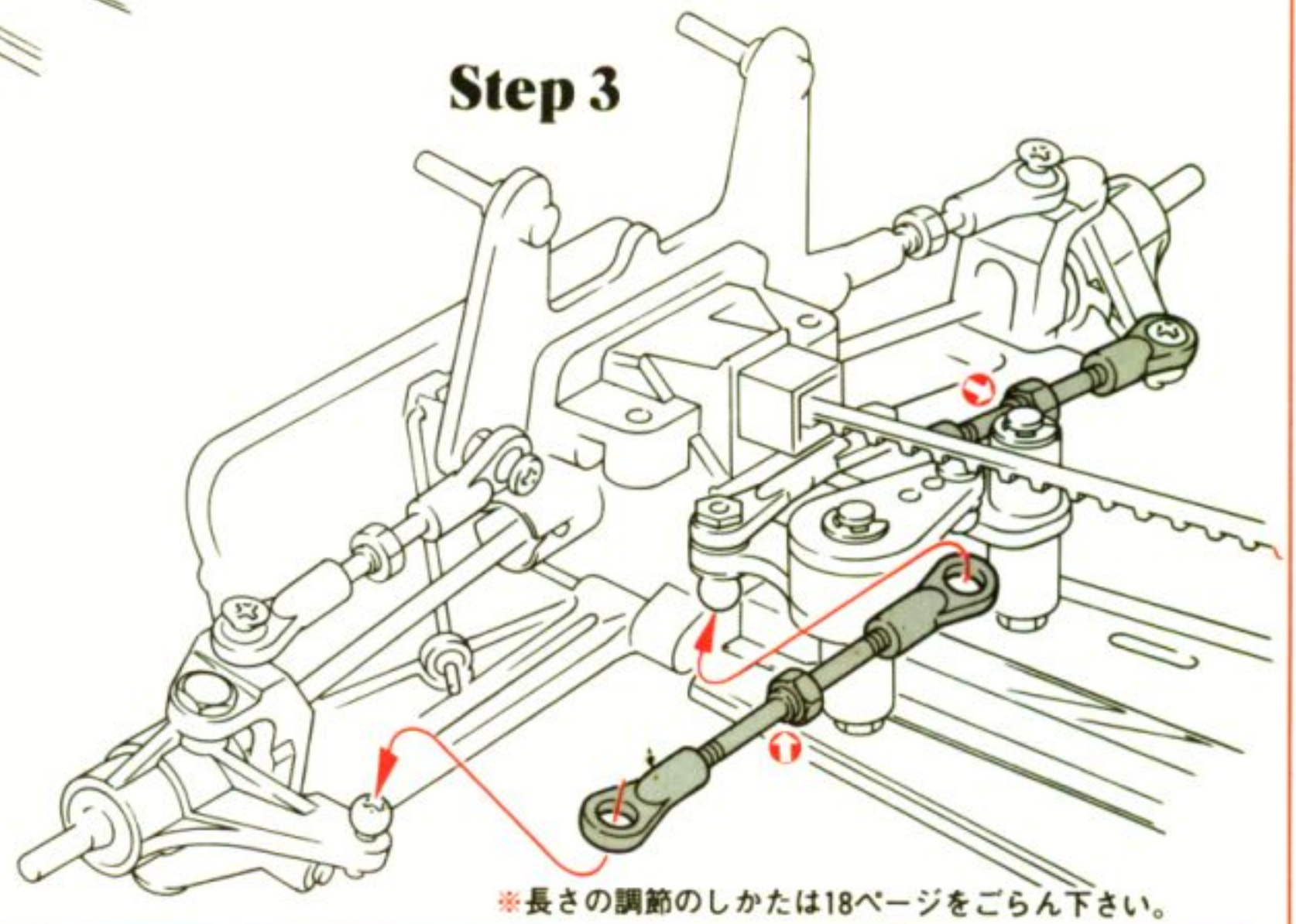


Step 2

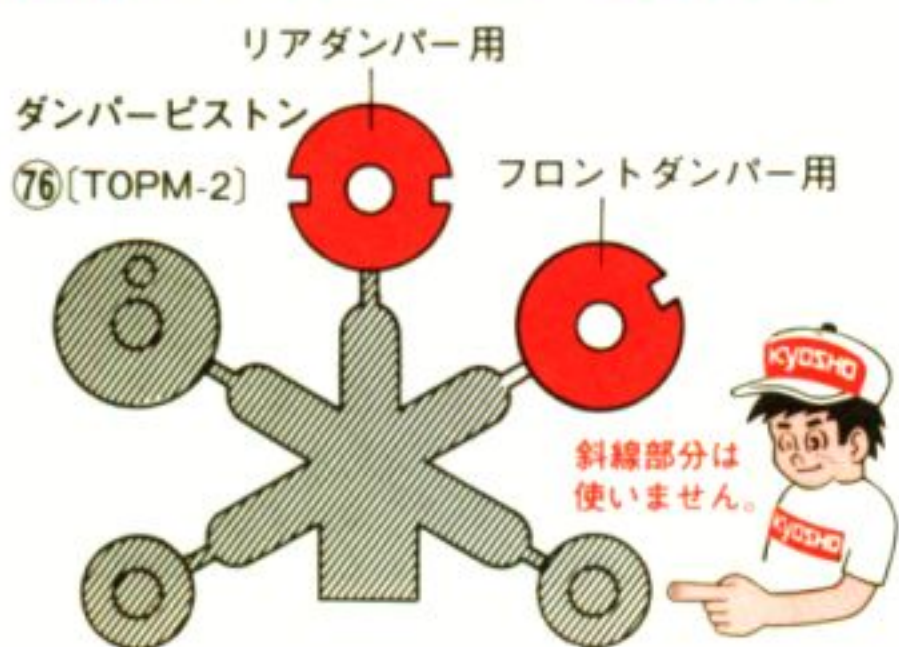
＜タイロッドのくみため＞
右・左、2本くみます。



Step 3



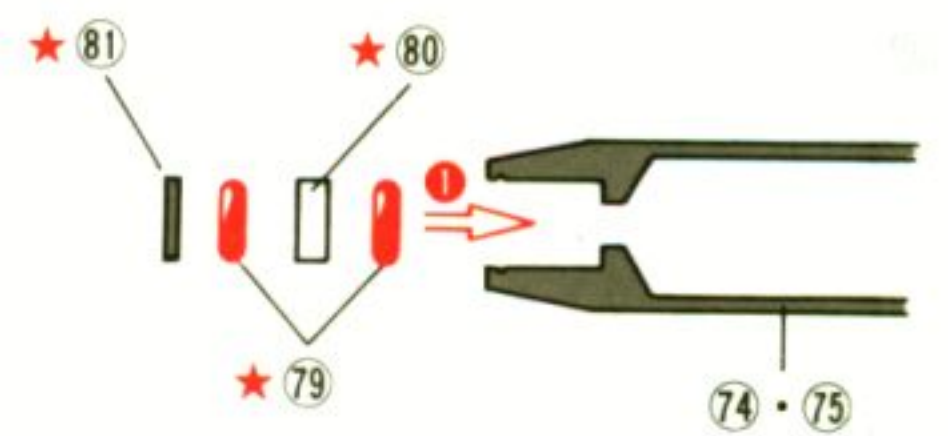
19 ダンパーのくみため



ランナーの残りは
ていねいに切りとること。



①～⑥の順にくみためます。

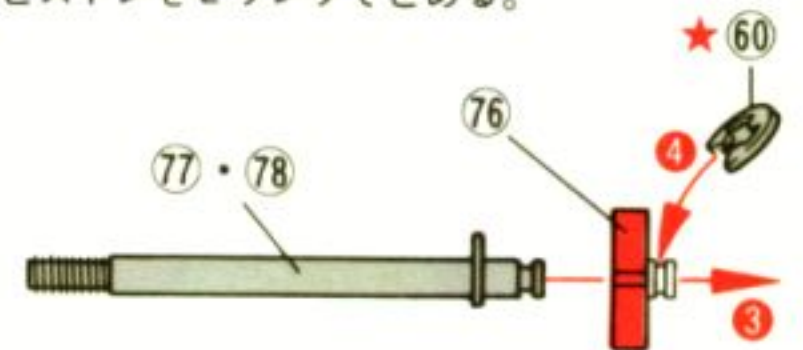


Cリングを入れます。
(なくさないよう注意して下さい)

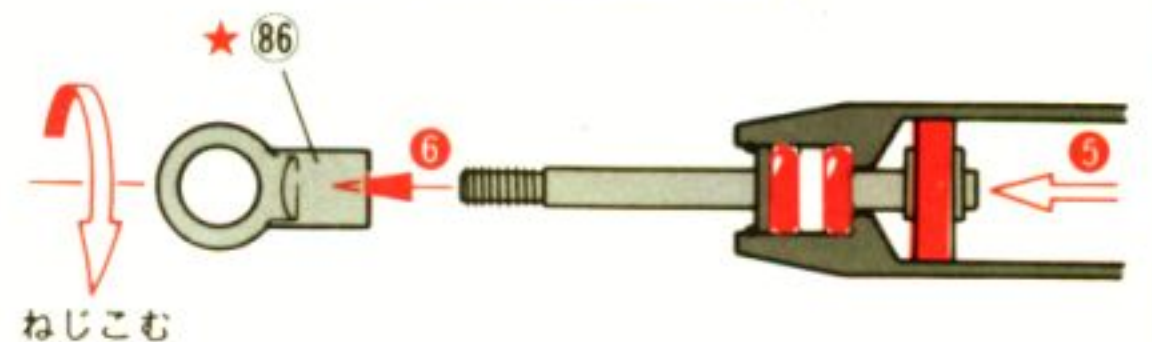
このみぞにはめこむ



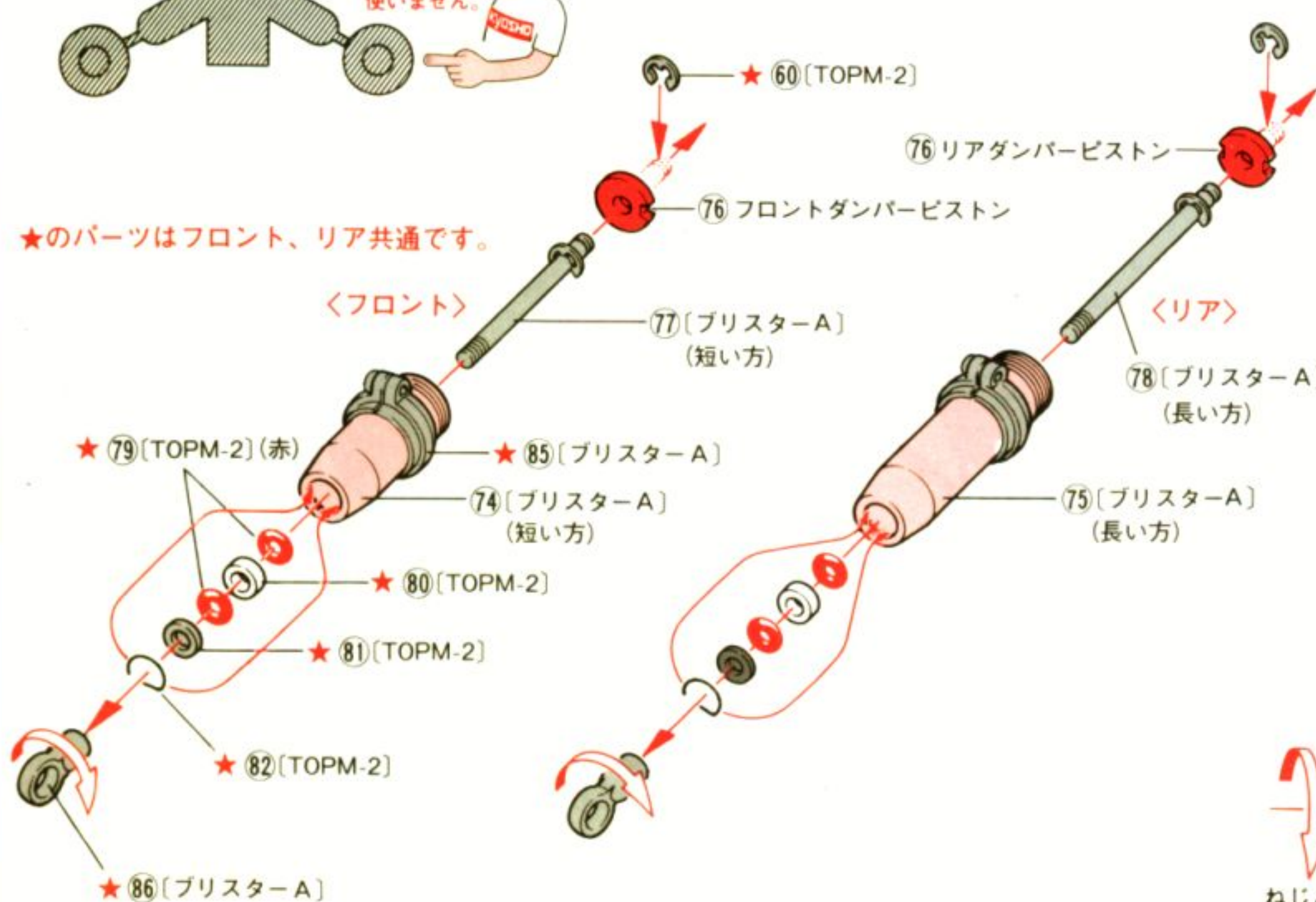
ピストンをEリングでとめる。



ダンパーケースにシャフトを通し、
ダンパーエンドをねじこみます。



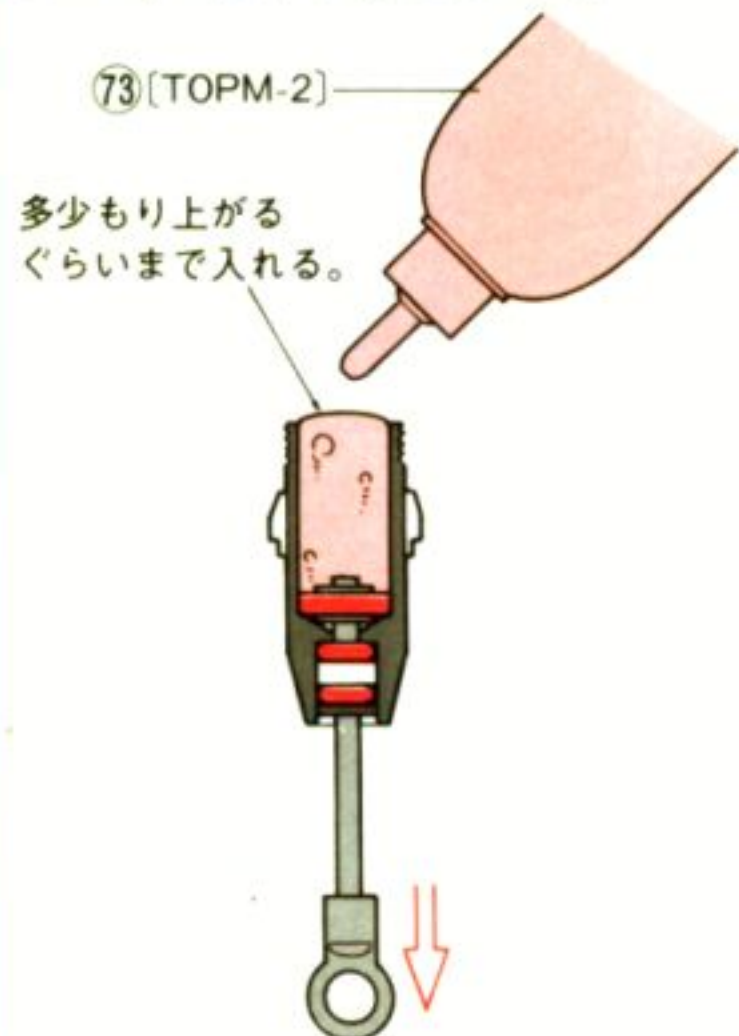
★のパーツはフロント、リア共通です。



20 ダンパーオイルの注入

Step 1

ピストンを下にさげ、少しづつゆっくりとオイルを入れます。
ピストンをゆっくりと上下させ、オイルの中の泡を上へ押し上げます。

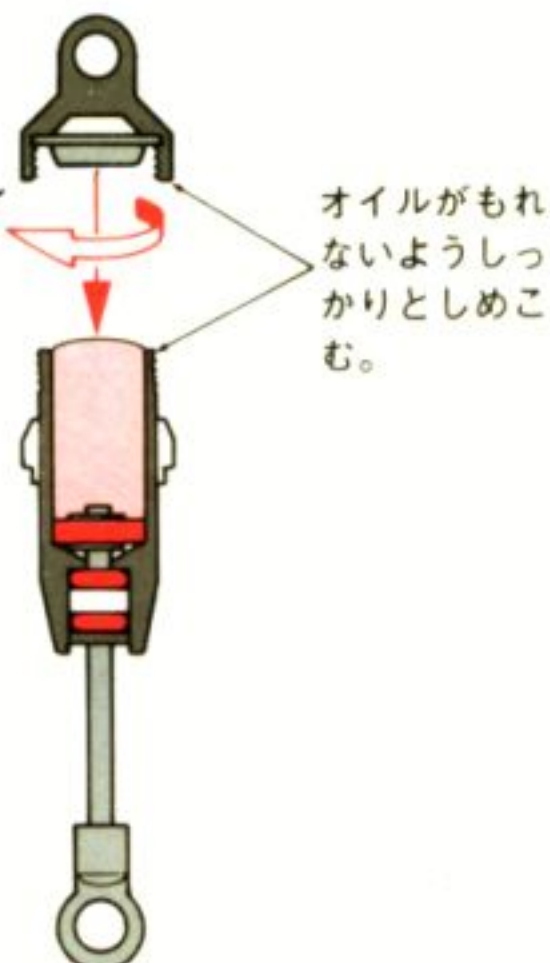


＜プレッシャートップのとりつけ＞



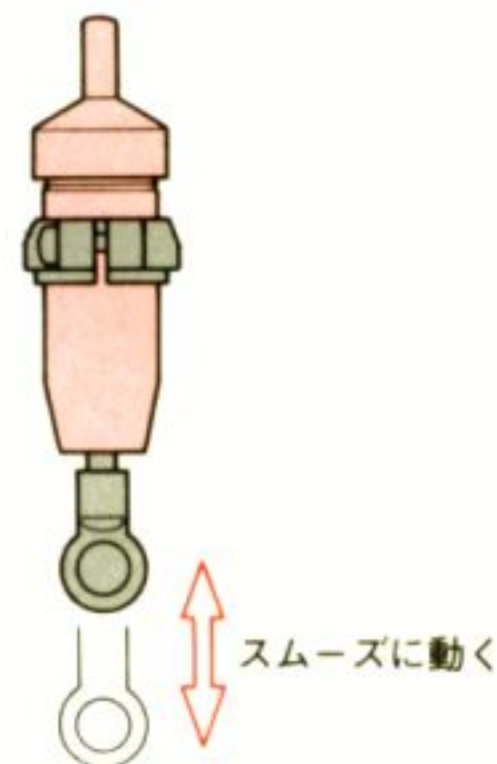
Step 2

ピストンを一番下までさげておき、83をゆっくりしめていきます。
この時、余分なオイルがこぼれます。



Step 3

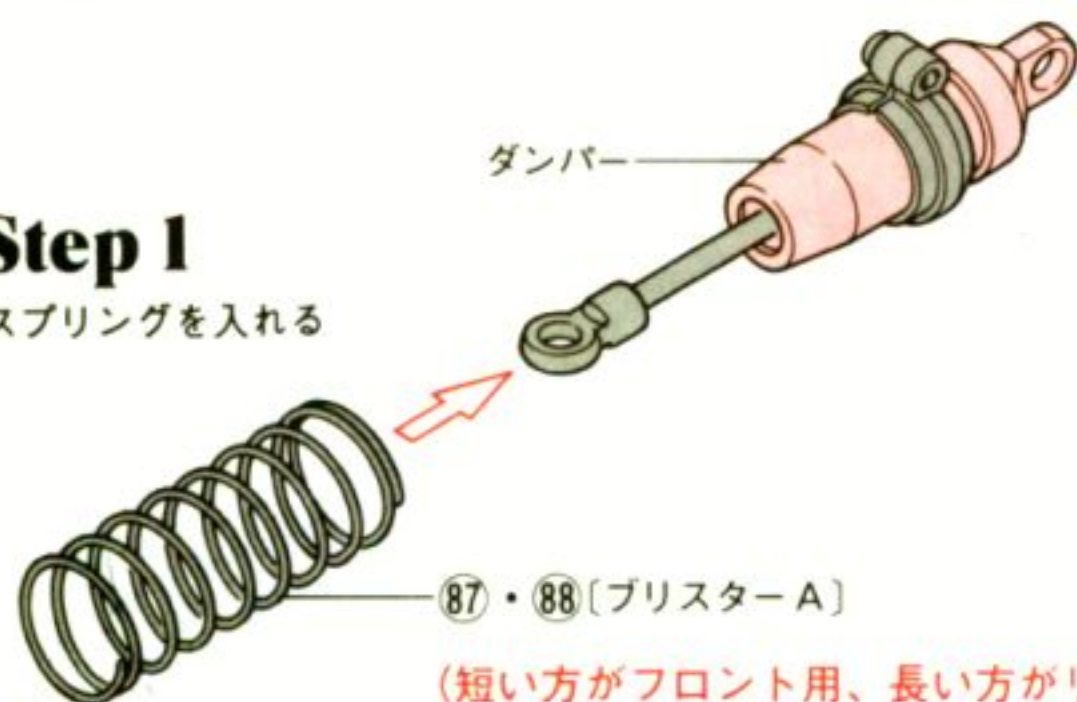
ピストンを上下させ、スムーズに動くことを確認して下さい。



21 ダンパースプリングのとりつけ

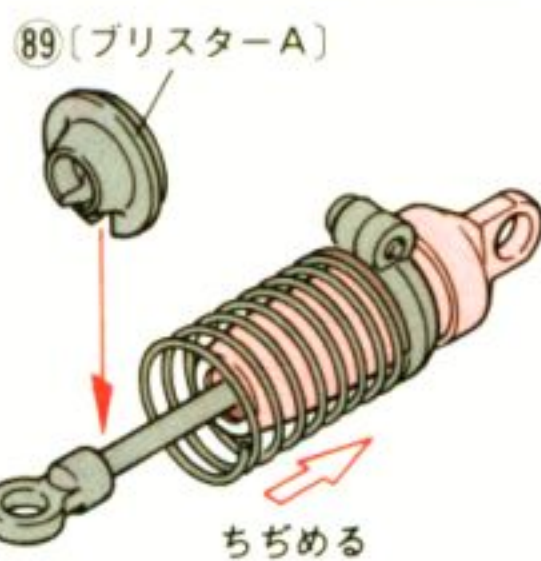
Step 1

スプリングを入れる

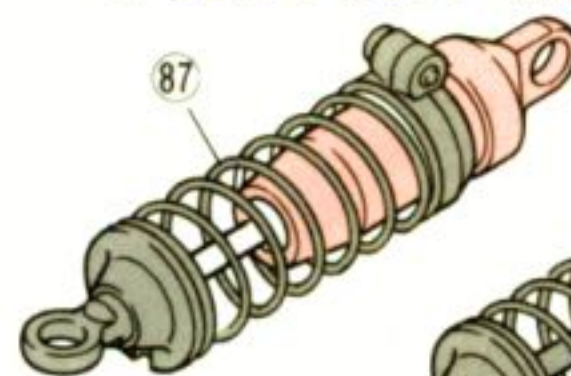


Step 2

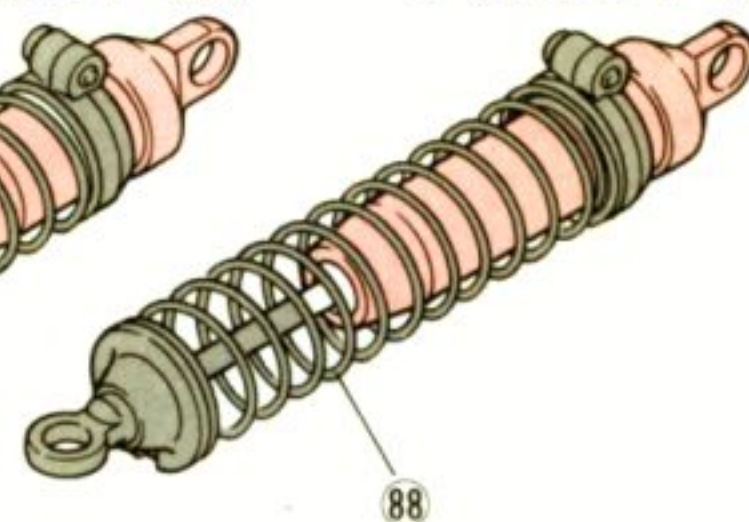
スプリングをちぢめ89を入れる。



●フロントダンパー(短)

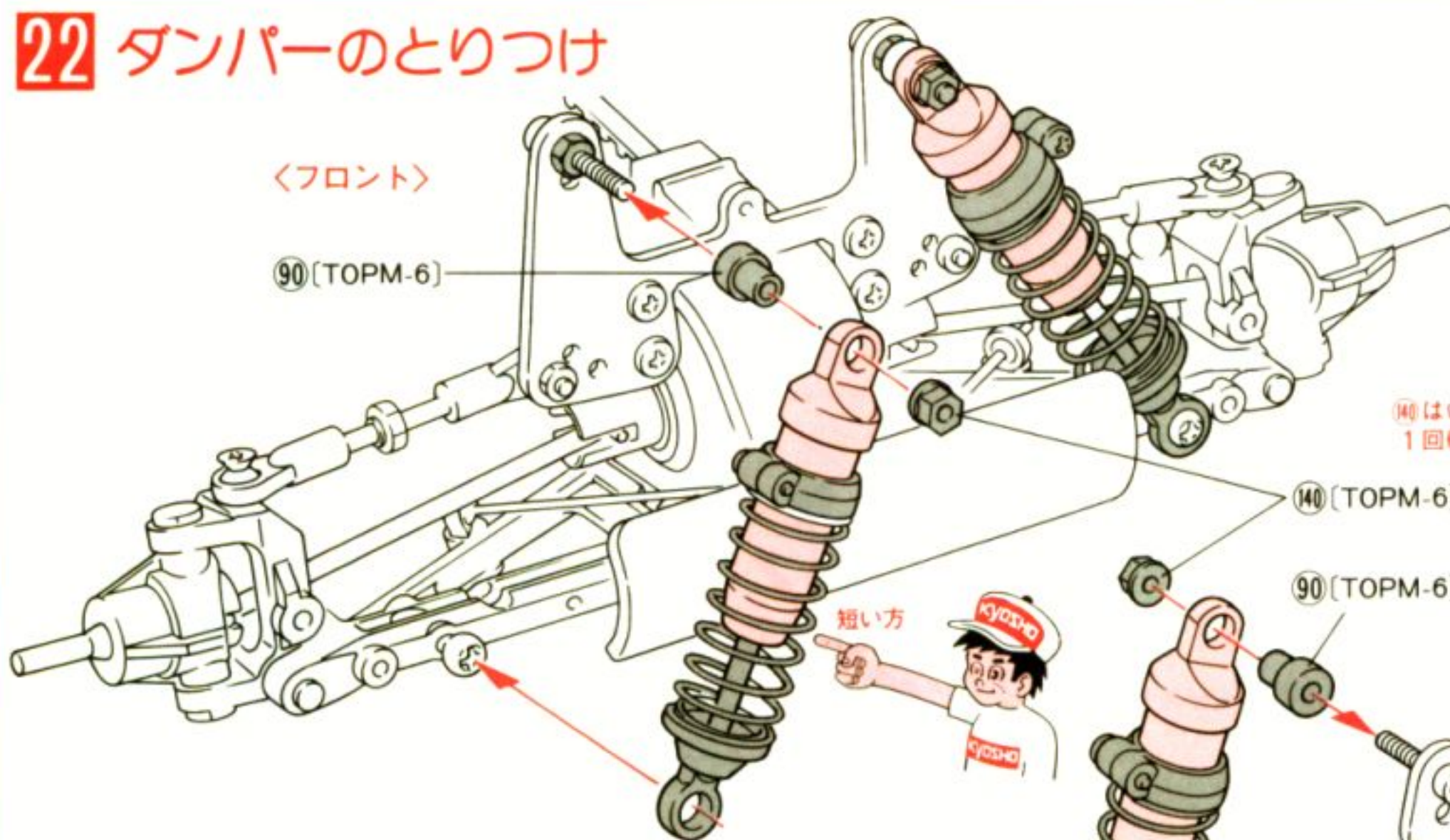


●リアダンパー(長)



22 ダンパーのとりつけ

＜フロント＞



⑨①はいっぱいにしめこみ1回転ゆるめる。



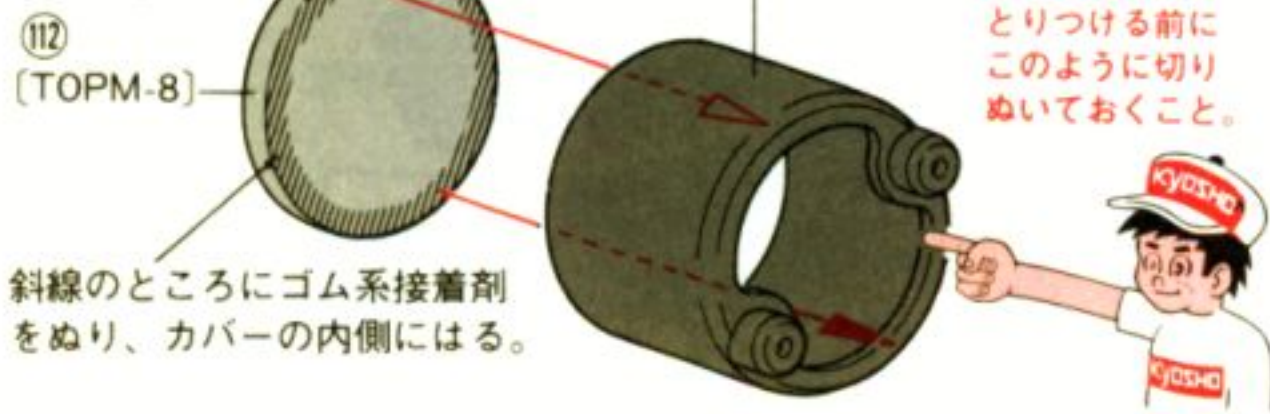
「⑨①モーターのとりつけ」でこちらのダンパー上側だけいったんはずします。仮止めていどにしめておく。

＜リア＞

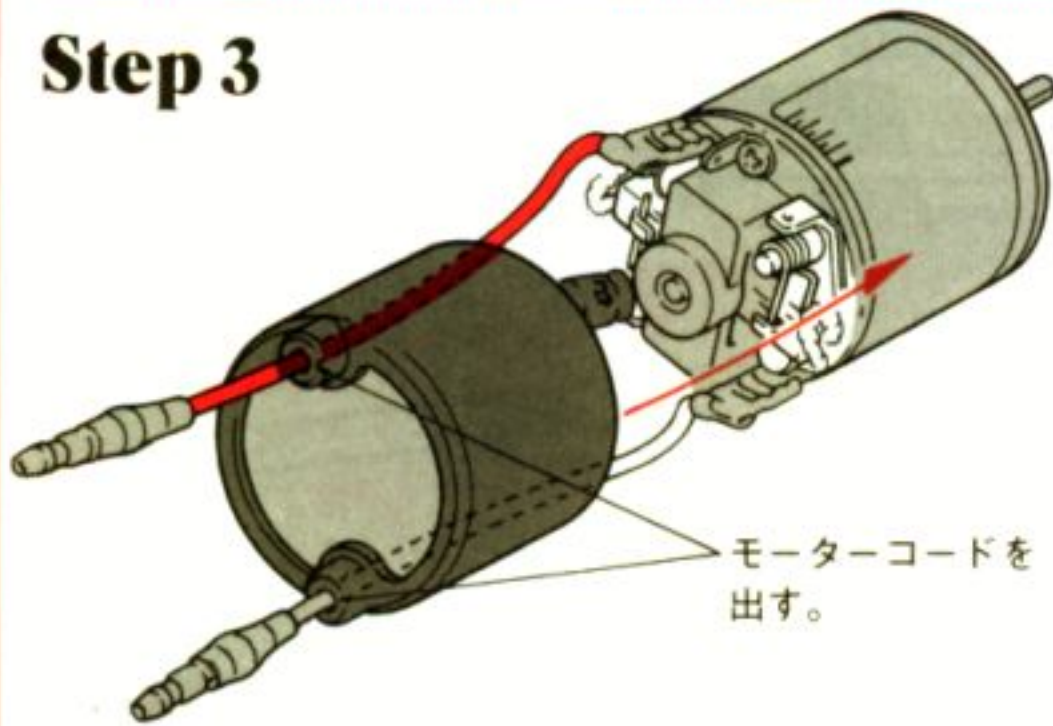


23 モーターコードのとりつけ

Step 1

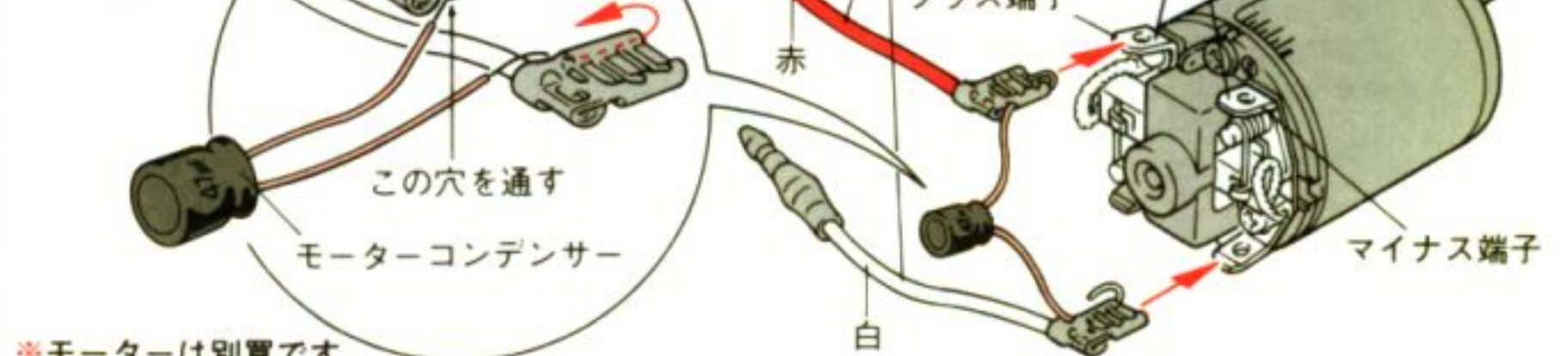


Step 3



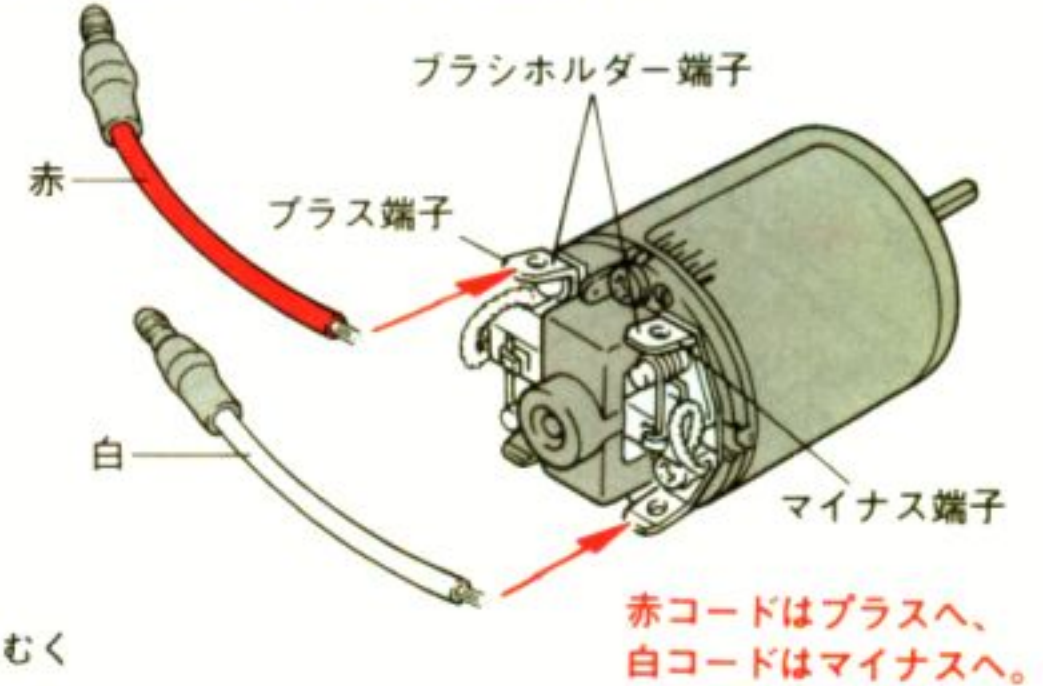
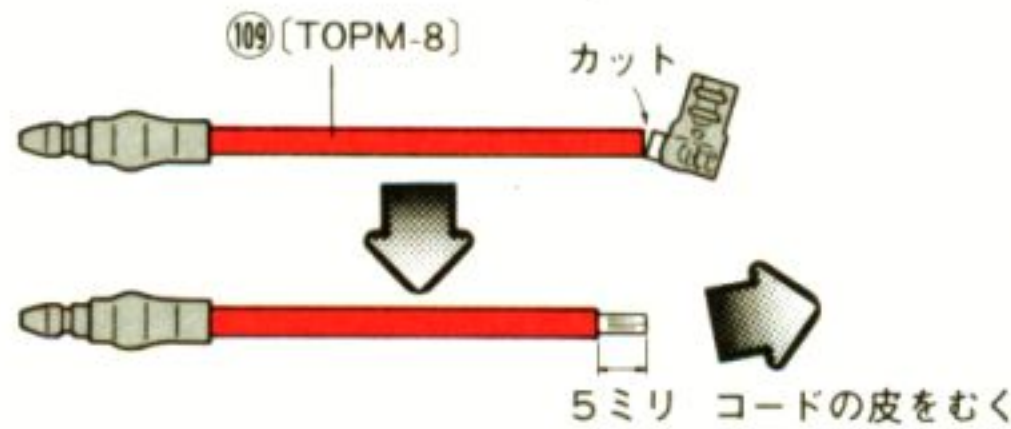
- スバ240WS、
- ル・マン スポーツH-240Sの場合

Step 2



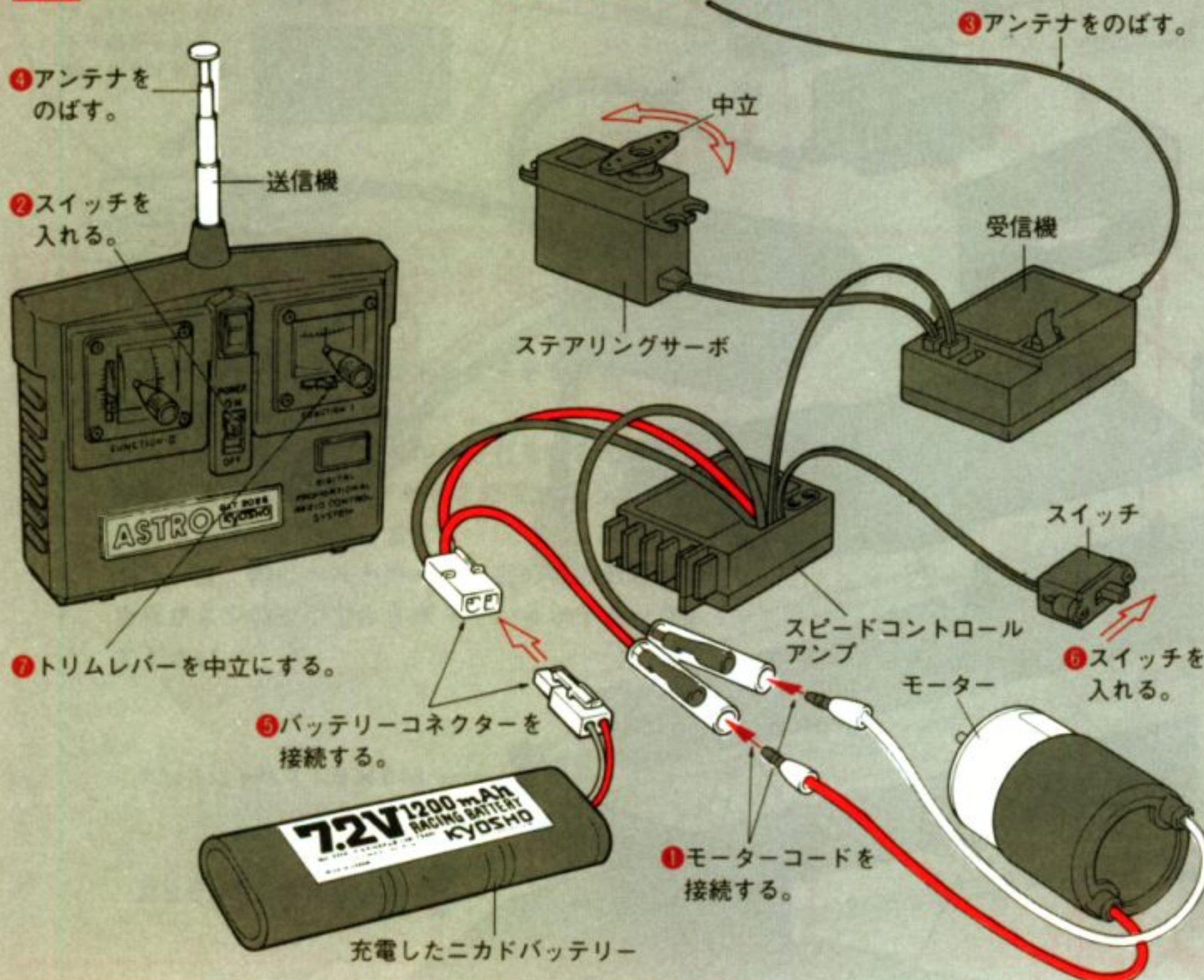
※モーターは別買です。
適合モーターはスバ240WS、ル・マンスポーツH-240S、ル・マン240SBです。

- ル・マン240SBの場合
- 下図のようにモーターコードをカットしてモーターにハンダ付けして下さい。



24 ラジオコントロールメカのテスト

番号順にラジオコントロールメカを動作してみます。

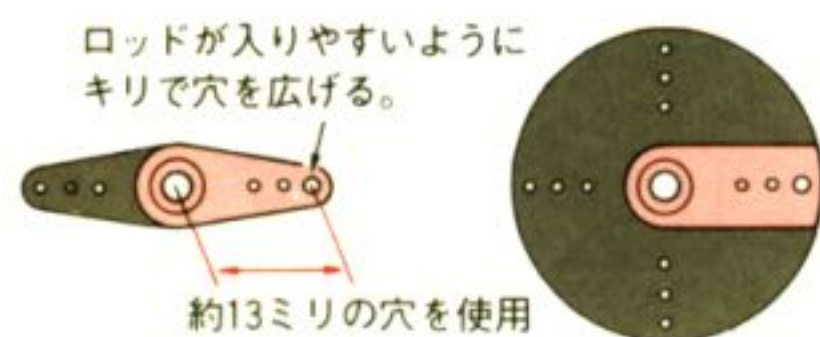


- 2チャンネルプロポは、送信機、受信機、サーボ、電池ボックスなどから成り立っています。
- 送信機……… 操縦するコントロールボックスでスティックの動きを電波でアンテナから発信します。
 - 受信機……… 送信機からの電波を受けサーボに送ります。
 - サーボ……… 受信機が受けた電波をモーター、ギヤを使い車のコントロール部を動かす装置です。
 - アンテナ……… 送信機のアンテナは電波を送り出し、受信機のアンテナは電波が入る重要なものなのでいっばいにのばし使います。
 - トリムレバー……… 送信機のトリムレバーはサーボの中立（ニュートラル）をずらし、車の右、左のステアリングやコントローラーの前進、バックの位置を微調整するレバーです。
 - レベルメーター……… 送信機の電池の減り及び電波の発振状態を確認するメーターです。
 - サーボホーン……… サーボと車のコントロール部をつなぐもので何種類もあり、使用目的にあった形状を使用します。
- プロポのスイッチを入れる時……… 送信機→受信機の順にスイッチを入れる。(又はコネクタを接続する)
- プロポのスイッチを切る時……… 受信機→送信機の順にスイッチを切る。(又はコネクタを抜く)

25 ステアリングロッドのとりつけ

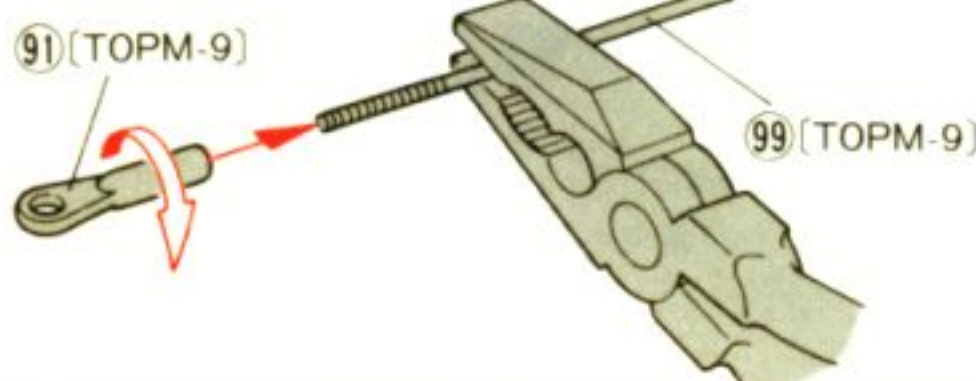
Step 1

＜サーボホーンのカット＞
のところをカットする。

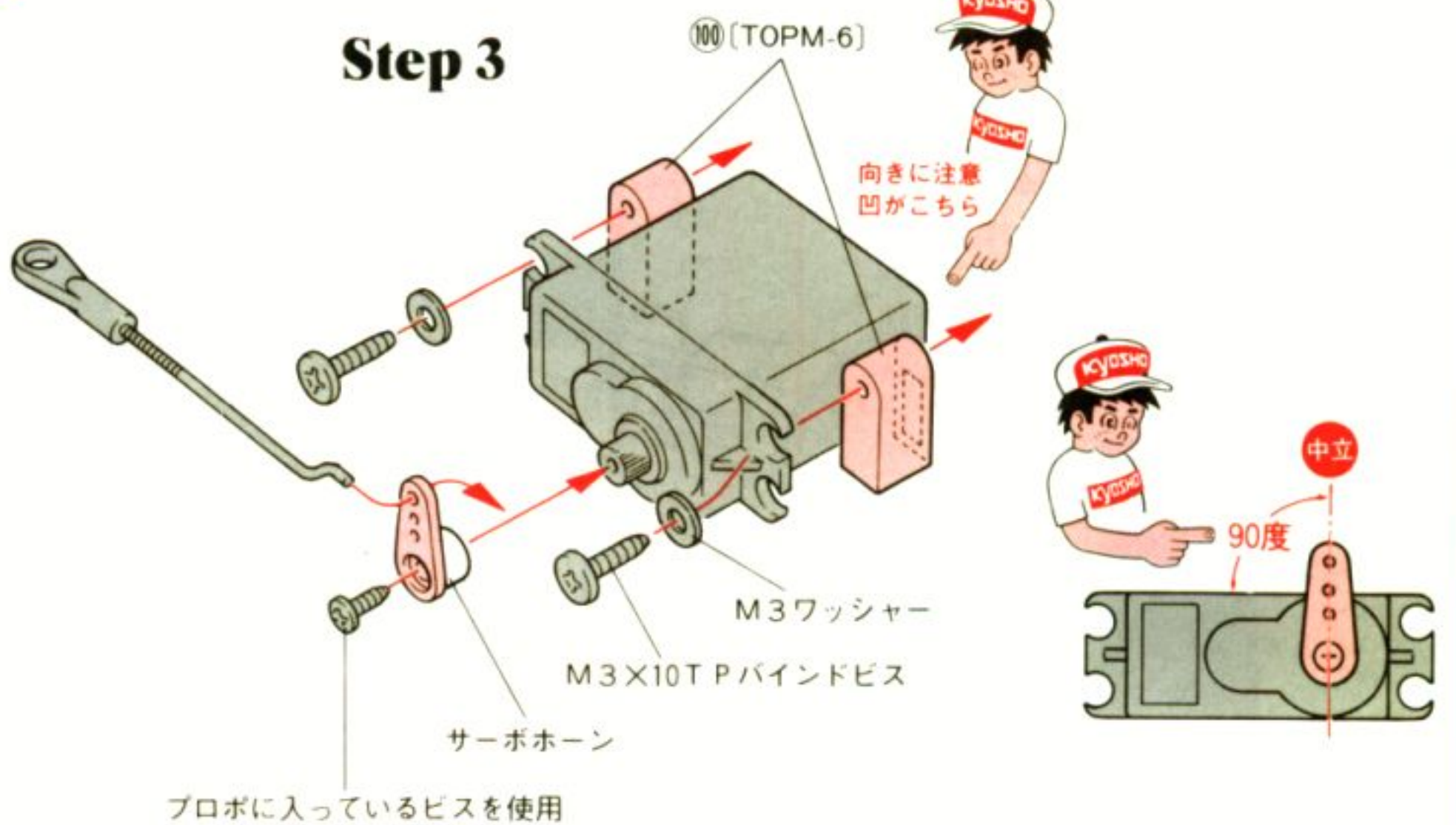


Step 2

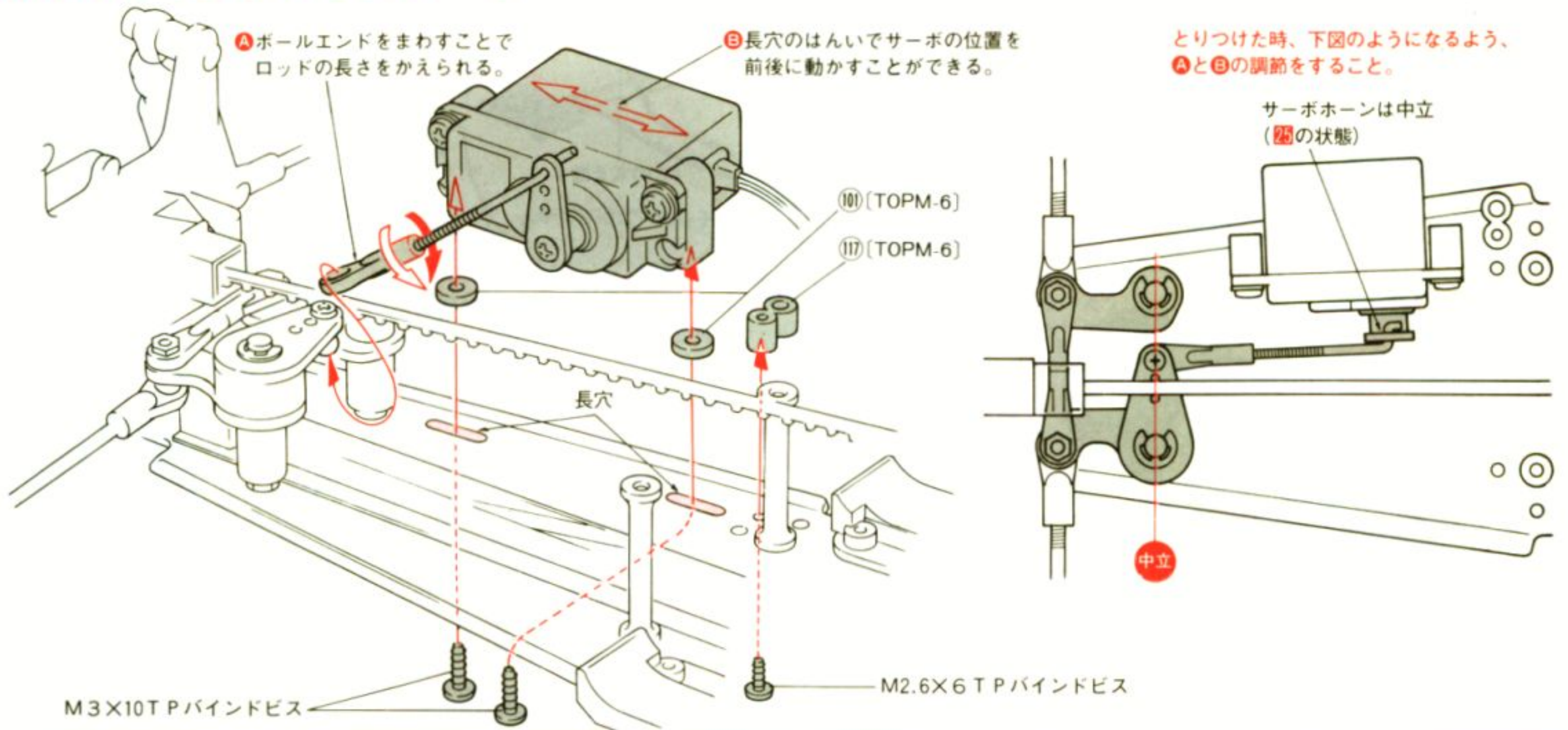
＜ステアリングロッドのくみ込め＞



Step 3



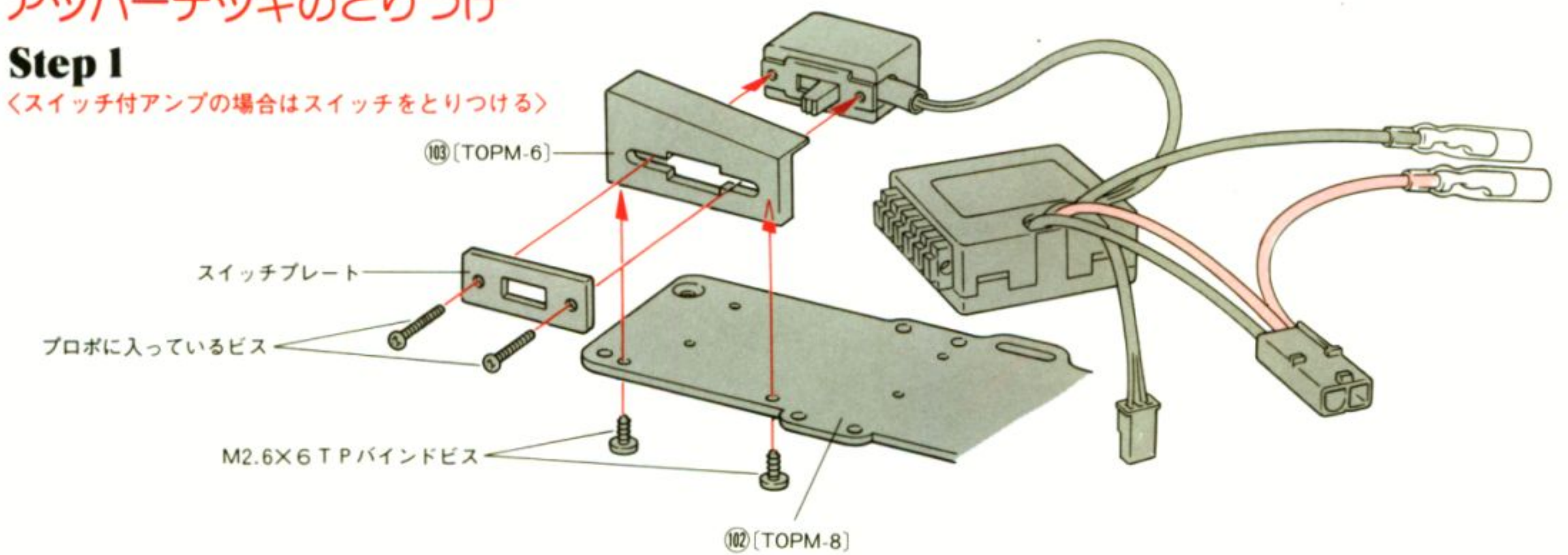
26 ステアリングのリンケージ



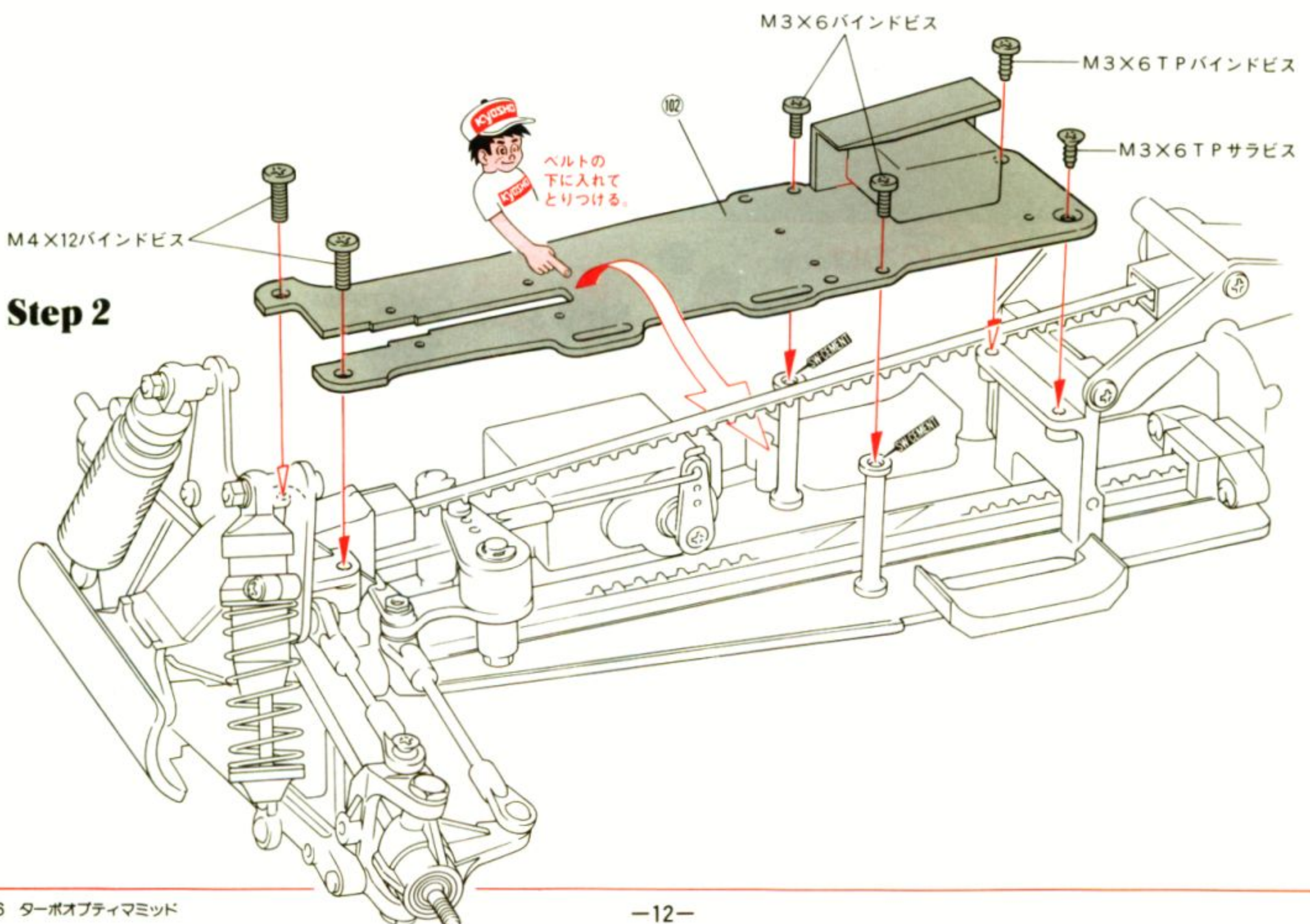
27 アッパーデッキのとりつけ

Step 1

〈スイッチ付アンプの場合はスイッチをとりつける〉



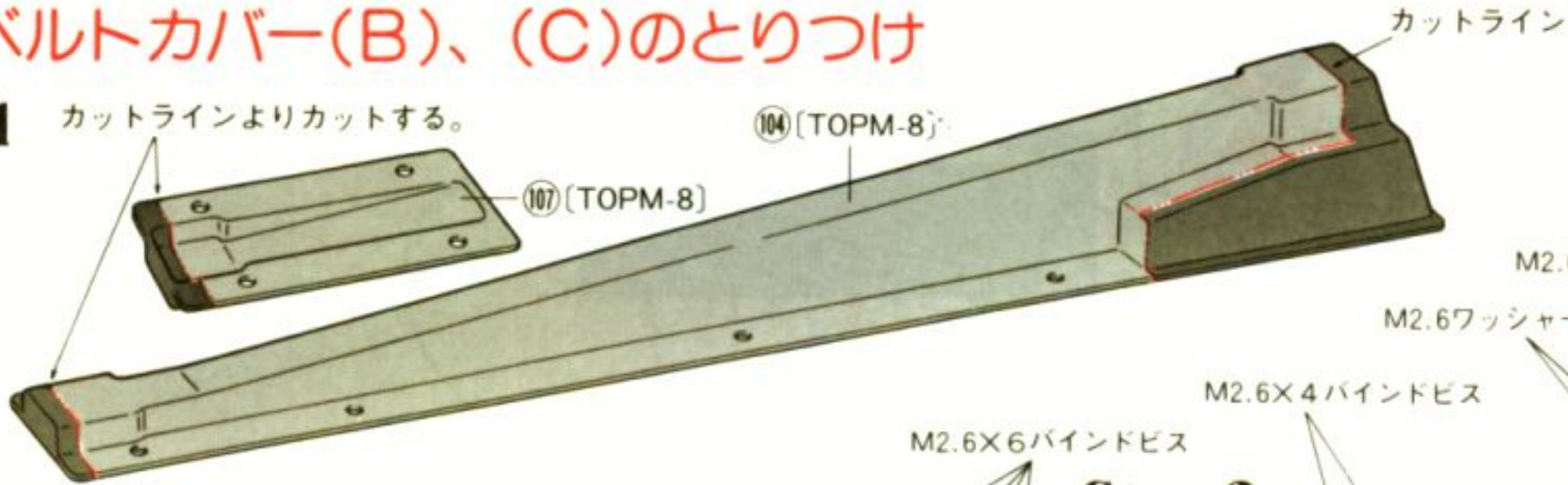
Step 2



28 ベルトカバー(B)、(C)のとりつけ

Step 1

カットラインよりカットする。



Step 2

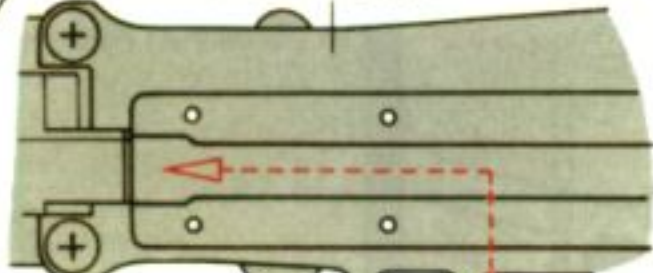
Step 3

とりつけたら図と同じように斜線のところ(両側)にネジロックをゆるめる。



〈前のとりつけ方〉

アッパーデッキ



アッパーデッキの下へ横から入れ、前にスライドする。



キヤホックスの□にあたる部分

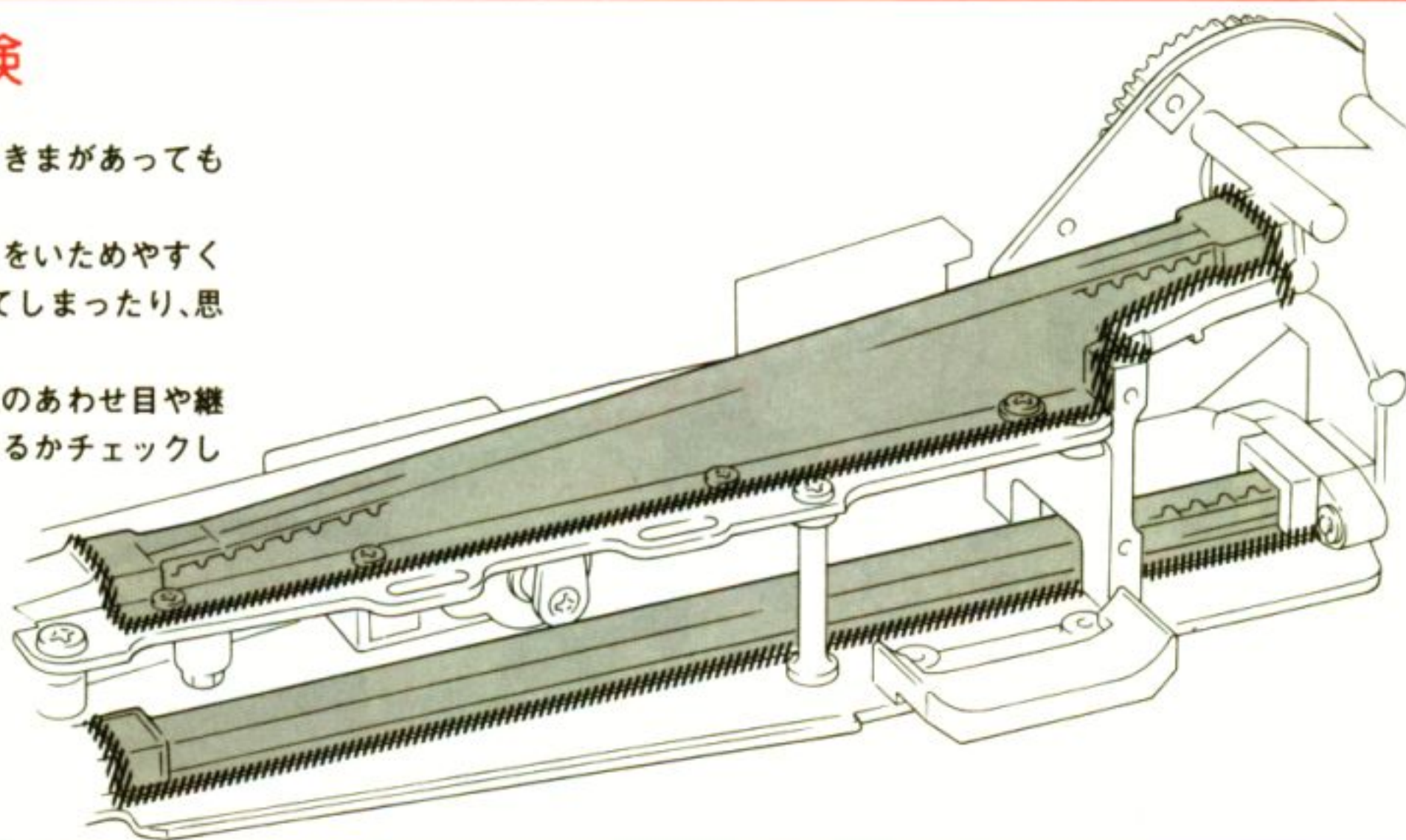
M2.6ナット (4ヶにネジロック)

ネジロックをゆるめるのはベルトカバーとシャーシの間からホコリが入るのを防ぐためです。ベルトカバーの両側にゆって下さい。

ツバをスイッチの下に入れる。

29 ベルトカバーの点検

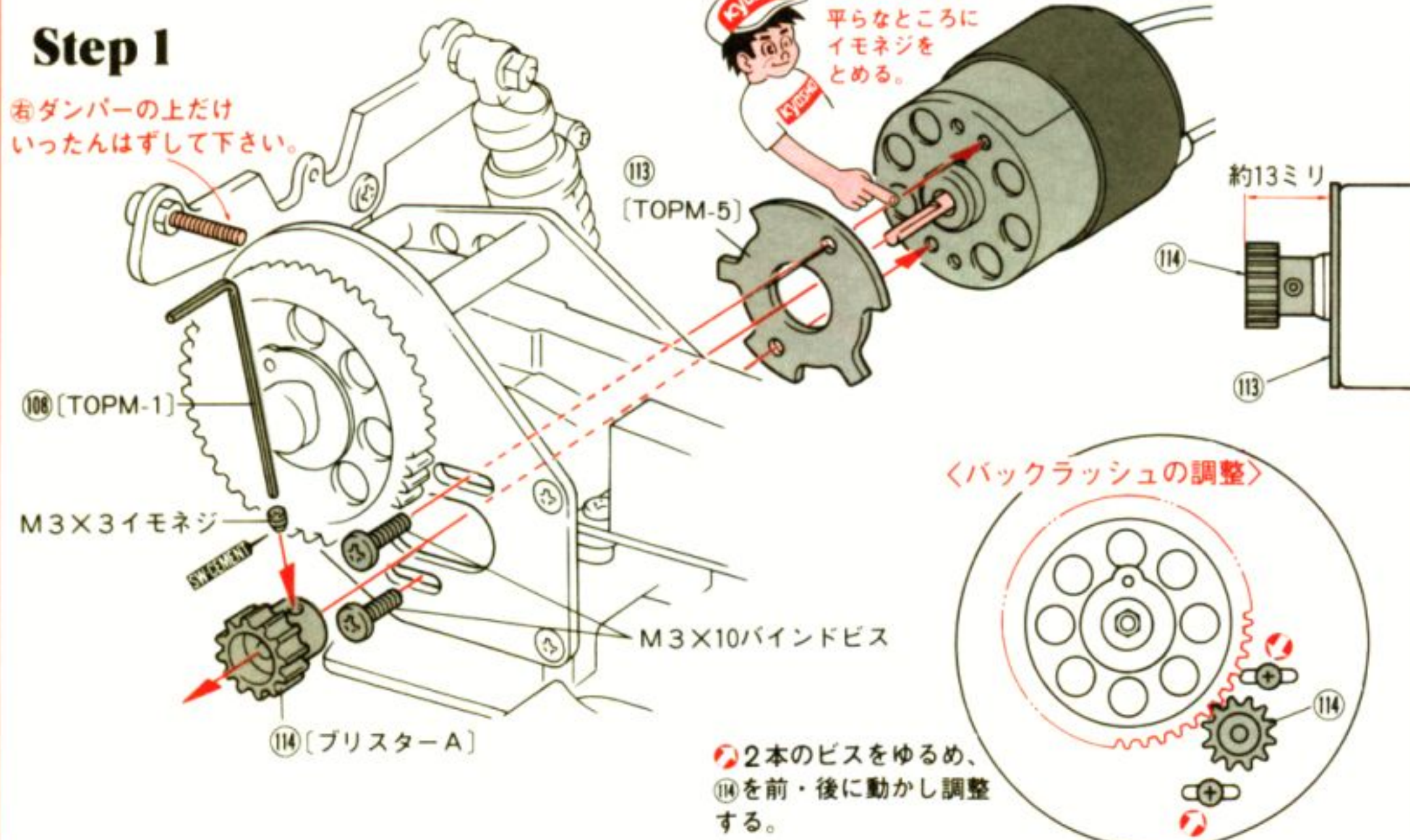
ベルトカバーにほんのわずかなすきまがあってもホコリが入ってしまいます。ホコリが入るとギヤやベルトなどをいためやすく駆動ロスになったり、ギヤをなめてしまったり、思わぬトラブルが発生します。もう一度、特にベルトカバー付近のあわせ目や継ぎ目がネジロックでふさがっているかチェックして下さい。



30 モーターのとりつけ

Step 1

右ダンパーの上だけいったんはずして下さい。



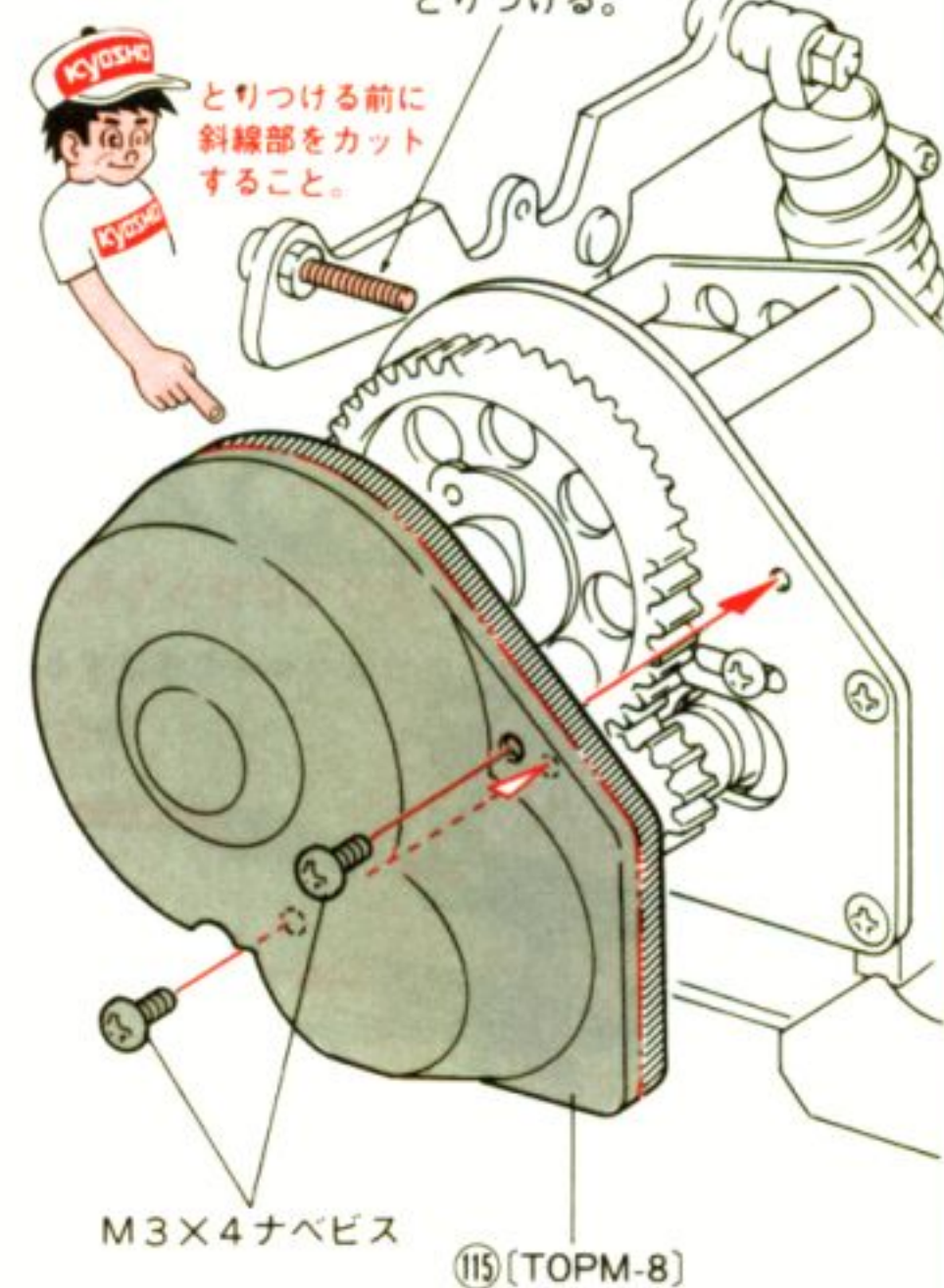
〈バックラッシュの調整〉

2本のビスをゆるめ、114を前・後に動かし調整する。

Step 2

115をとりつけたら元通りダンパーをとりつける。

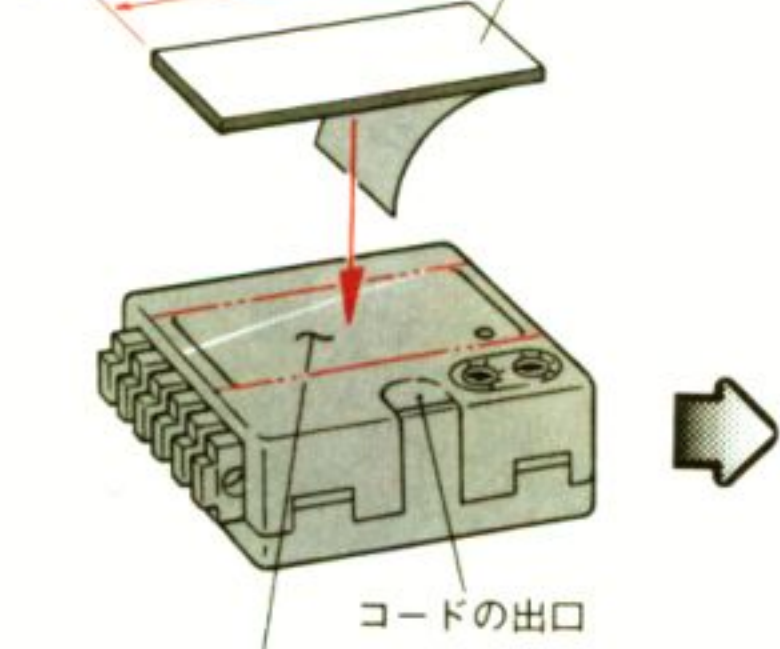
とりつける前に斜線部をカットすること。



31 アンプのとりつけ

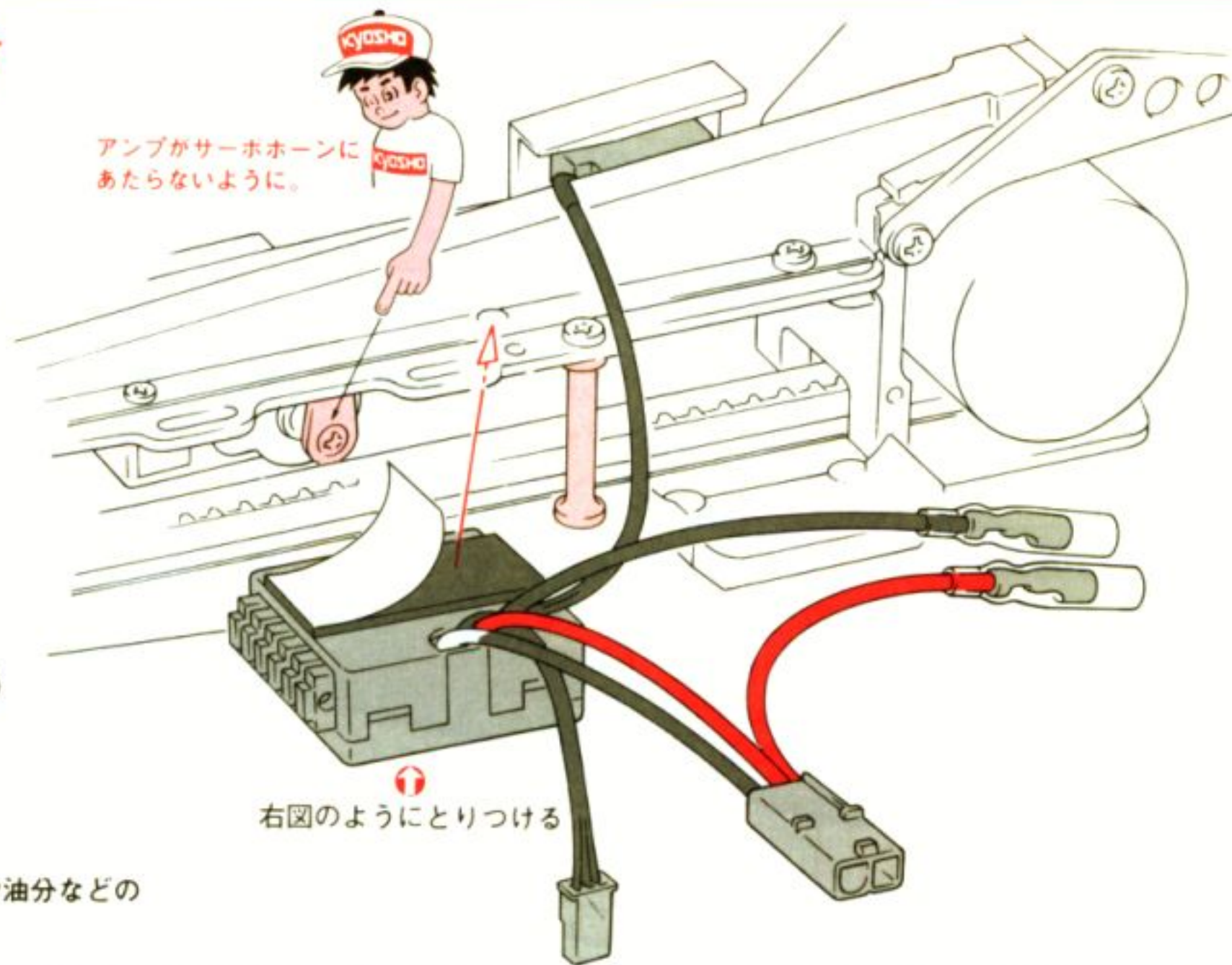
<小型アンプの場合>

⑪⑥ [TOPM-9] アンプの巾にカットする。

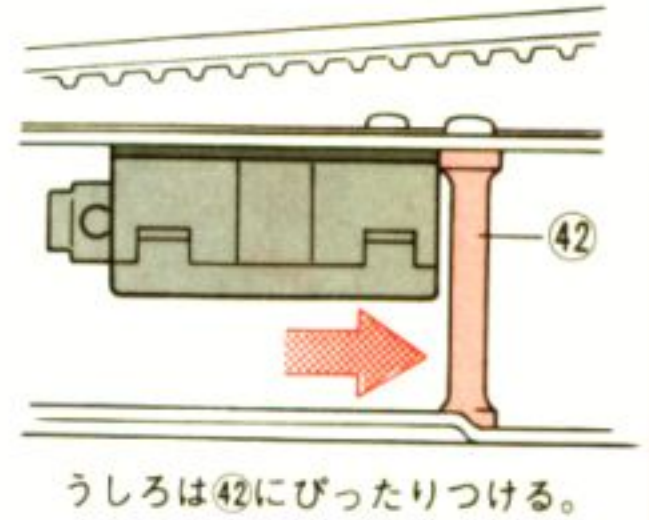


⑪⑥ 両面テープをはりつけるところの手アカや油分などのヨゴレはきれいにとっておくこと。

アンプがサーボホーンにあたらないように。



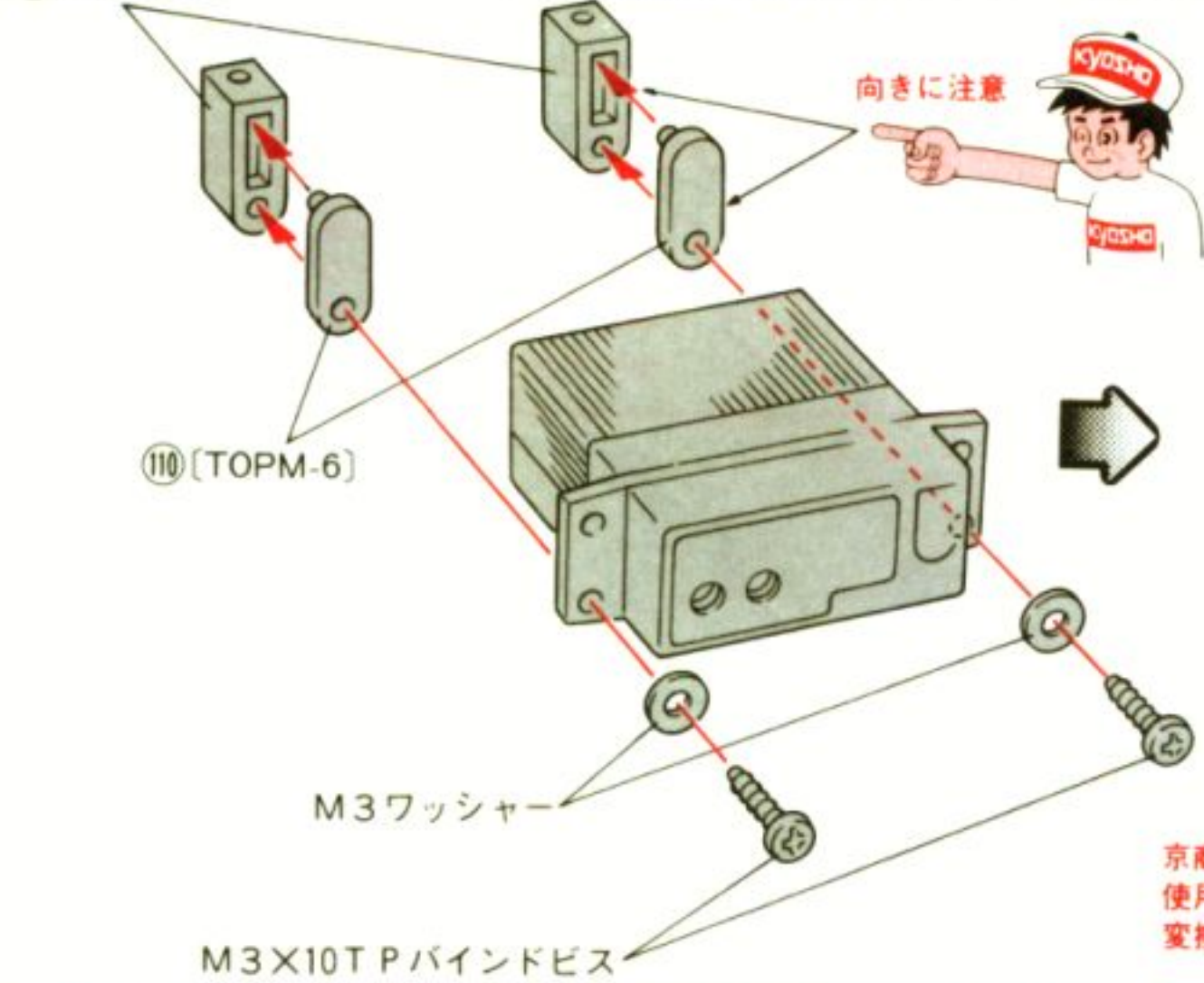
<とりつけた状態>



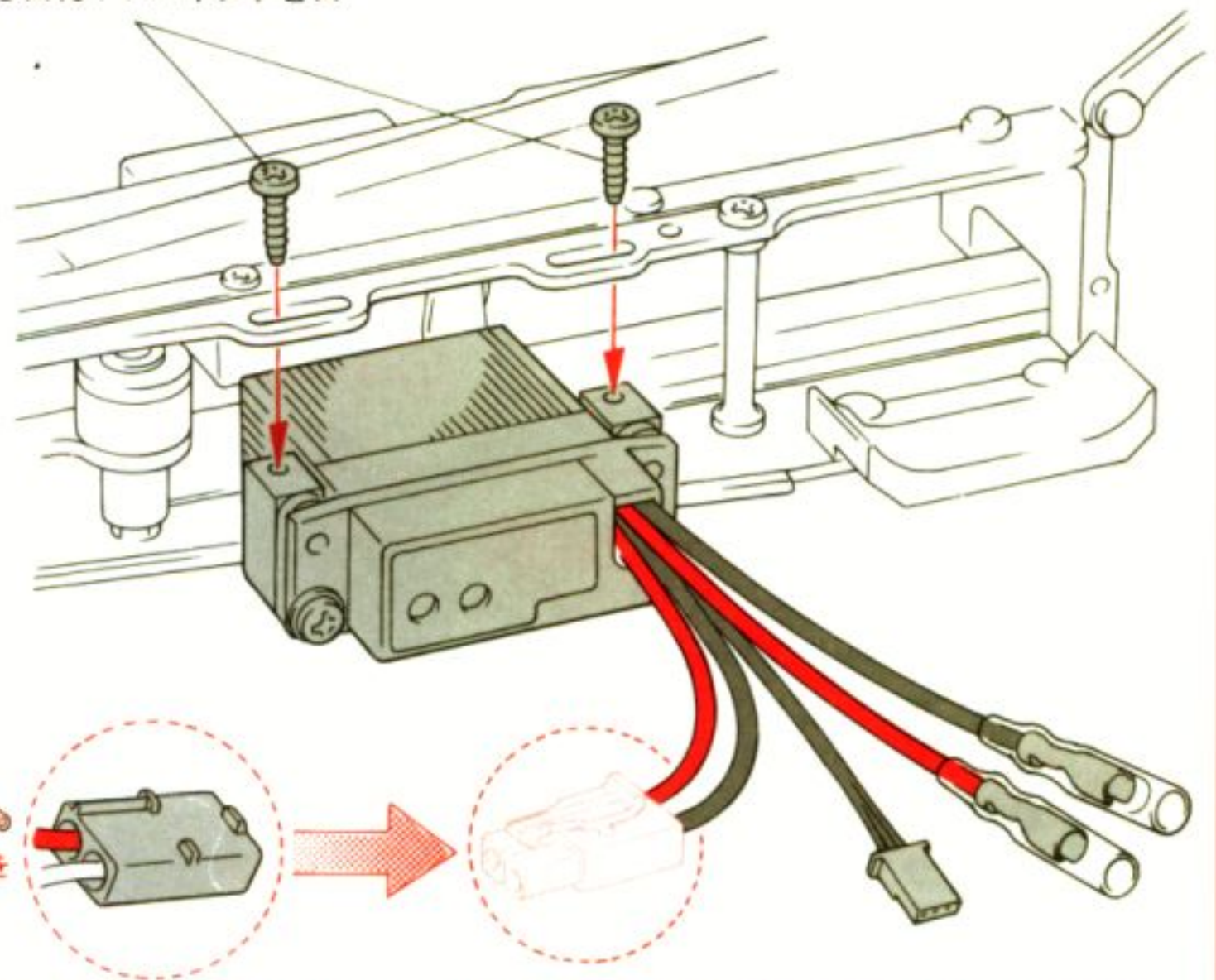
<サーボ型アンプの場合>

アンプが大きくて下図のようにとりつかない場合があります。この場合は⑪⑩で受信機をとりつける場所に両面テープでとりつけ、受信機は上図のようにアッパーデッキの下にとりつけます。

⑩⑩ [TOPM-6]



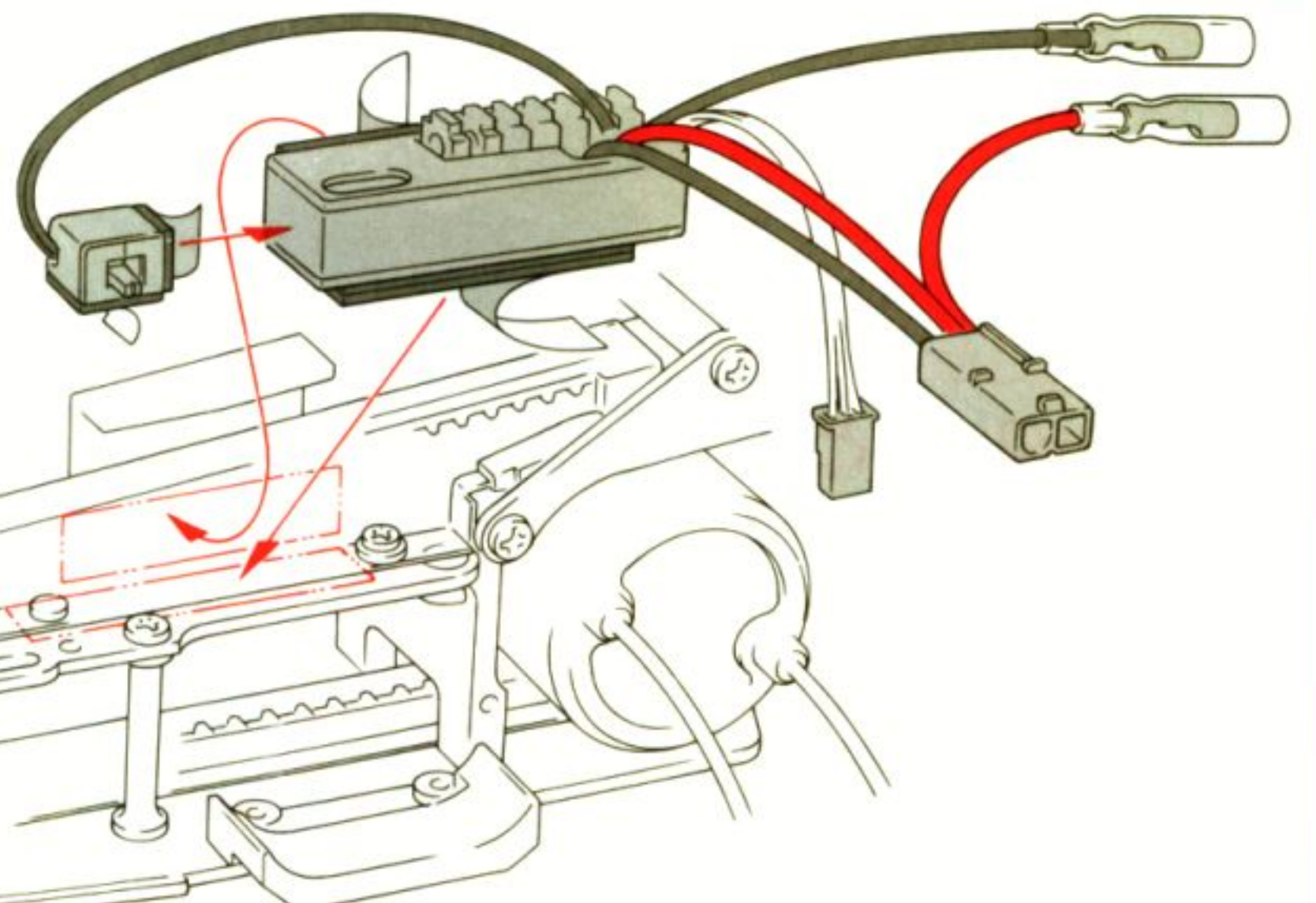
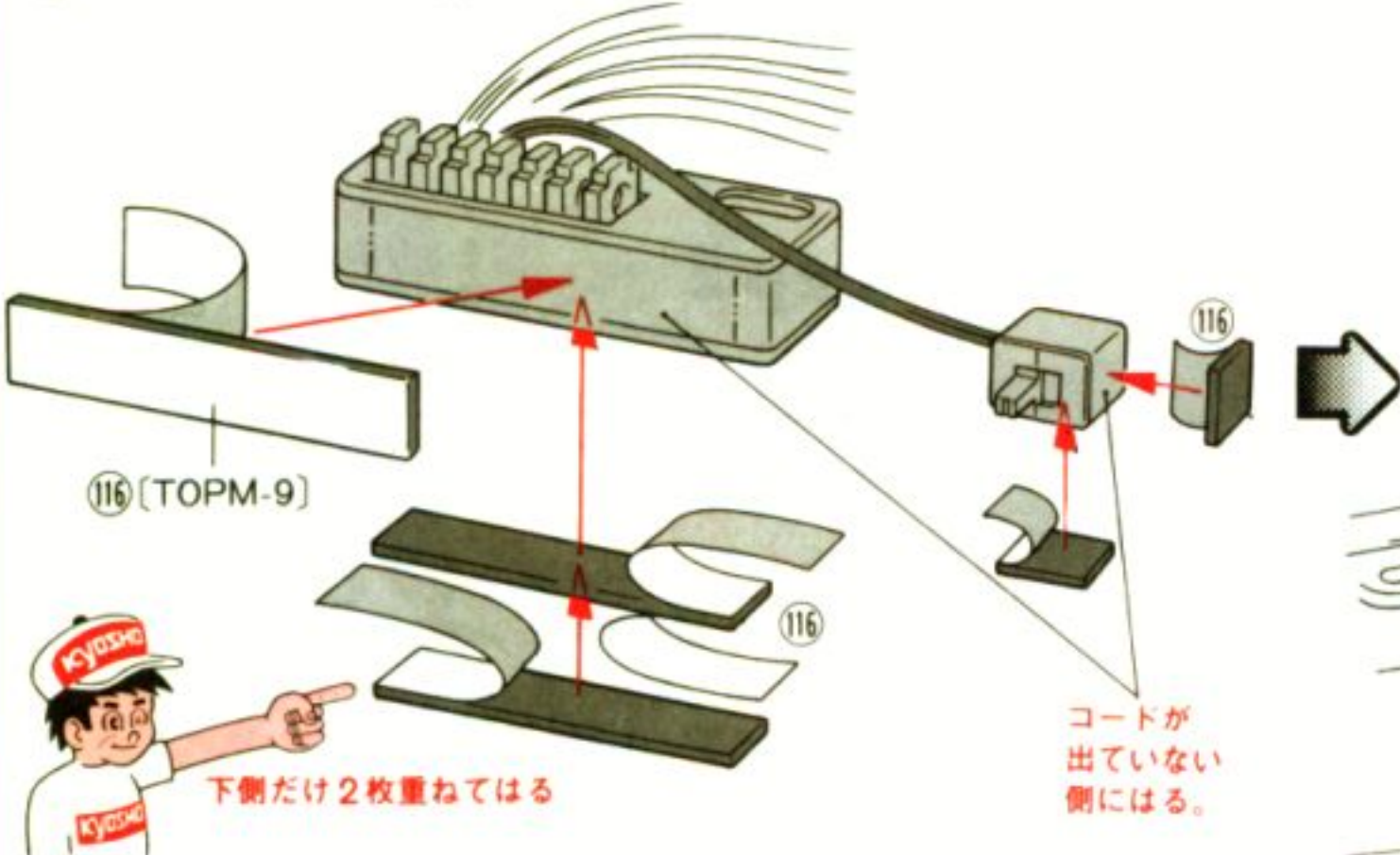
京商製のニカドバッテリーを使用する方はコネクターを交換しておきましょう。



<横長型アンプの場合>

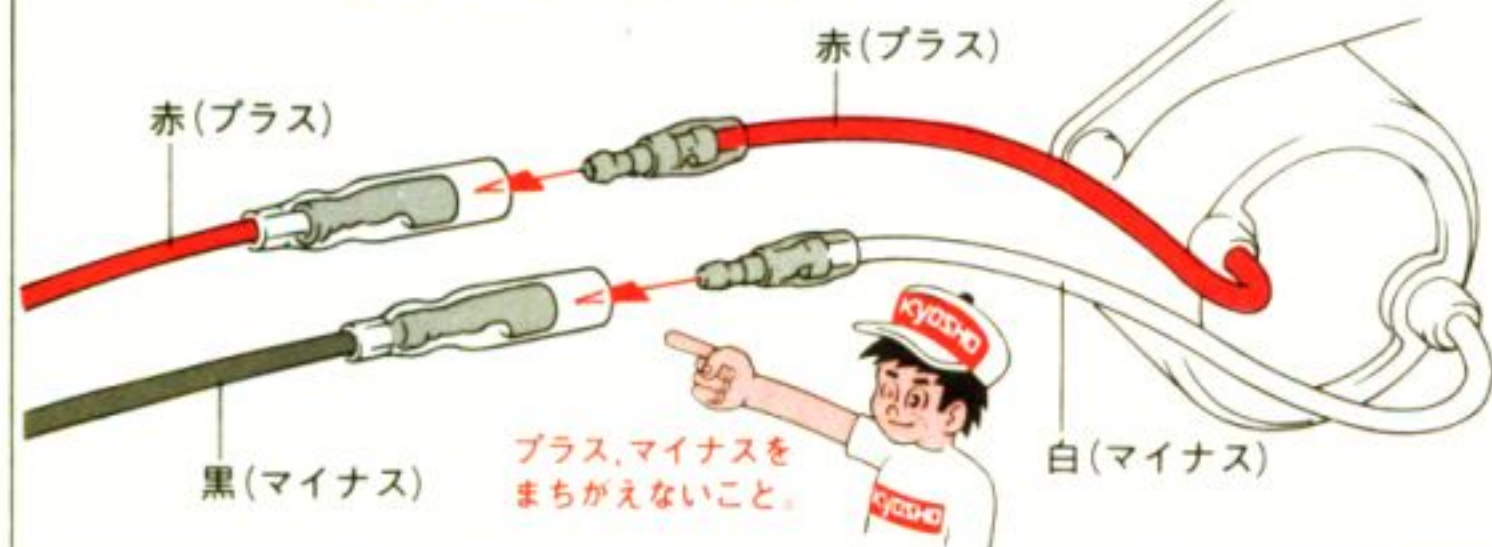
⑪⑥ 両面テープをはりつけるところの手アカや油分などのヨゴレはきれいにとっておくこと。

⑪⑥はアンプ、スイッチに合わせてカットする。



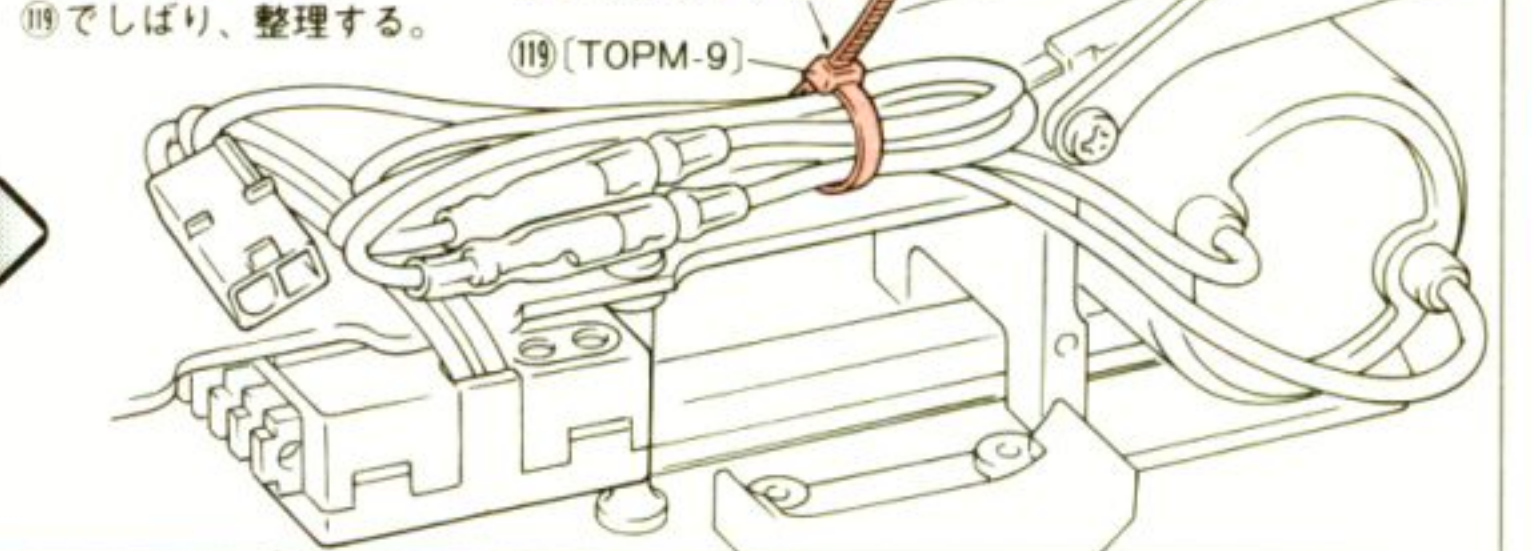
<アンプをとりつけ終わったら>

モーターのコネクターを接続する。



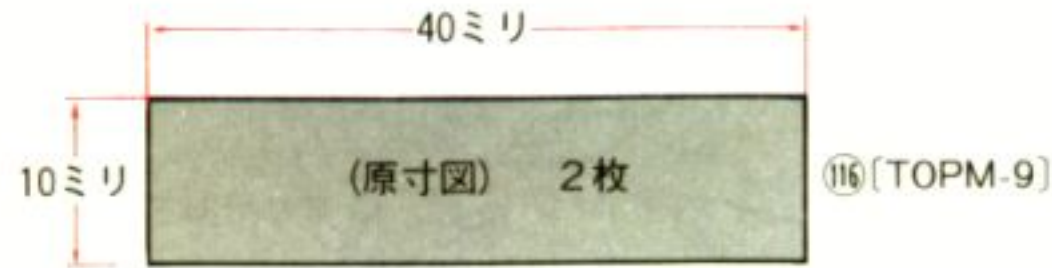
コードが長い場合は⑪⑨でしばり、整理する。

きつくしばったらここでカットする。

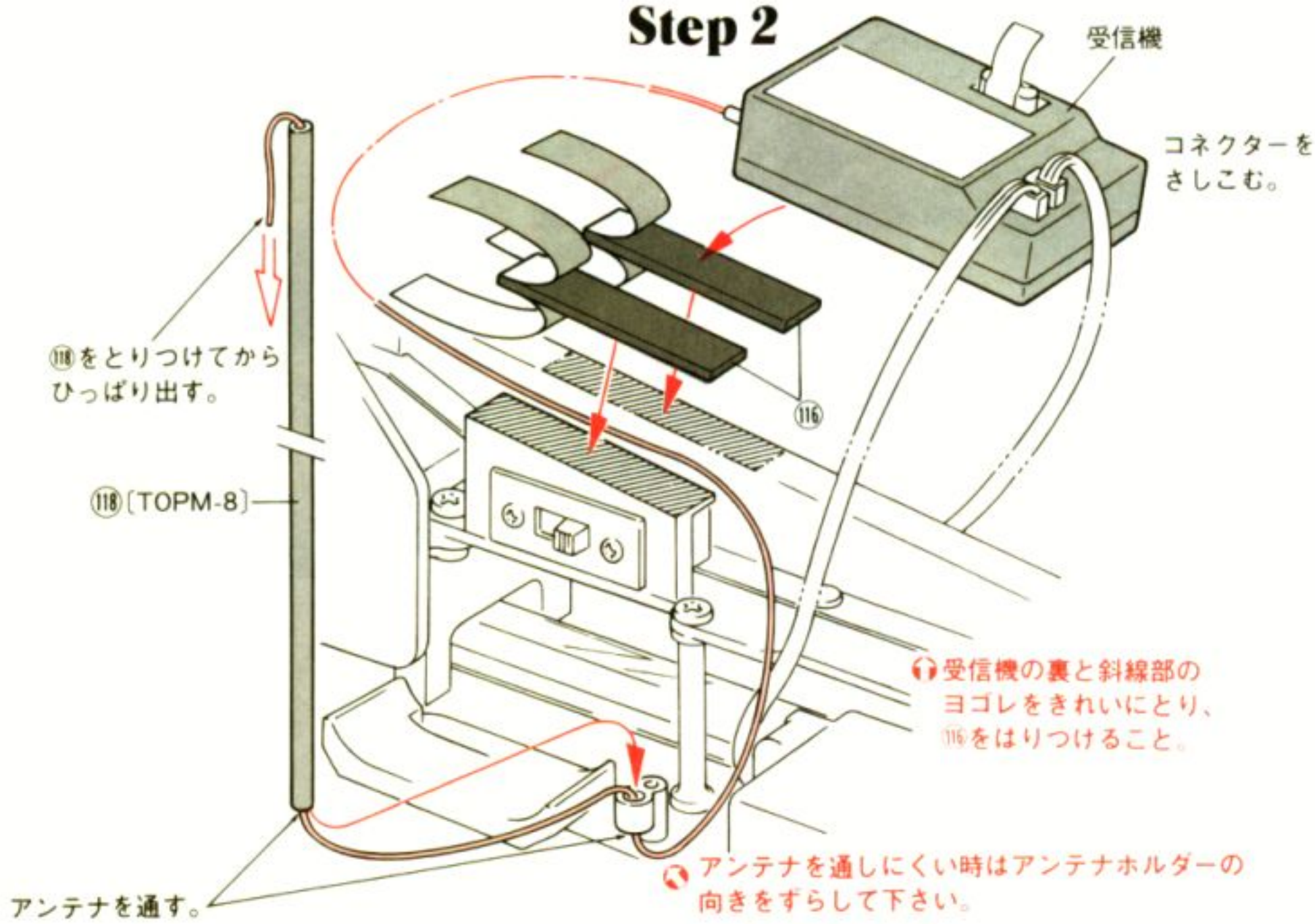


32 受信機のと取り付け

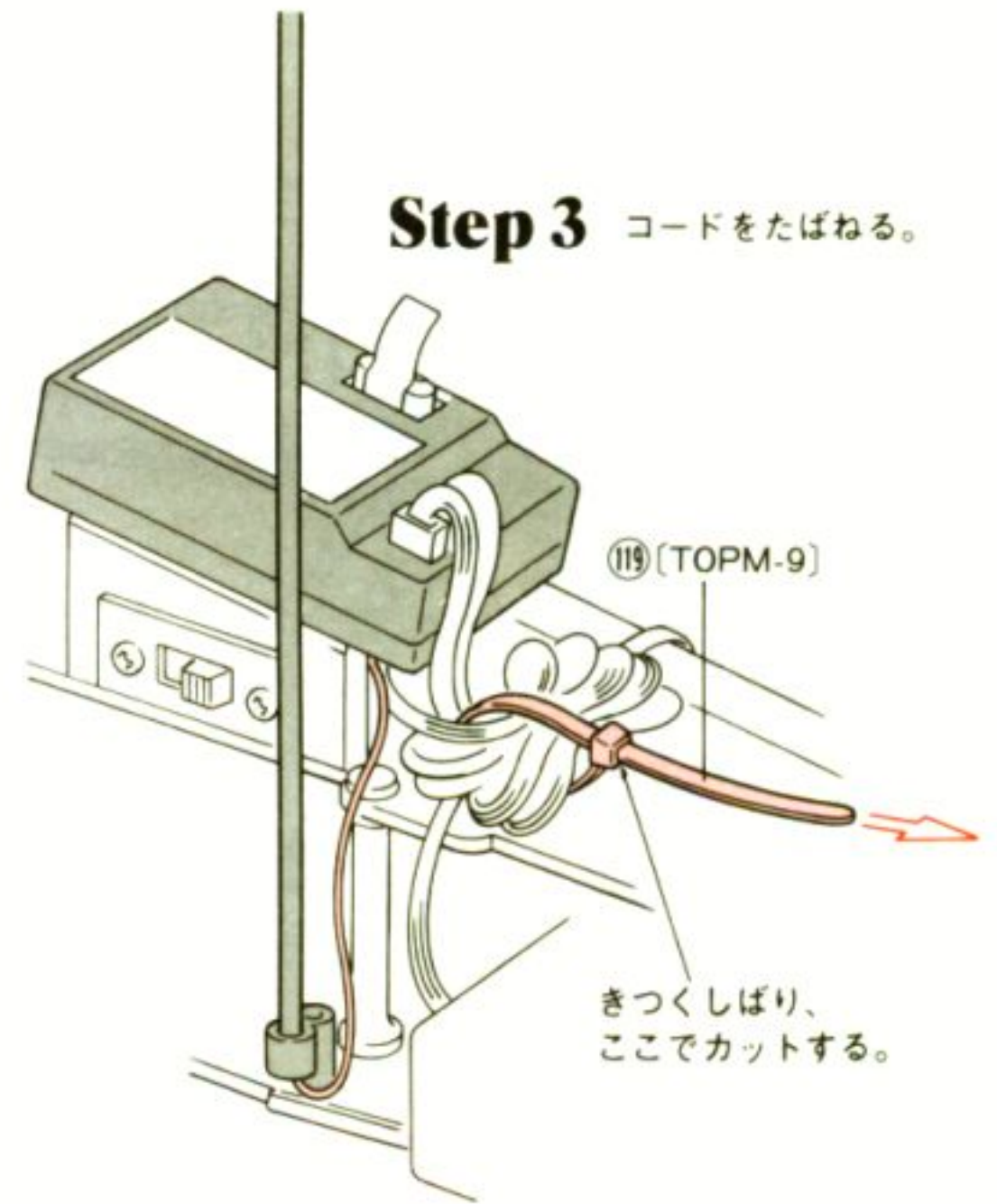
Step 1 <両面テープのカット>



Step 2



Step 3 コードをたばねる。

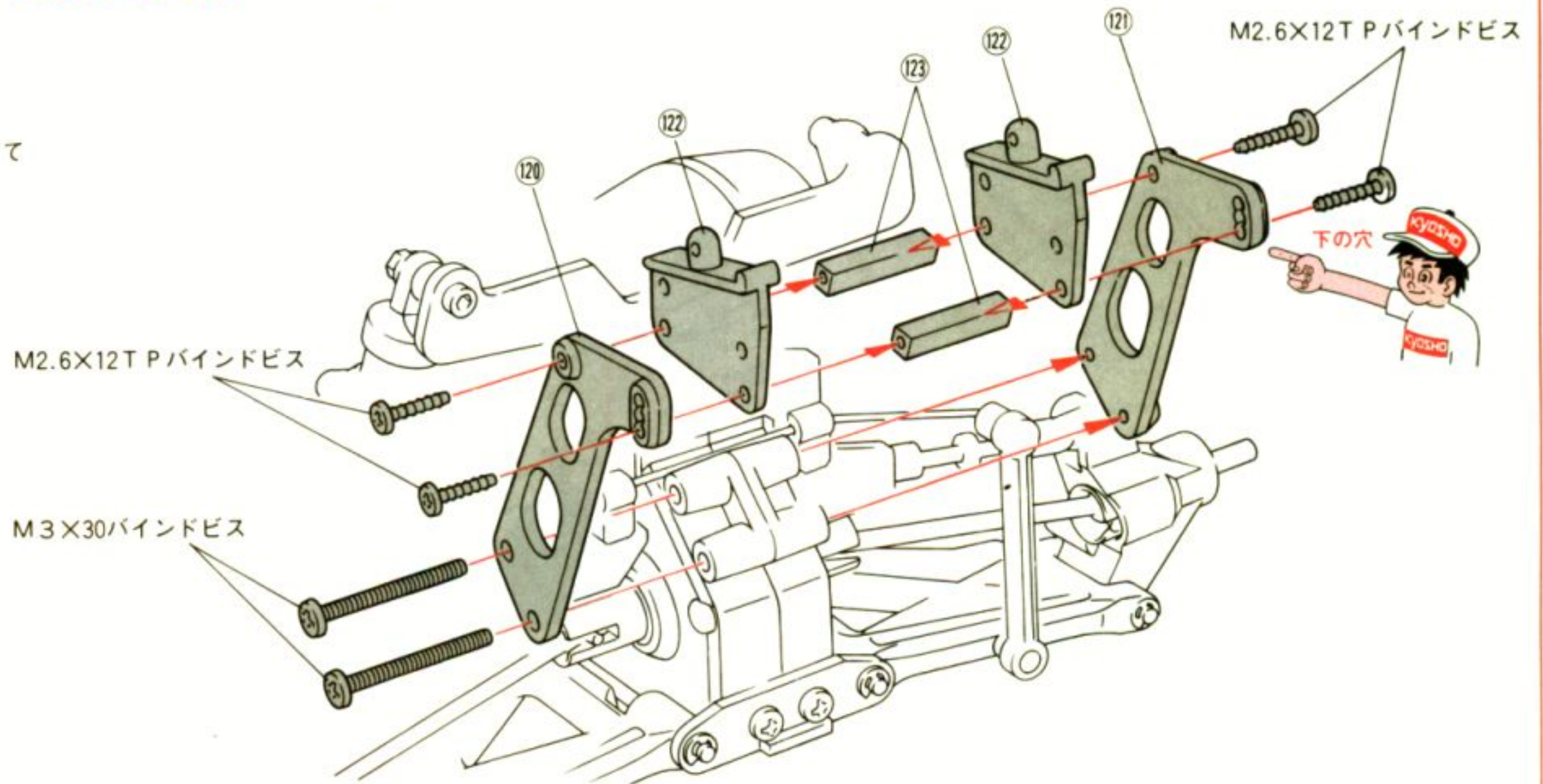
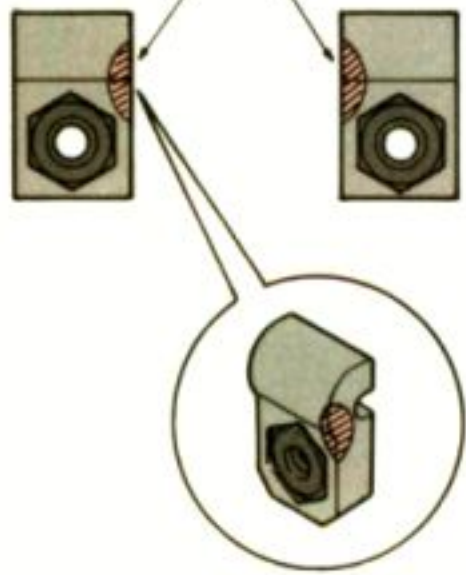


33 ウイングステーのと取り付け

●ここで使用するパーツはビスをのぞき [TOPM-6] に入っています。

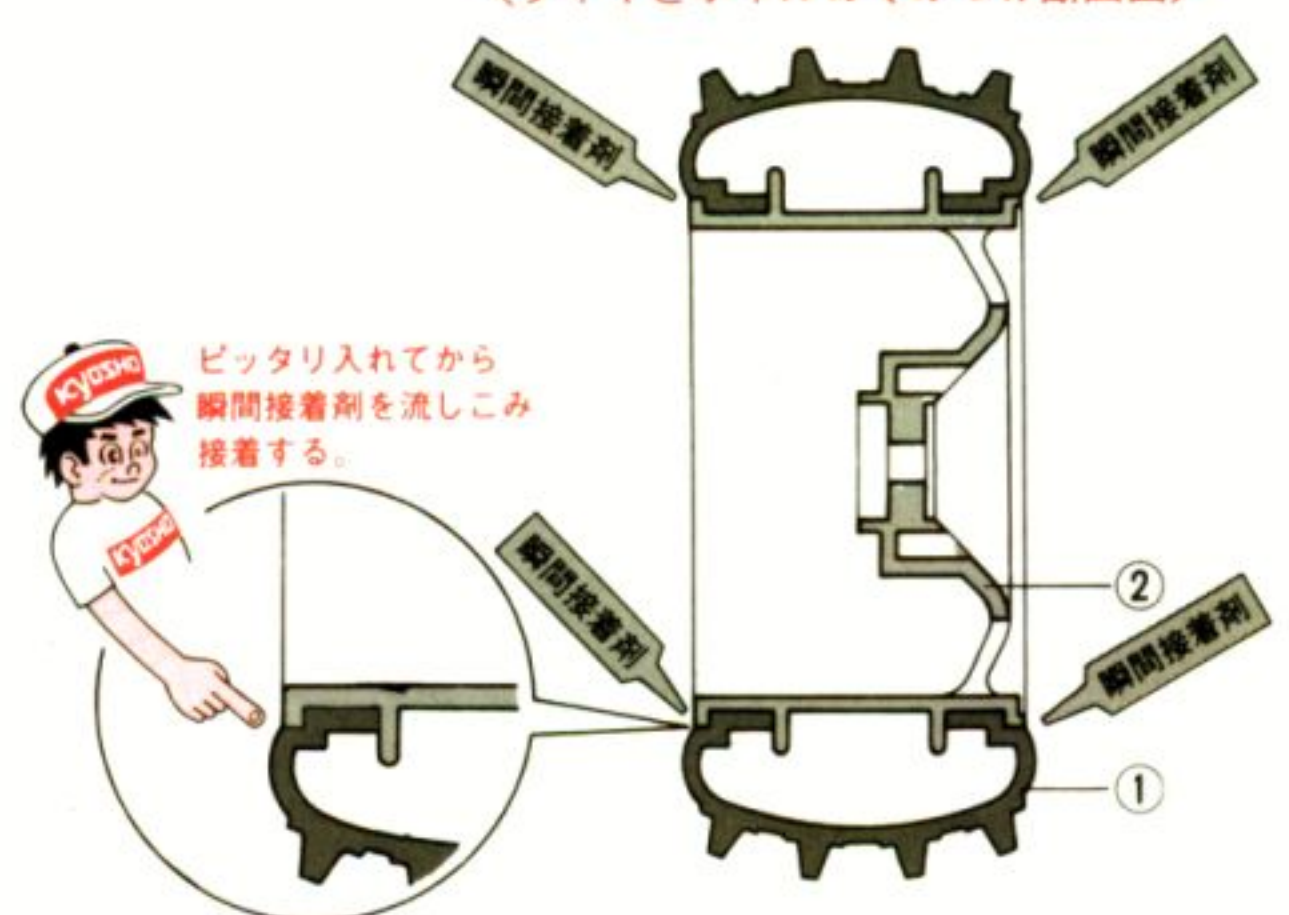
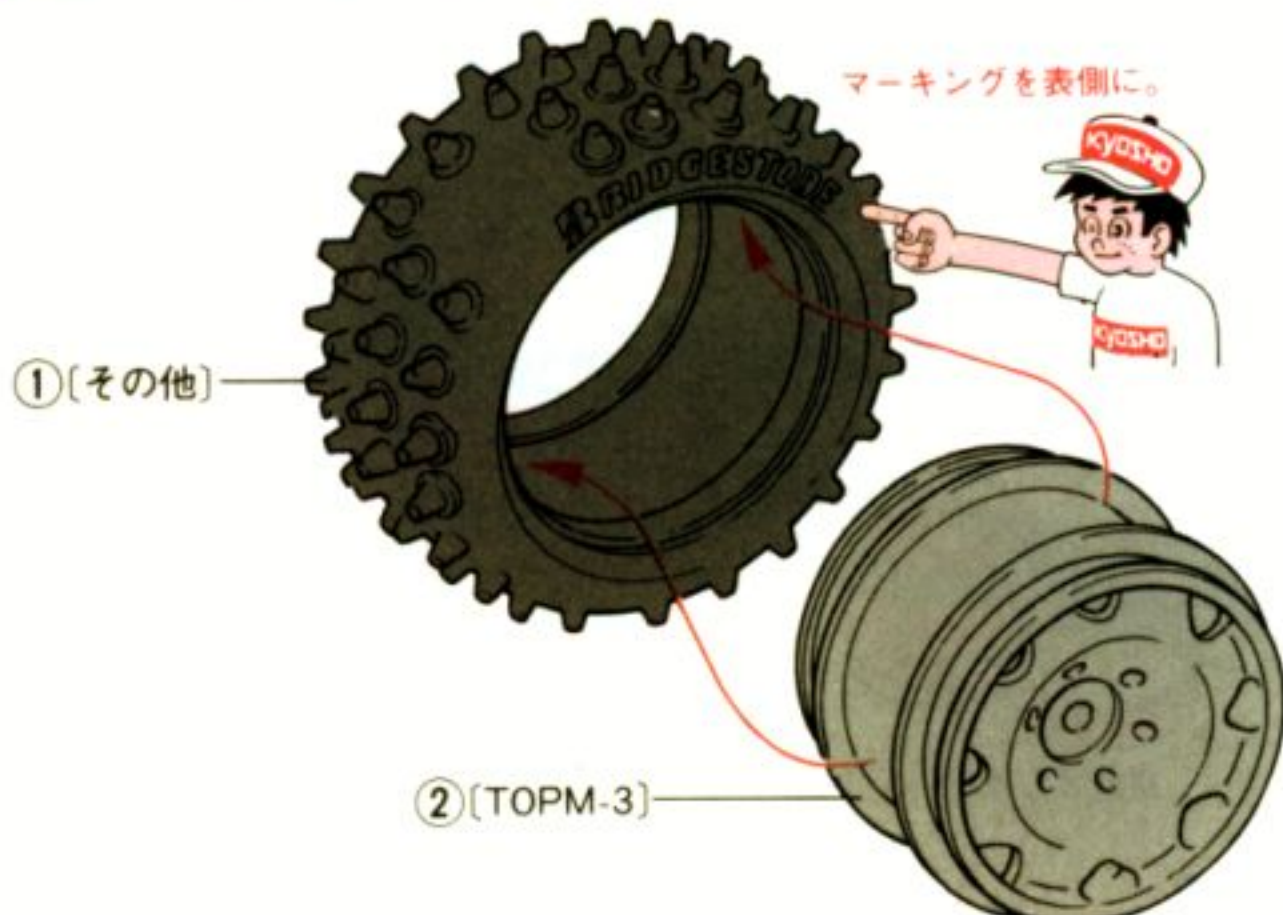
<スタビストッパーの加工>

①⑩、①⑪ ウイングステー (A) をとりつけてあたる斜線部をカットして下さい。

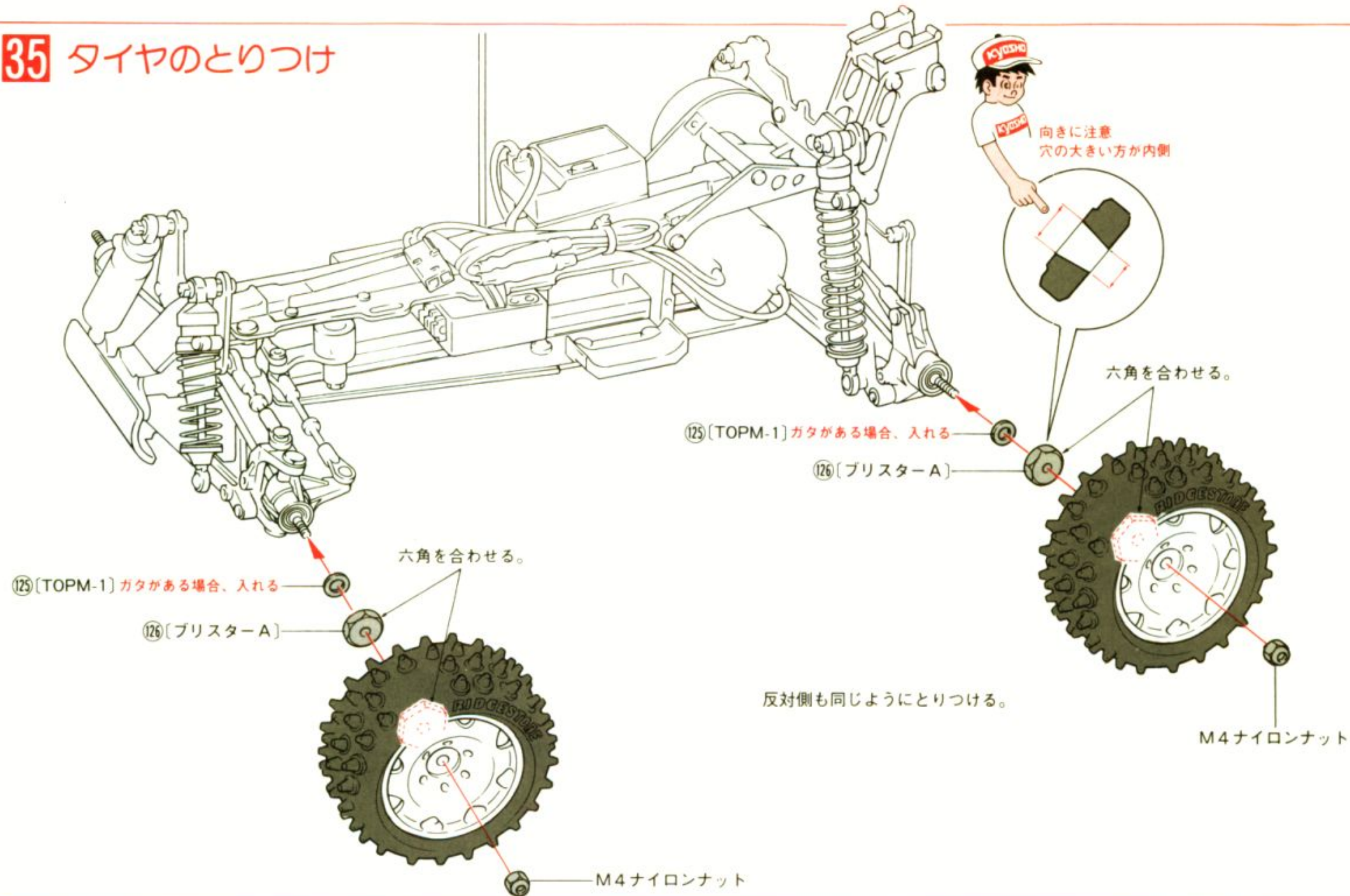


34 タイヤのくみつけ

<タイヤとホイールのくみつけ断面図>

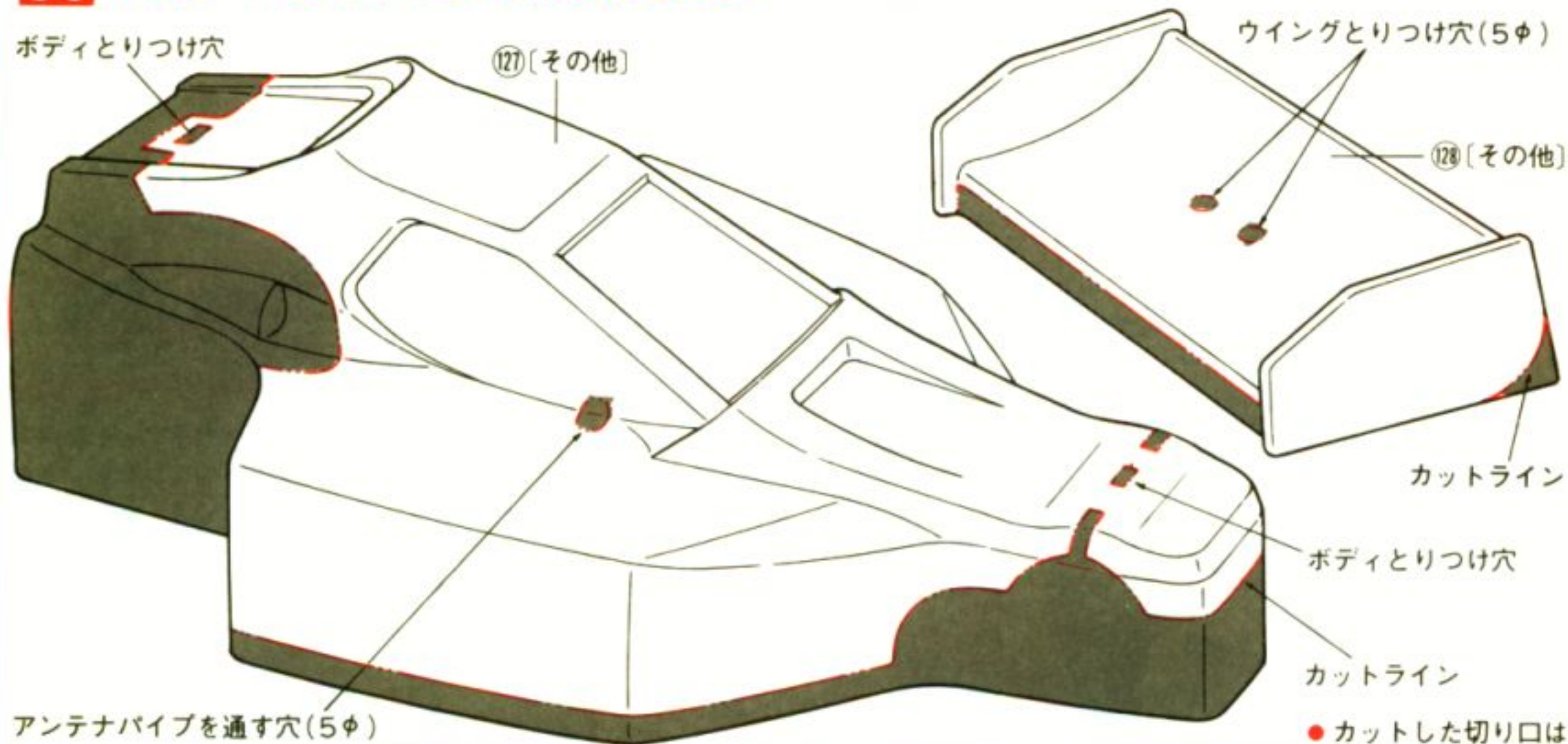


35 タイヤのとりつけ



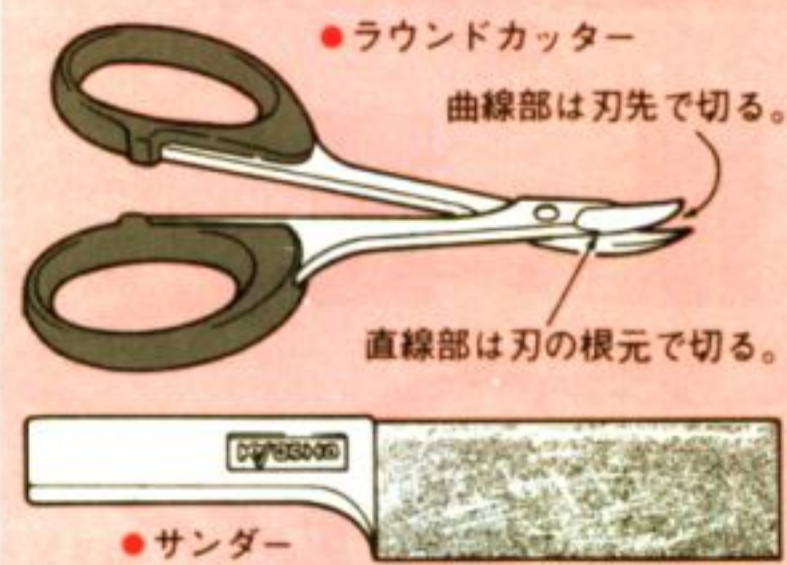
36 ボディとウイングのかこう

■のところをカットして下さい。



KYOSHO

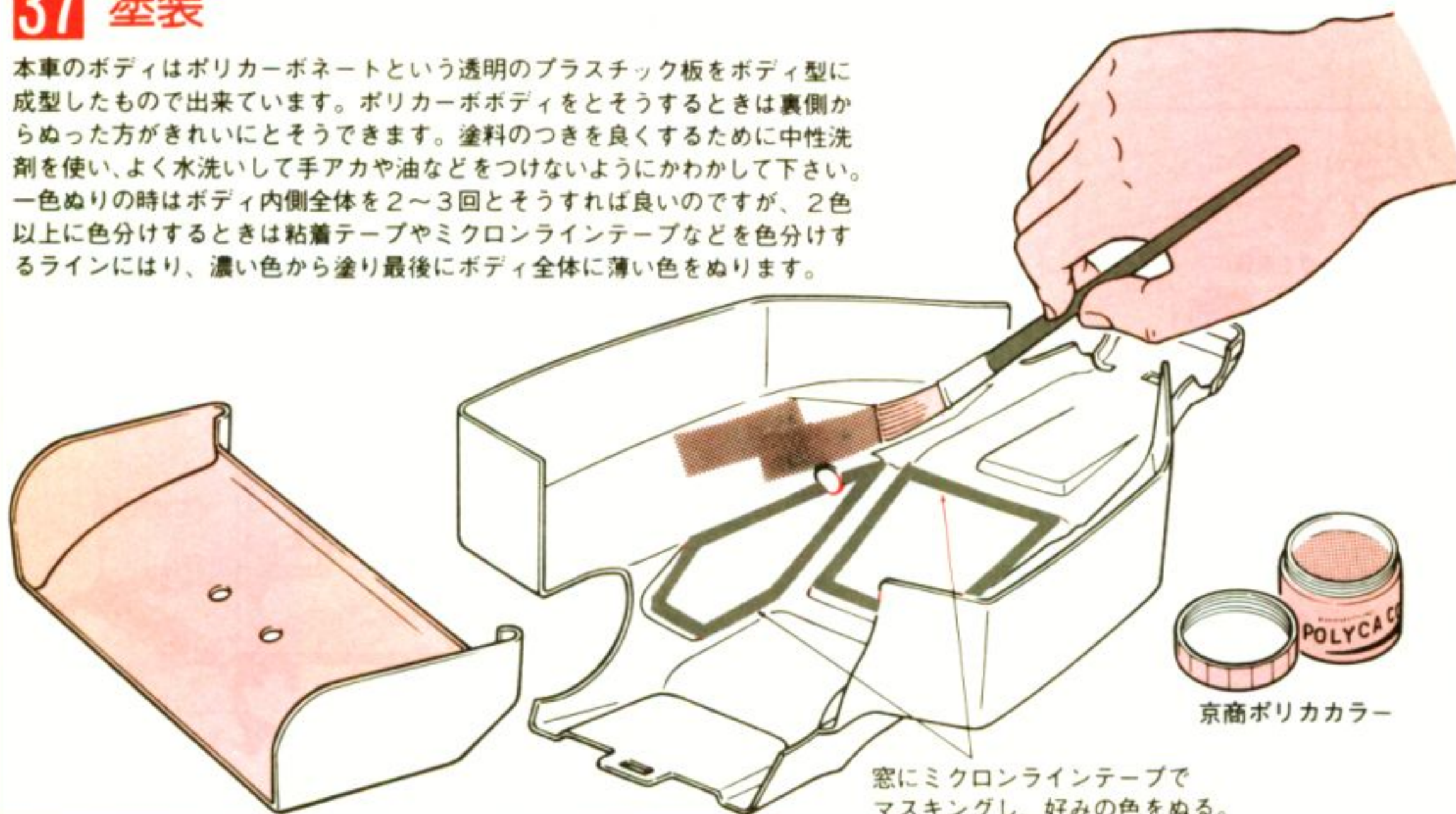
京商ではポリカーボボディ工作用の専用ハサミとサンダーをセットにした「ラウンドカッター/サンダー」を発売しております。 No.1829



●カットした切り口はサンダーで仕上げる。

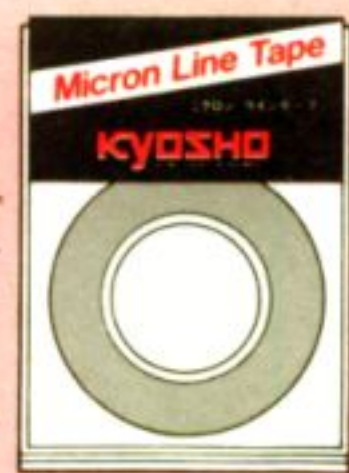
37 塗装

本車のボディはポリカーボネートという透明のプラスチック板をボディ型に成型したもので出来ています。ポリカーボボディをとそうときは裏側からぬった方がきれいにとそうできます。塗料のつきを良くするために中性洗剤を使い、よく水洗いして手アカや油などをつけないようにかわかして下さい。一色ぬりの時はボディ内側全体を2~3回とそうすれば良いのですが、2色以上に色分けするときは粘着テープやマイクロラインテープなどを色分けするラインにはり、濃い色から塗り最後にボディ全体に薄い色をぬります。



KYOSHO

京商マイクロラインテープはマスキングテープとして又、デザインテープとしても使えます。色は6色、太さも3種類あります。 No.1841~3



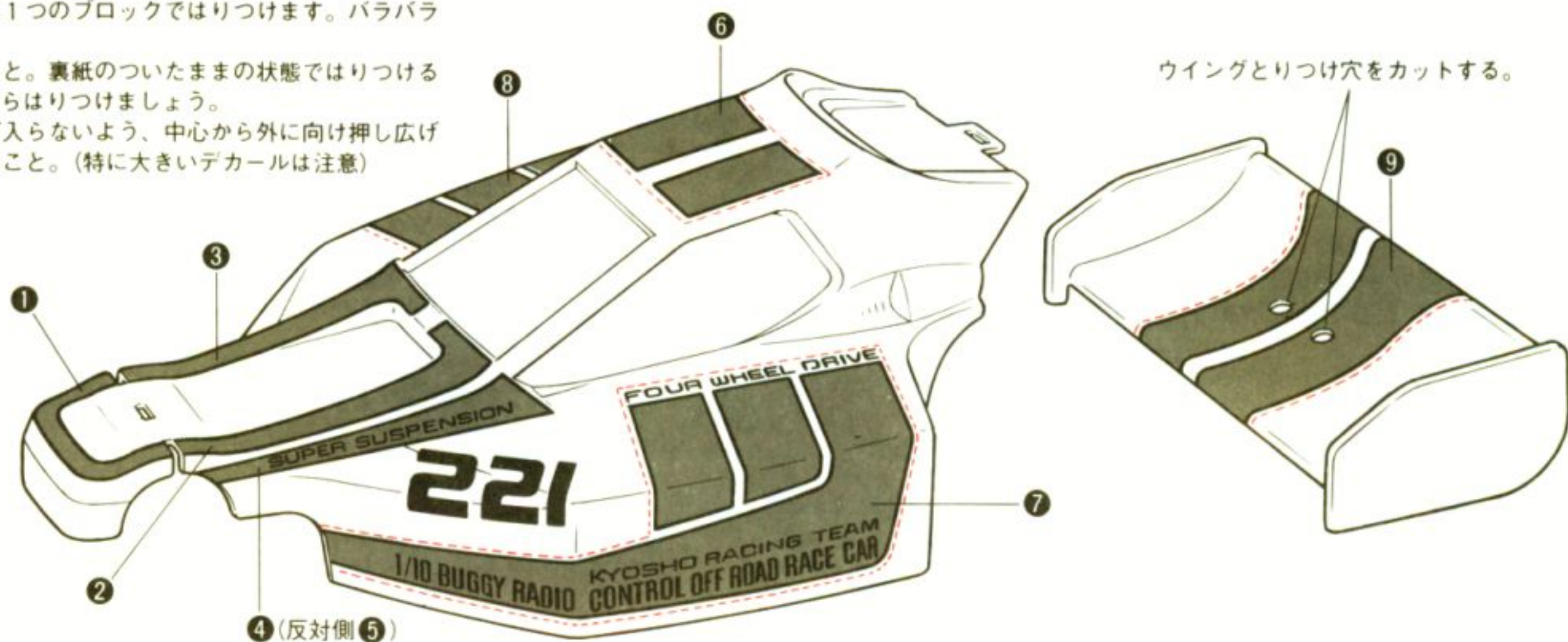
KYOSHO

京商ポリカカラーはポリカーボボディ専用のアクリル塗料で大変あつかいやすく、色も12色そろっております。 No.2230

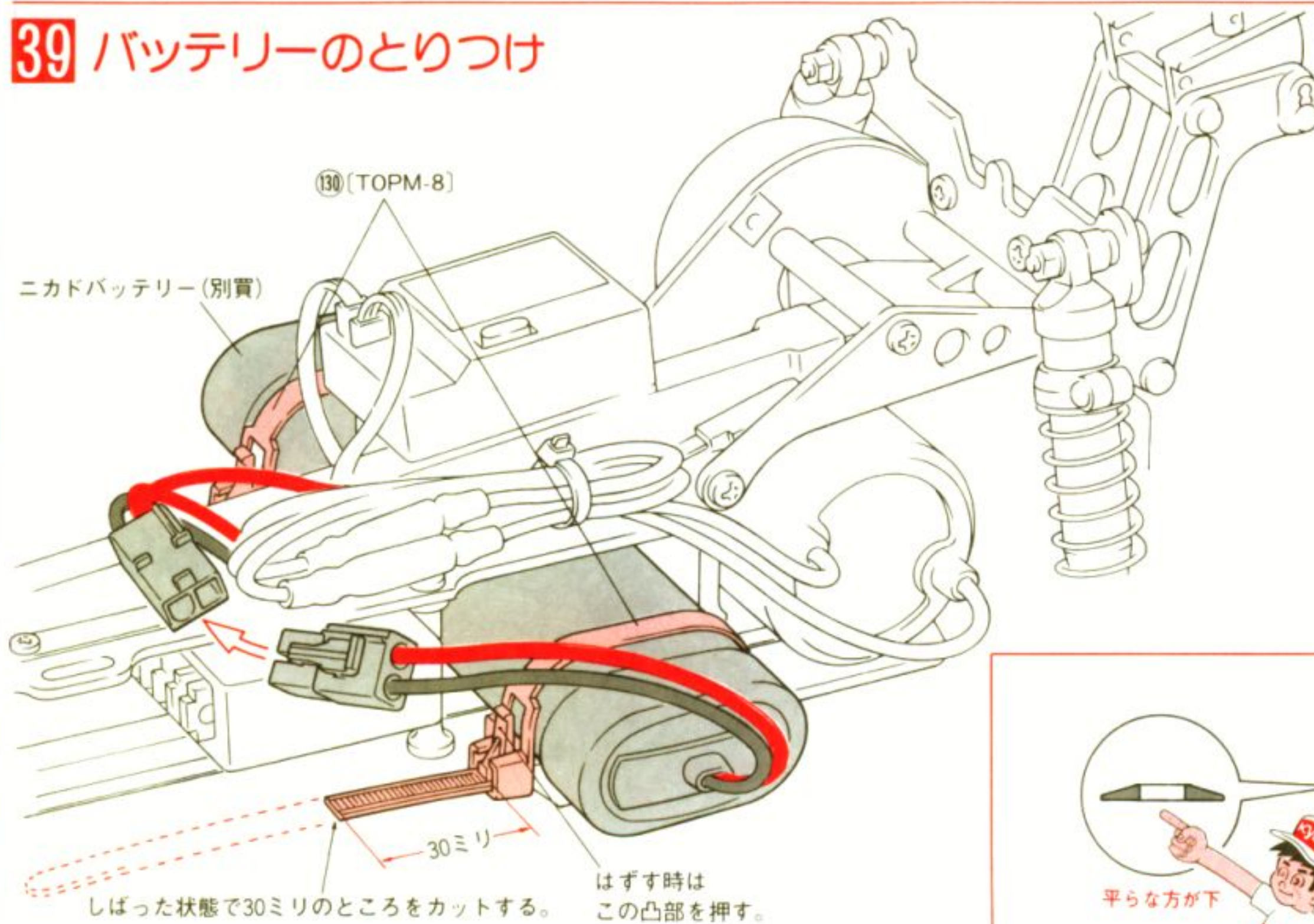


38 デカールのはりつけ

- デカールは余白を残さずハサミでギリギリに切りはなすこと。
- 点線(.....)のデカールは1つのブロックではりつけます。バラバラに切りはなさないこと。
- いきなりはりつけないこと。裏紙のついたままの状態ではりつける位置をよくたしかめてからはりつけましょう。
- デカールに気泡(空気)が入らないよう、中心から外に向け押し広げるようにしてはりつけること。(特に大きいデカールは注意)



39 バッテリーのとりつけ



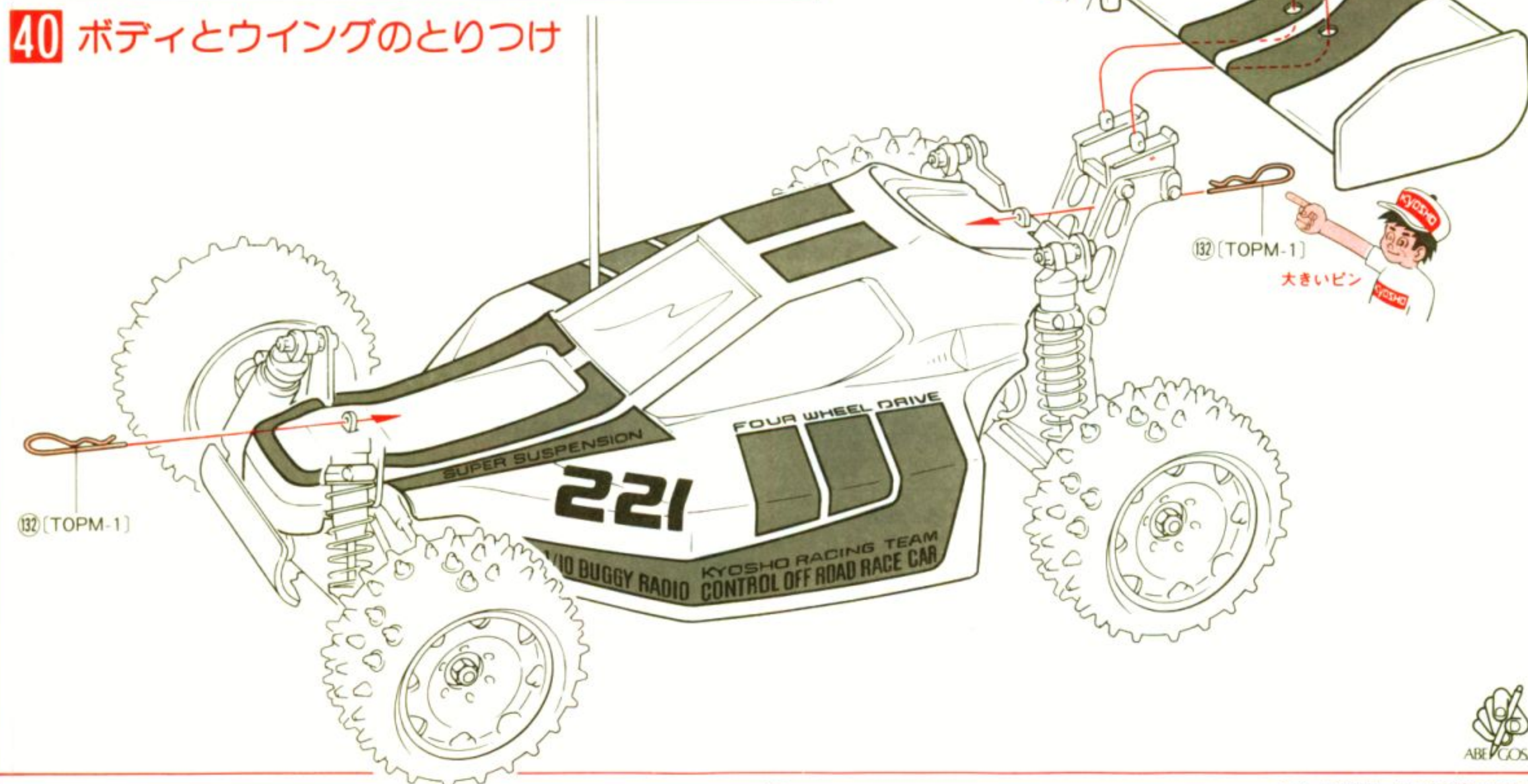
KYOSHO

ニカドバッテリーは電動バギーの性能を十分に発揮できる高性能バッテリーをお選び下さい。京商では特に電動バギー用にセレクトされた7.2Vスプリントバッテリー-SCRを用意しております。 No. 2310



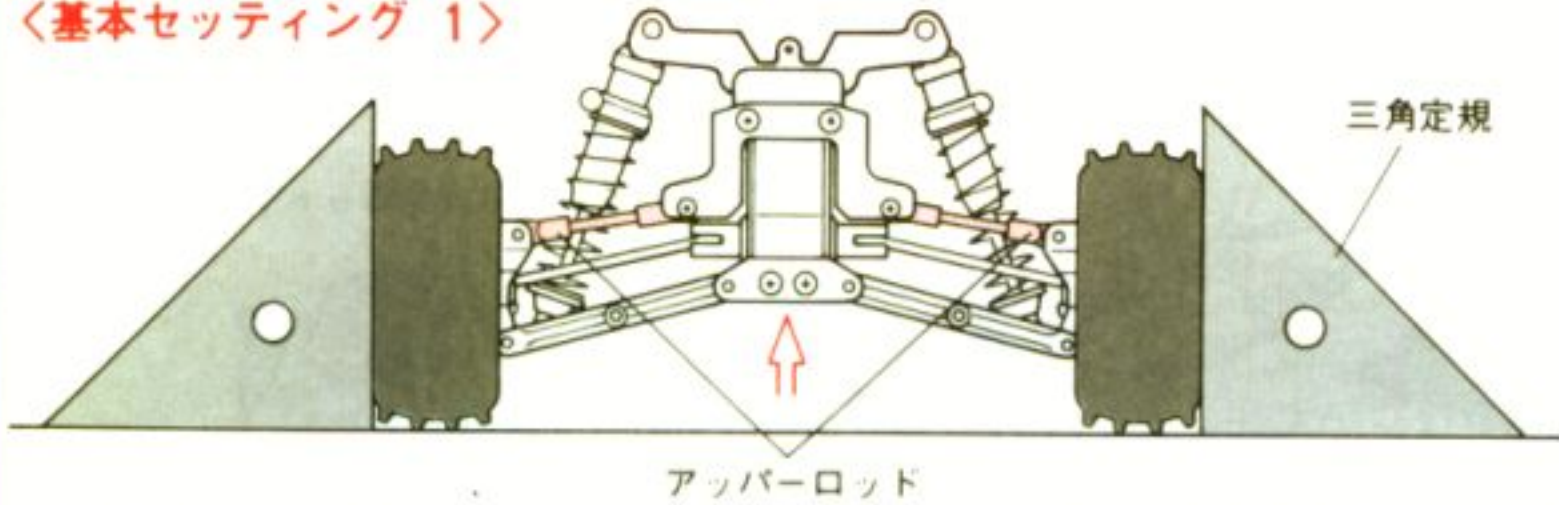
走行させない時や家に保管しておく時は必ずニカドバッテリーは車からはずしておくこと。

40 ボディとウイングのとりつけ



4WDオフロードレーサー「ターボオプティマミッド」セッティングガイド(1)

<基本セッティング 1>

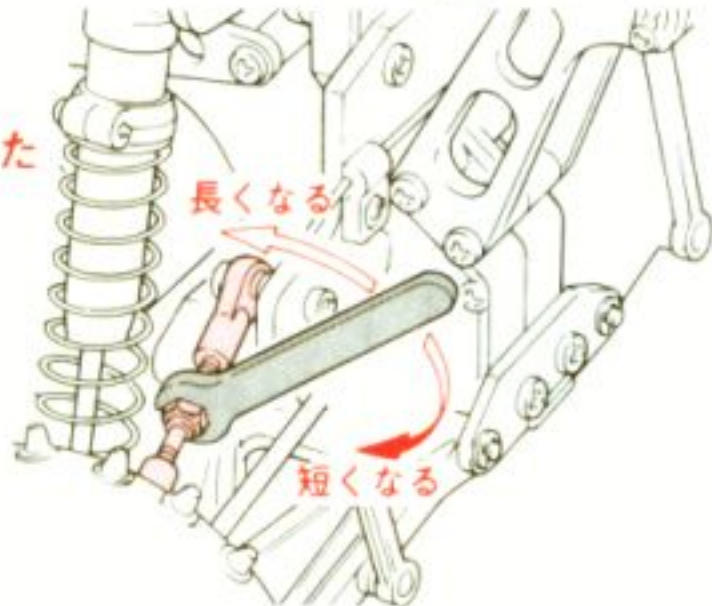


車を平らな所におき、車高を一番上に上げたじょうたいでタイヤが地面と90度になるよう、フロントとリアのアップーロッドの長さを調整します。

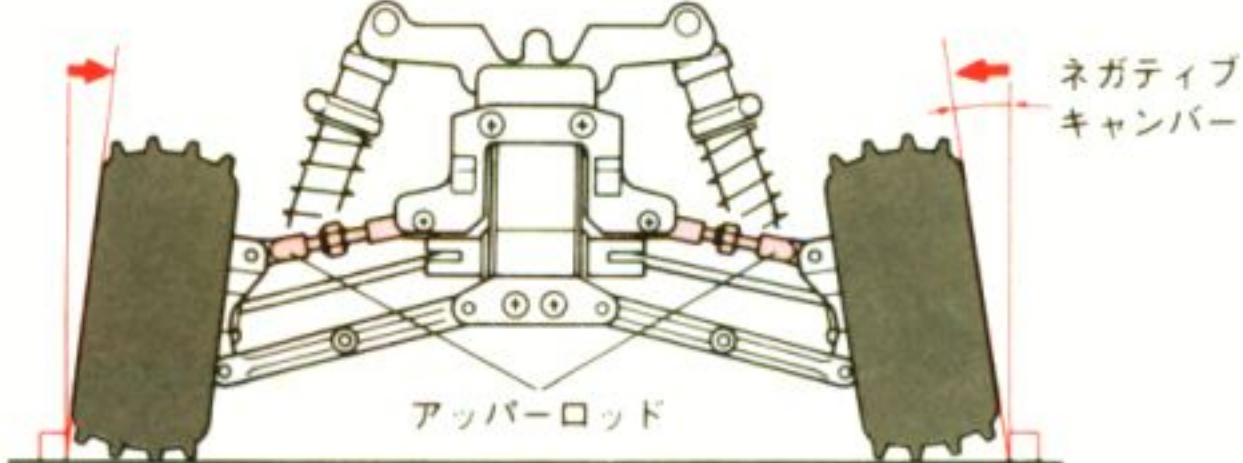
●アップーロッドの長さの調節のしかた

前方向に回すとロッドは長くなる。
後方向に回すとロッドは短くなる。

※タイロッドも同じように調整できます。

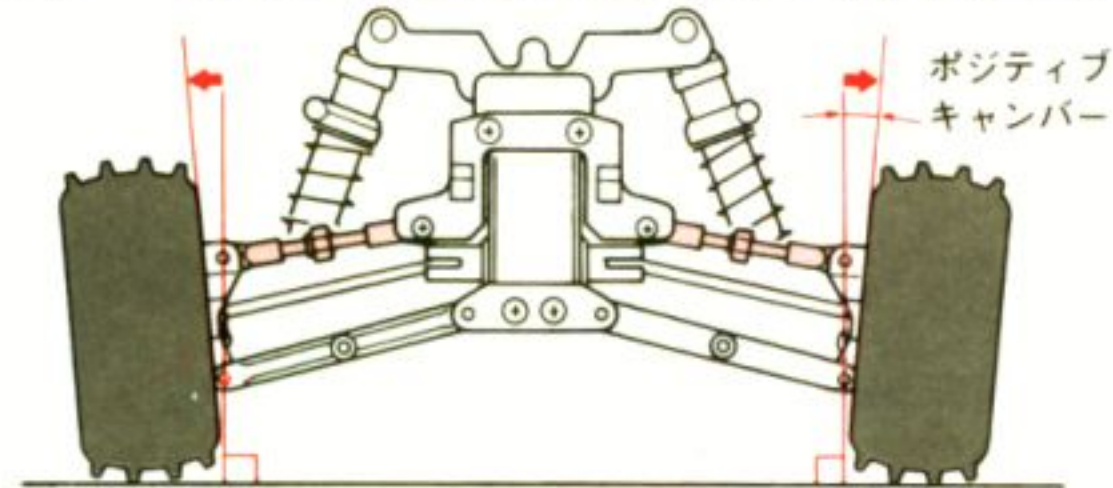


- アップーロッドを短くするとネガティブキャンバーがつく。
フロントにネガティブキャンバーをつけるとハンドルの切れが良くなる。
リアに リヤタイヤのグリップが上がる。

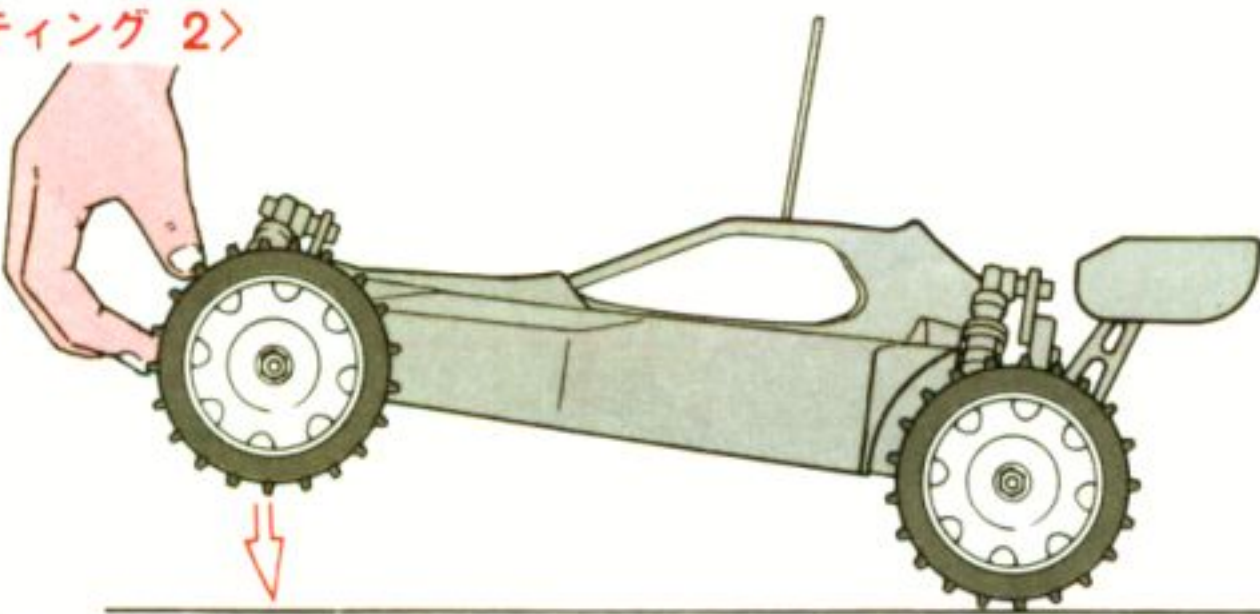


- アップーロッドを長くするとポジティブキャンバーがつく。
フロントにポジティブキャンバーをつけるとアンダーステア傾向になる。
リアに オーバーステア

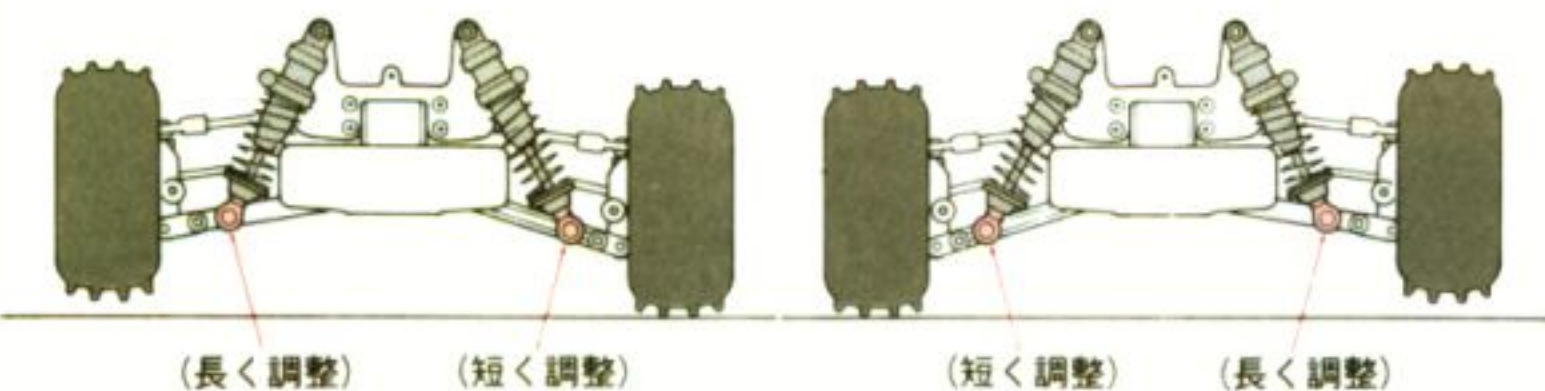
※ポジティブキャンバーをつけすぎるとスイングシャフトがはずれることがあります。



<基本セッティング 2>



車を平らな所におき、前輪をもち上げ、つぎにゆっくりと前輪を下げていったとき、平らな所に前輪の左右が同時につくよう、ダンパーの長さを調整する。前輪が同時につかないと右・左のステアリング量が異なります。



<ダンパーオイルとスプリングの調整>

- フロント (ダンパーオイルをやわらかくすると) ⇨ハンドルの切れが良くなる。
フロント (スプリングをやわらかくすると)
- フロント (ダンパーオイルをかたくすると) ⇨ハンドルの切れが悪くなる。
フロント (スプリングをかたくすると)
- リア (ダンパーオイルをやわらかくすると) ⇨グリップが高くなる。
リア (スプリングをやわらかくすると)
- リア (ダンパーオイルをかたくすると) ⇨グリップが低くなる。
リア (スプリングをかたくすると)

<ジャンプの姿勢>

フロントのスプリングをかたく(オイルはやわらかく)すると着地の際に頭から落ちにくくなります。

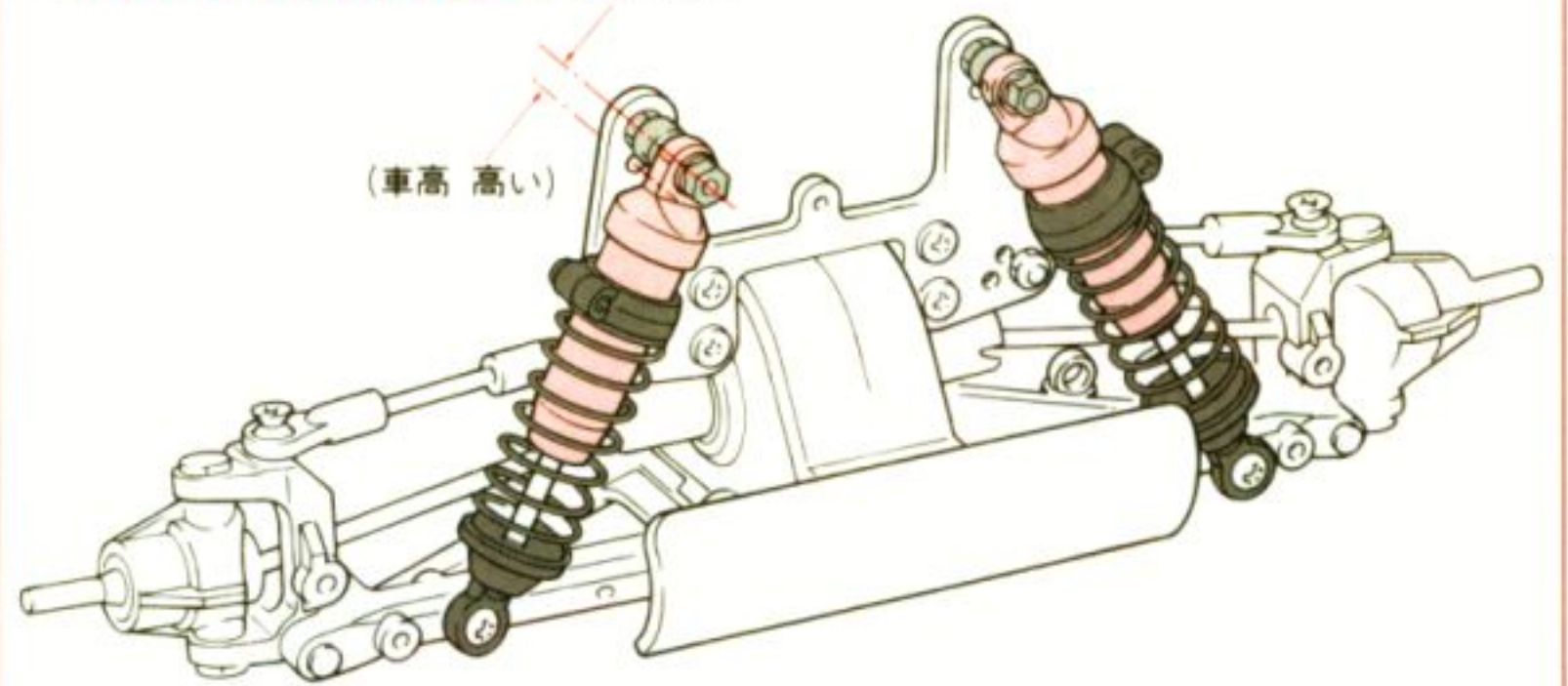
<ダンパーのかたさ調整>

品番1951 オイルセット	黄オイル	緑	黄	赤	緑	赤
ピストン						
ダンパーの かたさ	← かたい			やわらかい →		

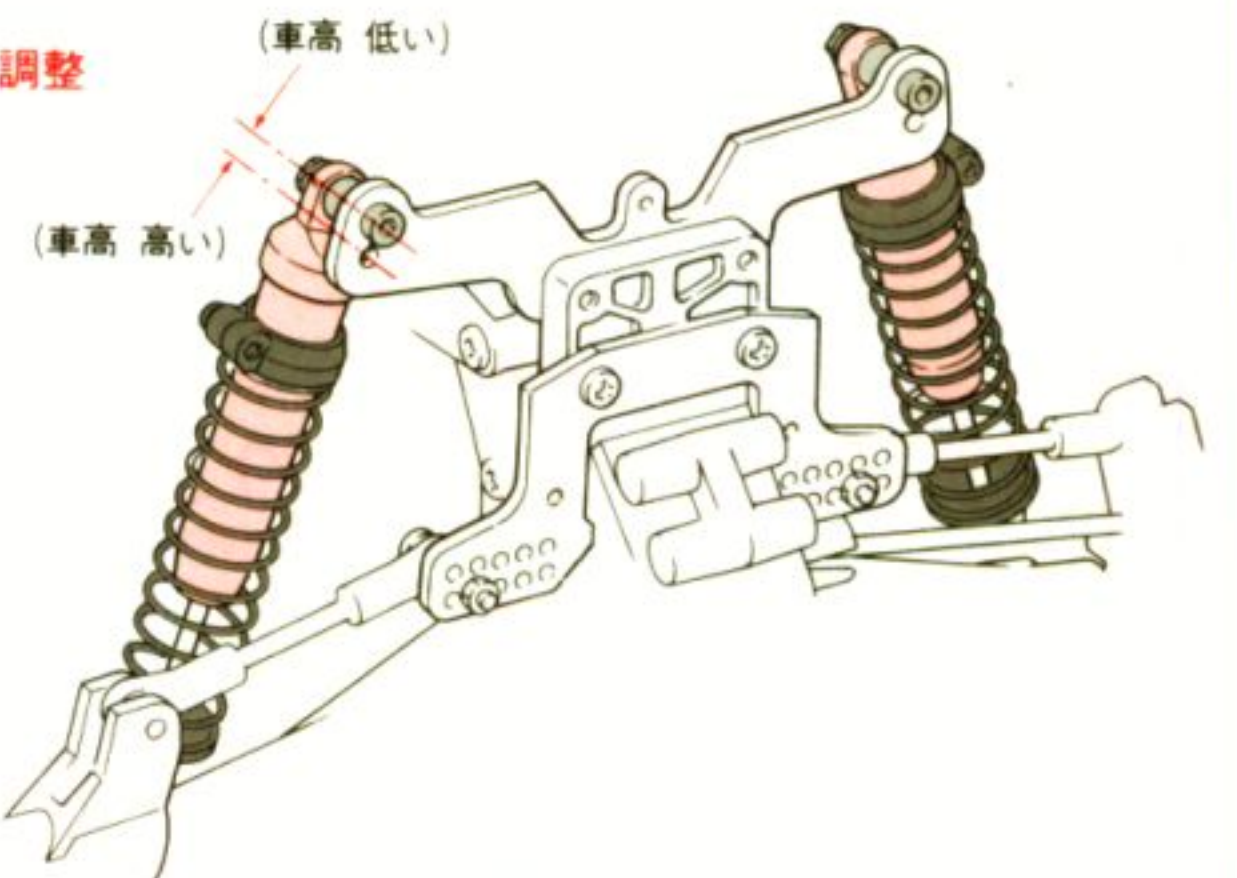
※以上はあくまで目安とお考え下さい。

<車高の調整>

(1) フロントの車高調整 (車高 低い)



(2) リアの車高調整 (車高 低い)



※上図のように走行場所に合わせ、車高調整ができます。主にグリップの良い芝生などは車高を低く、グリップの悪い所では車高を高くセットして下さい。

<ギャプロテクターについて>

ジャンプの着地やクラッシュによる急なギャへのしょうげきを防ぐものです。発進する時、すべってしまうようでしたら4ページの4でとりつけたM3ナイロンナットを1回転ぐらいつつ締めこんで調整して下さい。すべったままムリに走行させると、発熱によるトラブルがおこることがあります。

<ギャ比とモーターの関係>

ピニオンギヤ	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
ギャ比	13.04	12.22	11.50	10.87	10.29	9.78	9.31	8.89	8.50	8.15	7.82	
適合モーター	スバ 240WS											
					ル・マン H240S							
				ル・マン 240ST								
							ル・マン 360GOLD					

＜タイヤのセッティング 1＞

タイヤは走行場所(路面)に合わせ、スパイクを加工するとより車の性能が発揮できます。

※車がクイックな場合はフロントタイヤのイボを $\frac{1}{2}$ ～ $\frac{3}{4}$ ぐらいカットするとマイルドになります。

イボをカットする。



走行場所	イボの加工量
芝 生	イボを半分カット
コンクリート	イボを $\frac{3}{4}$ カット
砂 地	加工しない
かたいダート	イボを $\frac{1}{2}$ カット
やわらかいダート	加工しない

＜タイヤのセッティング 2＞

他にオプションハウスでW5031 ロープロタイヤ(ハード用)とW5032 ロープロタイヤ(ソフト用)を用意しております。

＜デファレンシャルギヤの調整＞

本車のデフはギヤ式のため、中に入れるデフ用オイルの量とかたさにより調整します。かたくする場合は1952デフオイルを多めに入れ、やわらかくする場合はデフオイルにダンパーオイルを10～20%混ぜあわせませす。

＜デフ調整によるステアリング特性＞

デフ調整によるステアリング特性	低速コーナー	高速コーナー
フロントデフ(かため)	ニュートラルステア	アンダーステア
リアデフ(かため)	アンダーステア	オーバーステア
フロント・リア共に(やわらかめ)	オーバーステア	ニュートラルステア

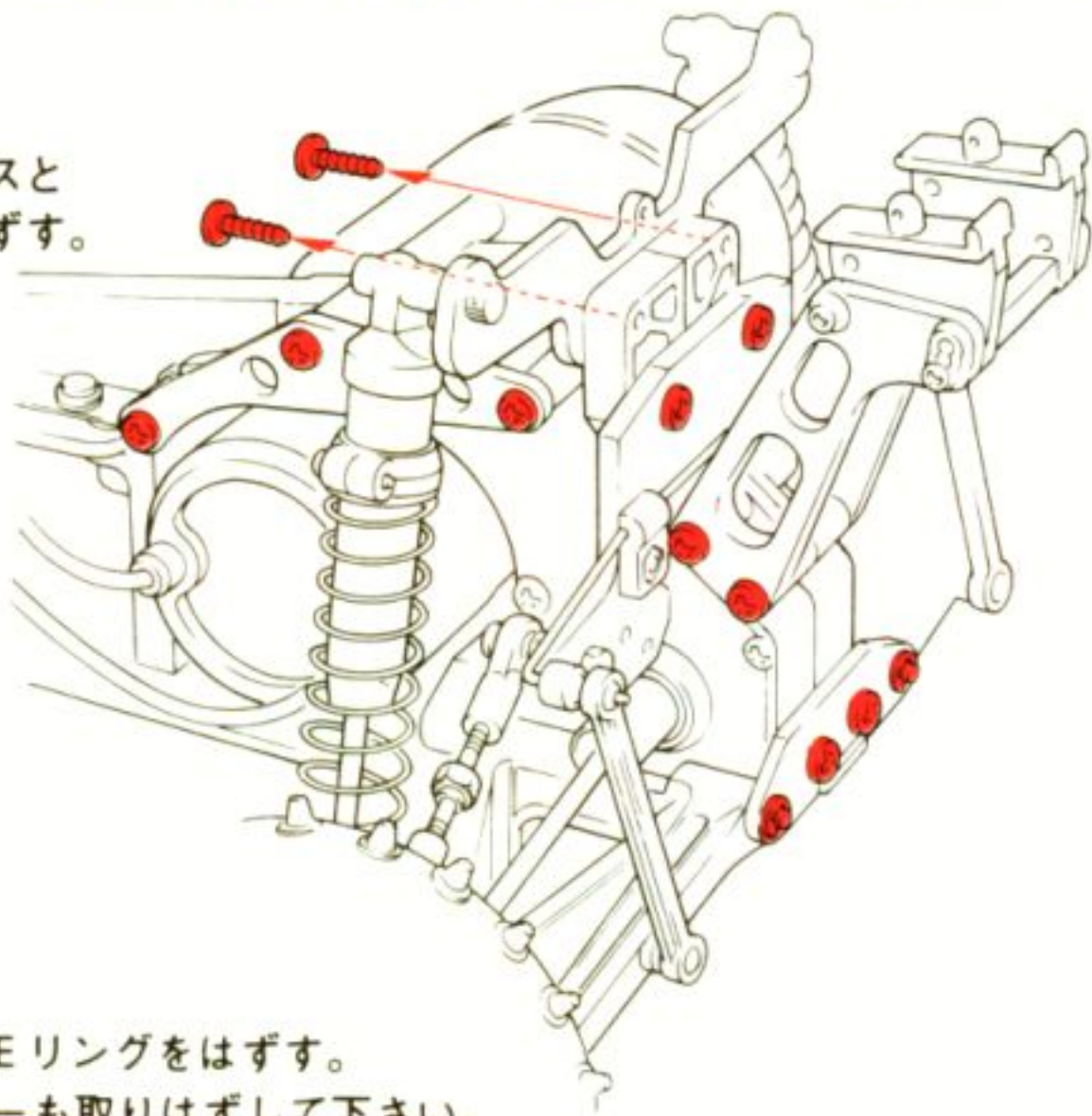
※以上はあくまで目安とお考え下さい。

＜リアギヤボックス内のメンテナンス＞

リアギヤボックス(L)を下図の手順ではずすことにより、内部の点検が可能です。

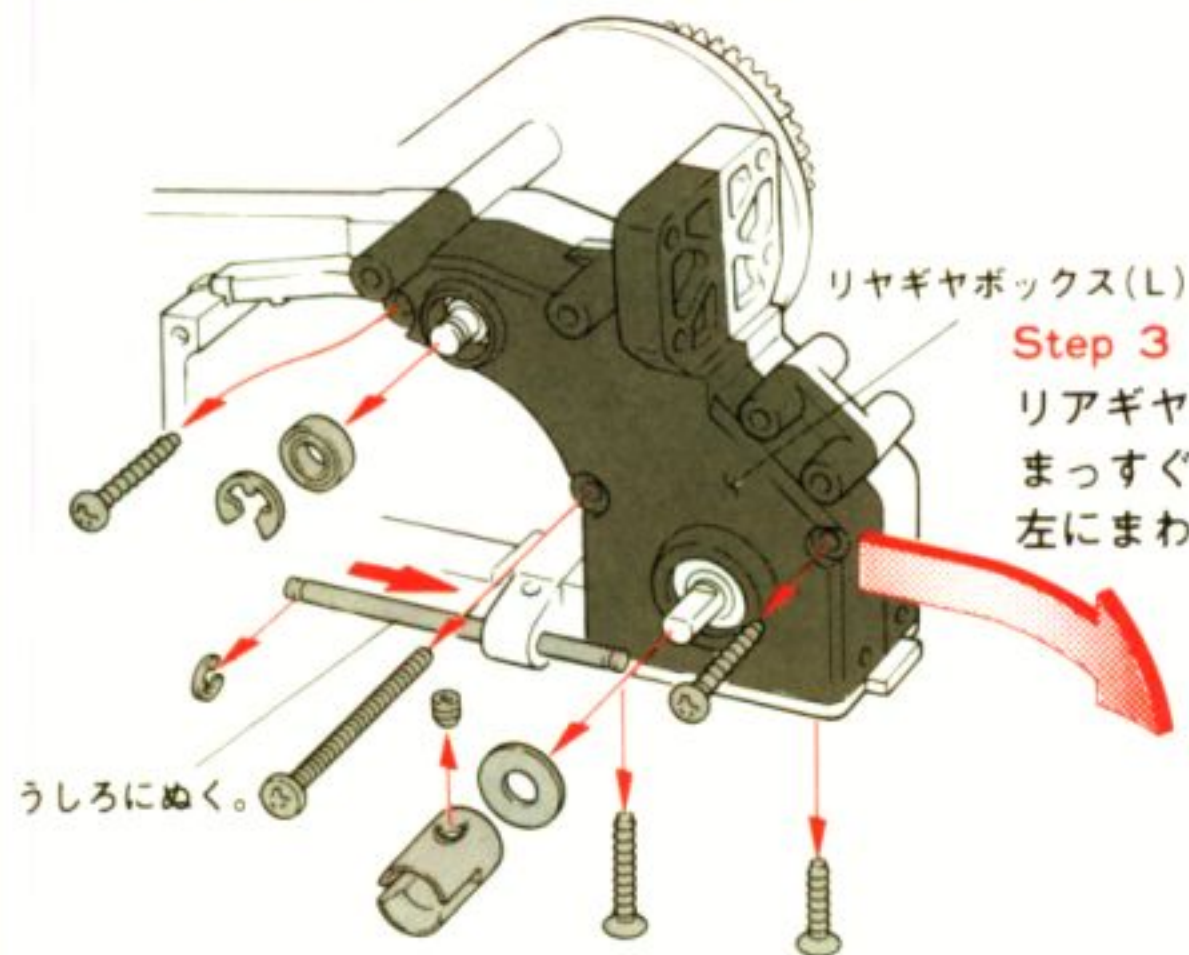
Step 1

赤色で示すビスとEリングをはずす。



Step 2

下図のビスとEリングをはずす。この時モーターも取りはずして下さい。



Step 3

リアギヤボックス(L)は、まっすぐ後に引き、左にまわすとはずれません。

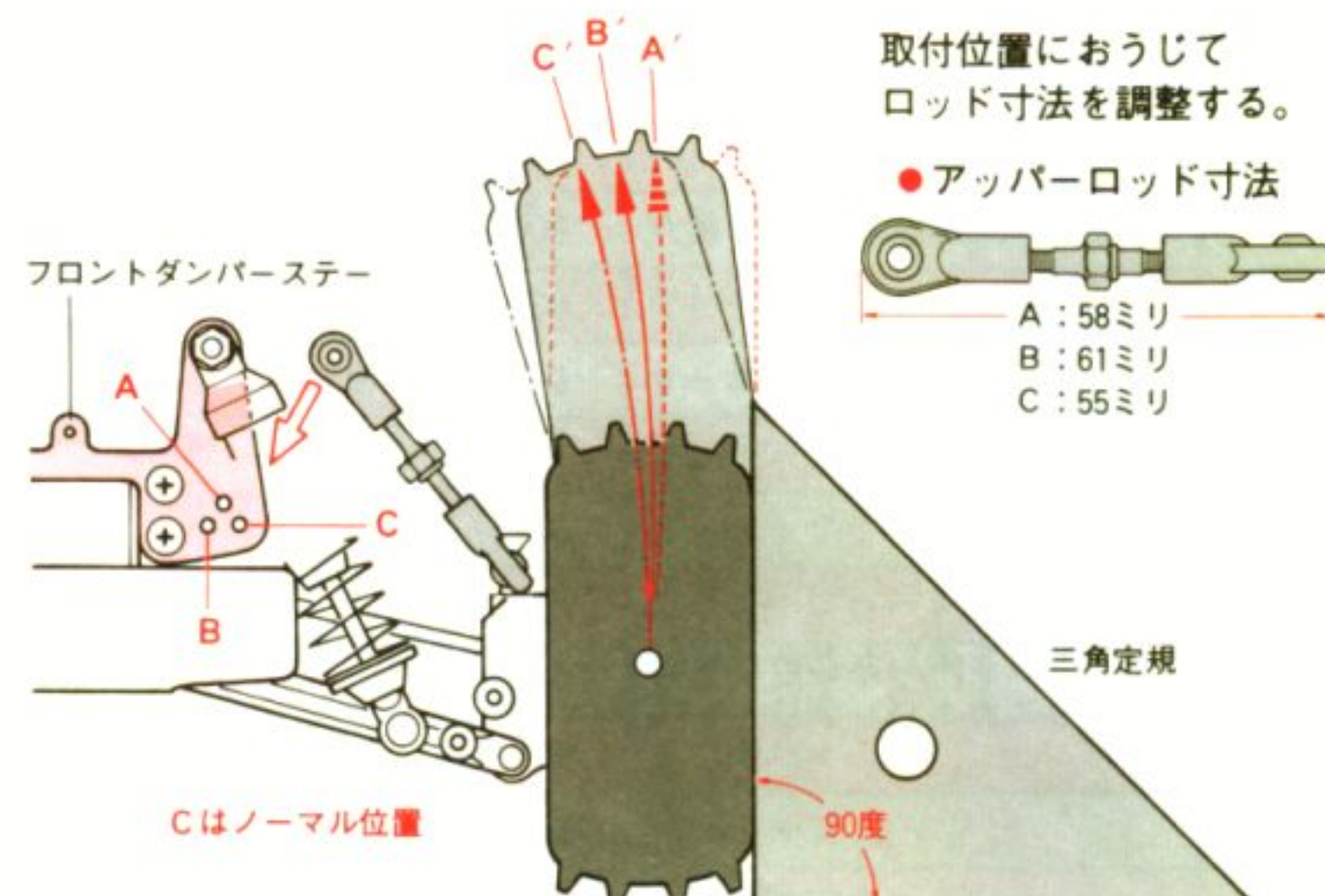
うしろにぬく。

＜スプロケットのメンテナンス＞

フロント・リアのスプロケットのベルトのあたる面に、ゴミがたまる場合がありますので定期的に点検し、ゴミを取りのぞいて下さい。

＜フロントアッパーロッド取付位置とキャンバー変化の関係＞

フロントダンパーステーのアッパーロッド取付位置をAにすると、フロントサスがしずんだ時A'の動きになり、BにするとB'、CにするとC'とA⇒B⇒Cにするほどキャンバー変化が大きくなります。



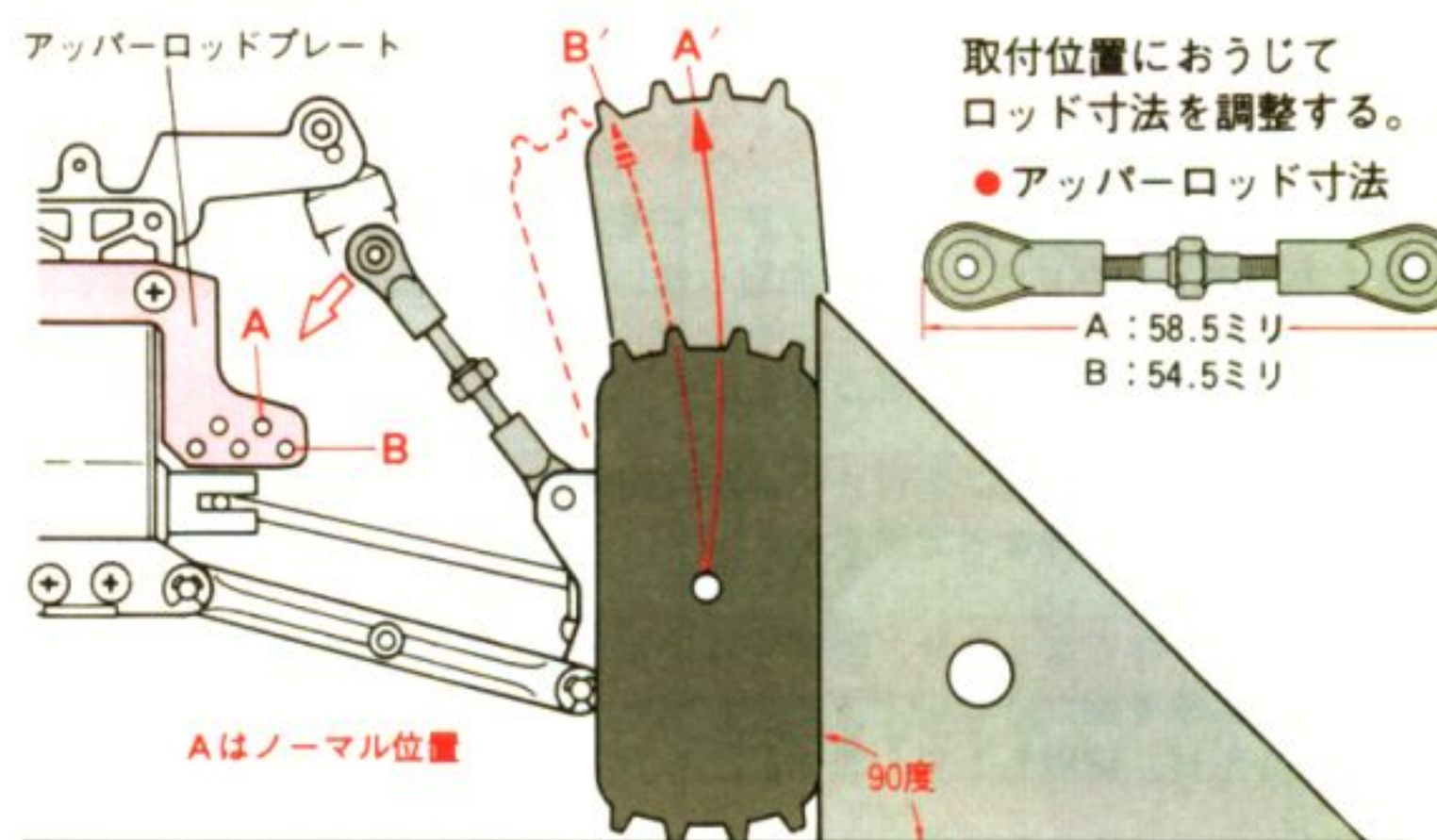
取付位置におうじてロッド寸法を調整する。

●アッパーロッド寸法

A : 58ミリ
B : 61ミリ
C : 55ミリ

＜リアアッパーロッド取付位置とキャンバー変化の関係＞

アッパーロッドプレートのアッパーロッド取付位置をAにすると、リアサスがしずんだ時A'の動きになり、BにするとB'、とA⇒Bにするほどキャンバー変化が大きくなります。



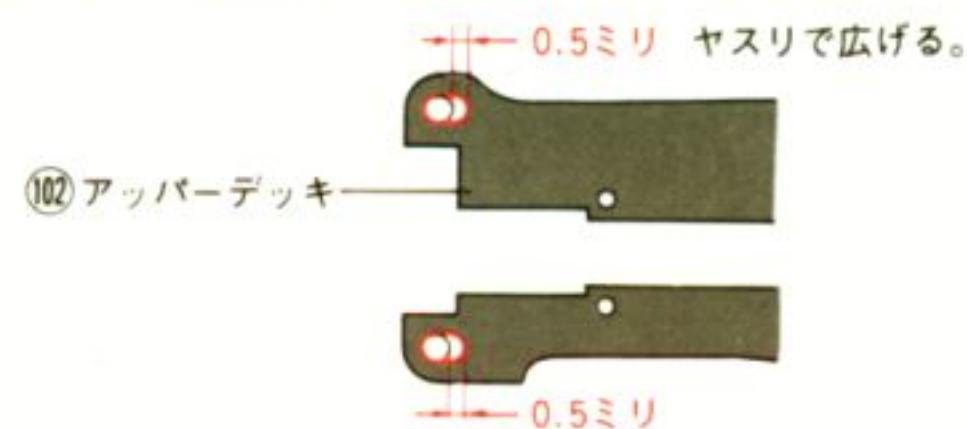
取付位置におうじてロッド寸法を調整する。

●アッパーロッド寸法

A : 58.5ミリ
B : 54.5ミリ

＜ベルトの張り調整＞

本車は、ベルトの張りを強めにしております。もし、強すぎて回転がスムーズでなければ下図のようにフロント側の穴をヤスリで広げておき、組立の際フロントギヤボックスを前から押しながらかビスをしめこんで下さい。



＜ウイングステーの調整＞

ウイングステーAにウイングステーBを取り付ける時、AにするとA'になり、BにするとB'、CにするとC'とA⇒B⇒Cにするほど取付角度が大きくなります。



ウイング取付位置を低くする場合
ウイング取付位置を高くする場合

必ず守ること

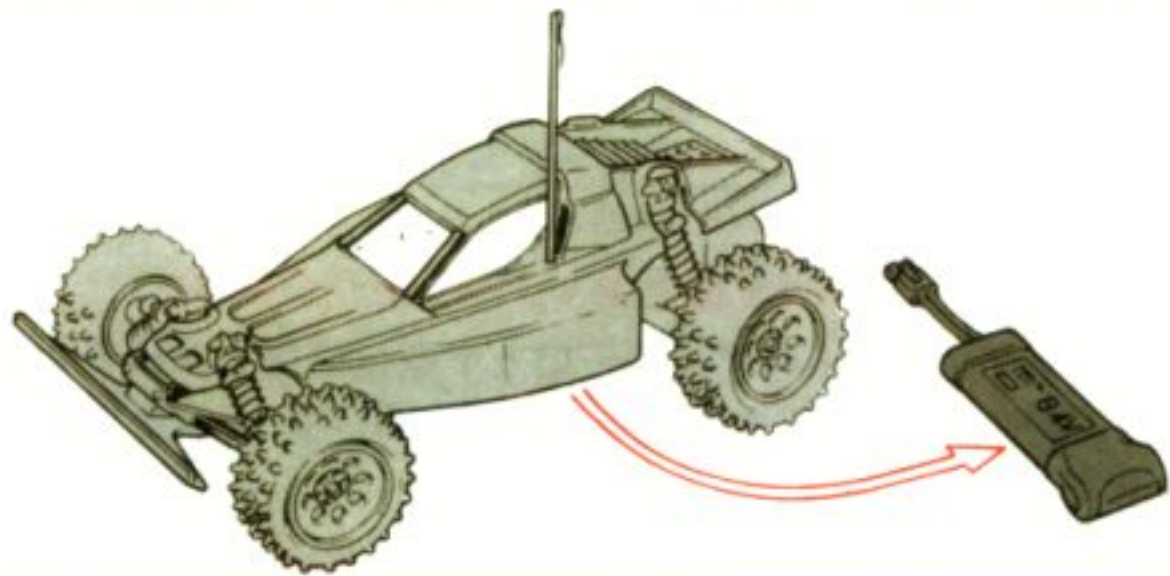
＜走行中の注意＞

このラジコンカーはプロポの受信機、サーボの電源を走行用のニカドバッテリーと共用(いっしょに)して使用しています。走行中にスピードがおちてきたな!...とかんじたら走行を中止して下さい。そのまま走行をつづけますと、受信機に電気がいなくなりコントロールができなくなります。



＜走行後の注意＞

ラジコンカーの走行を楽しんだあとは必ずニカドバッテリーのコネクターをはずし、車体からニカドバッテリーをはずし、別々にほかにして下さい。



＜走行前のチェック＞

★初走行の時はニカドバッテリー1~3バックぐらいはゆっくりと走らせて下さい。

- ①各部のネジ、ナットなどのゆるみがないかチェック。
- ②ニカドバッテリーの充電は完全か。
- ③ステアリング(フロントタイヤ)、コントローラーがプロポ通り動くか。
- ④各配線コードがしっかりとされているか。
- ⑤各回転部はスムーズに動くか。

＜走行の時の順番＞

- ①送信機のスイッチを入れる。(ON)
 - ②受信機のスイッチを入れる。(ON)
 - ③プロポの動きをチェック。
- ★プロポのスイッチを切るとき(OFF)は受信機側を先に切り(OFF)、後で送信機のスイッチを切ること(OFF)。

この手順をあやまると車が勝手に走ったり、ぼう走することがあるので必ず守って下さい。

＜動かないときのチェック＞

- ①バッテリー、コネクター、コントローラーなどの接触不良。
- ②ニカドバッテリーの充電不足。
- ③送信機の電池不足。
- ④他の電波の混信などしらべる。

取り扱いの注意

電動RCカーは高性能なニカドバッテリーを使用しており、大変スピードが出ますので車、ニカドバッテリーの取り扱いには十分な注意が必要です。

- 人ごみや、道路では絶対に走らせないで下さい。
- 同じ周波数の車は同時に走行させる事は出来ません。同時走行する時は必ず周波数の確認を行なって下さい。
- 車が急に動かなくなったり、障害物にはさまったりして動けなくなった時は、無理に車を動かさないで下さい。モーターや配線関係が過熱して部品をとくしたり、破損したりします。
- 回転しているタイヤを無理に止めないで下さい。
- ニカドバッテリーをつなぐ時は、コントローラーがニュートラル位置になっている事を確認してからつないで下さい。
- 駆動系の軸受け部分の動きが重いとモーターやバッテリーに大きな負荷がかかり、スピードの低下や過熱の原因となります。駆動系は軽く動くよう必ずチェックしてグリスアップを行なって下さい。
- 受信機電源共用タイプの車はニカドバッテリーの容量が減って来るとコントロールが出来なくなります。走行中、スピードがおちて来たら走行を中止して下さい。

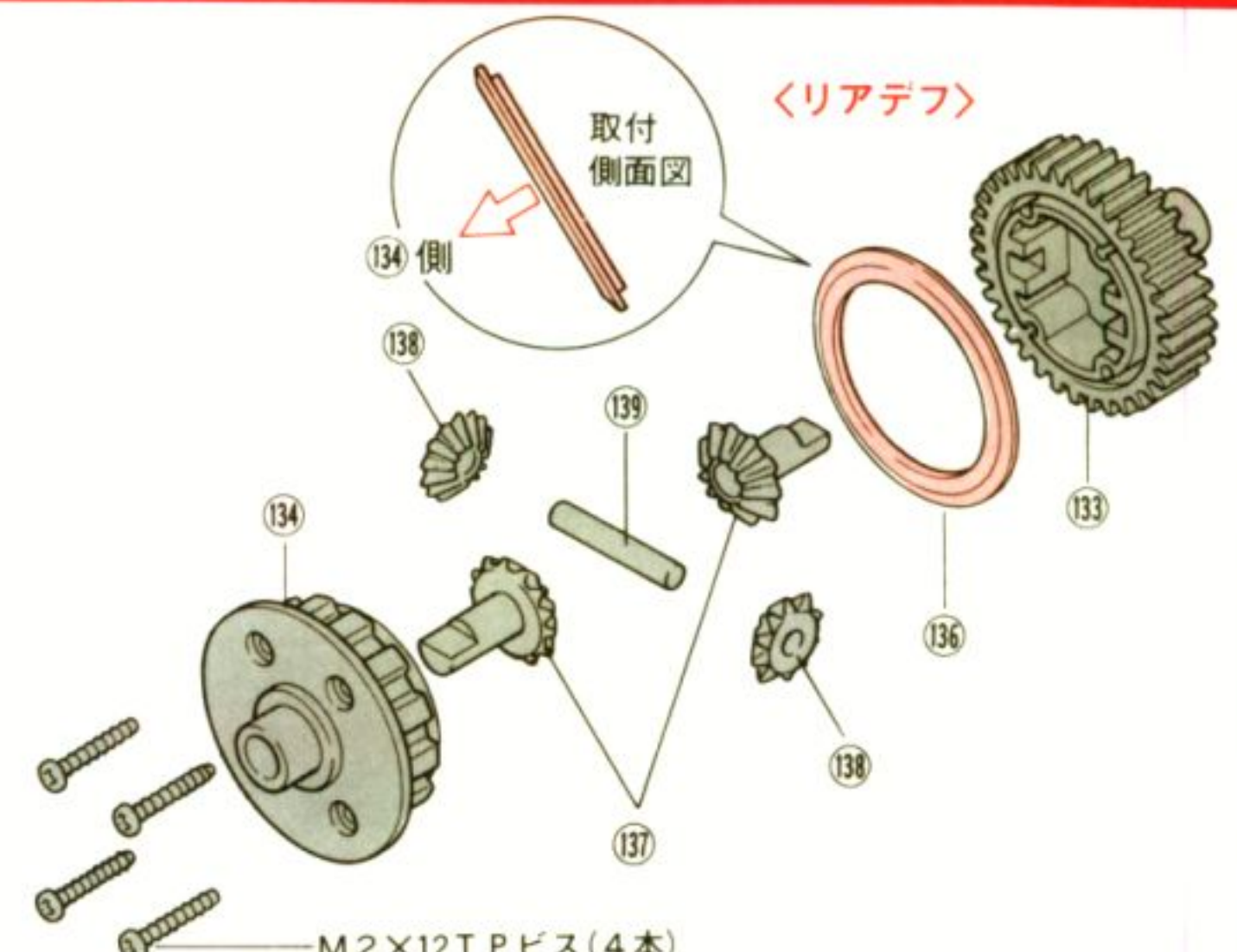
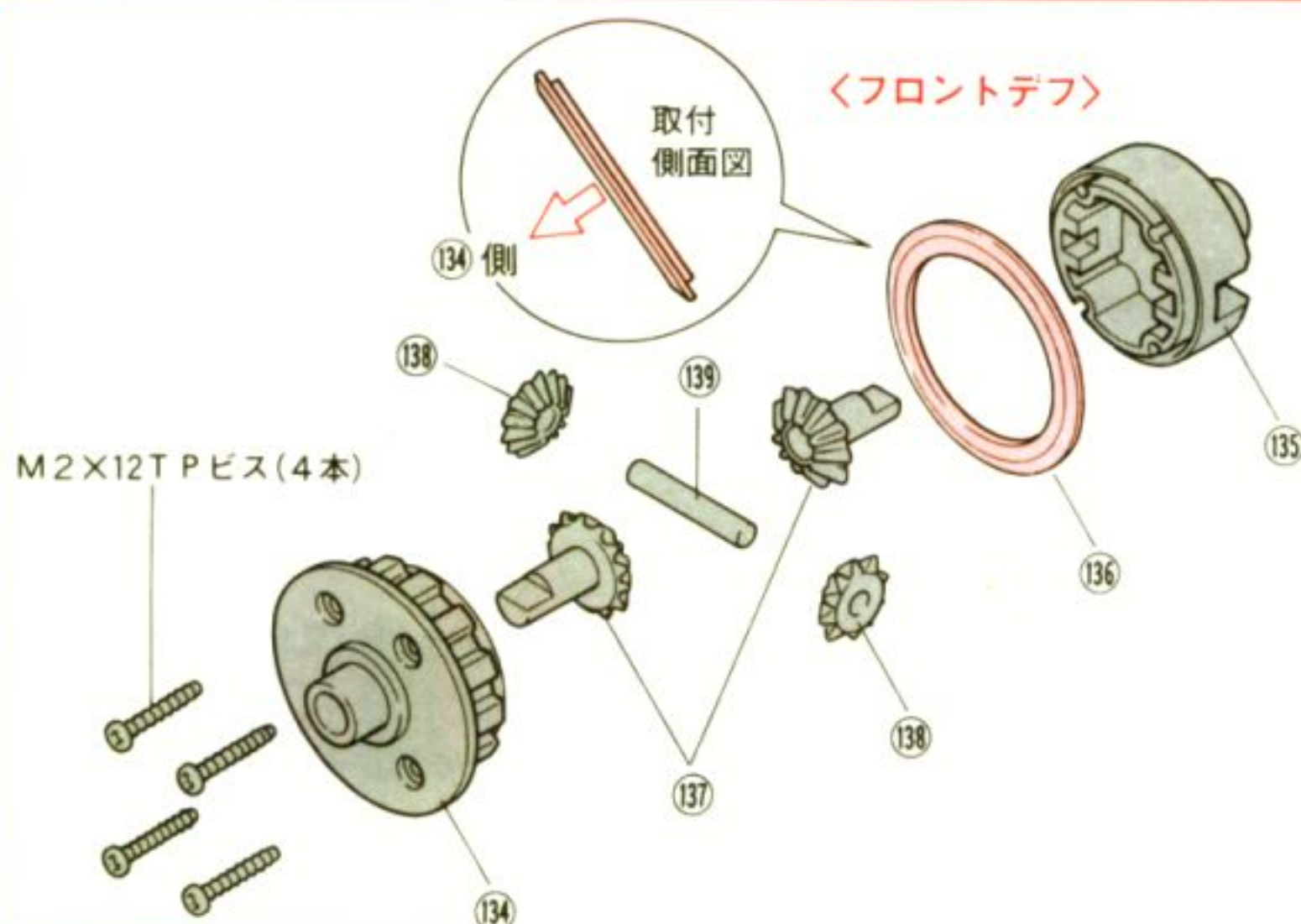
走行後の整備

- ラジコンカーの走行後は必ずニカドバッテリーを車体からはずして保管して下さい。
- 走行させた後の汚れなどは必ずきれいにふき取って下さい。
- プロポのスイッチは必ず切って下さい。
- 可動部分には、定期的にグリスを付けて下さい。
- 各部の取付けビスのゆるみを点検して下さい。

モーターの取り扱い

- 走行後はモーターが発熱します。連続での使用はモーターの寿命を短くします。冷えるのを待って走行して下さい。
- 数回の走行を行ないますとモーターのパワーが低下して来ます。これはコミュテーター部にカーボンが付着したためです。ピニオンギヤをはずして7.2Vで15分位空回しを行なって下さい。
- モーターの軸受け部は定期的にオイルを付けて下さい。

フロント&リアデフ分解図



4WDオフロードレーサー「ターボオプティマミッド」パーツリスト

キーNo.	部 品 名 称	数 量	キーNo.	部 品 名 称	数 量	キーNo.	部 品 名 称	数 量
1	タイヤ	4	52	キングピン	4	103	スイッチプレート	1
2	ホイル	4	53	5.8φ ボール(銀)	4	104	ベルトカバー(B)	1
3	8φ×14ベアリング	4	54	フロントサスアーム	2	105	M2シャフト	2
4	ジョイント	4	55	M3ピロボール(銀)	4	106	ゴムカバー	1
5	六角レンチ(2ミリ)	1	56	フロントスタビエンド	2	107	ベルトカバー(C)	1
6	リアギヤボックス(R)	1	57	Eリング(E-3)(黒)	2	108	六角レンチ(1.5ミリ)	1
7	5φ×10ベアリング	10	58	サスシャフト(A)	2	109	モーターコード	2
8	スパーギヤシャフト	1	59	◇ (B)	2	110	サーボスペーサー	2
9	2φ×11ピン	2	60	Eリング(E-2.5)	20	111	モーターカバー	1
10	カウンターギヤ	1	61	5.8φ ボール(黒)	4	112	モータークリーナー	1
11	Eリング(E-4)	4	62	六角レンチ(2.5ミリ)	1	113	モータープレート	1
12	5φ×8ベアリング	2	63	ボールエンド(大)	12	114	ピニオンギヤ(20T)	1
13	ブーリー(黄)	1	64	アッパーロッド	4	115	ギヤカバー	1
14	ブーリーフランジ(黄)	1	65	リアハブ(R)	1	116	両面テープ	1
15	5φ カラー(小)(黄)	2	66	◇ (L)	1	117	アンテナポスト	1
16	4φ×8ベアリング	2	67	リアシャフト	2	118	アンテナパイプ	1
17	センターギヤ	1	68	リアサスアーム	2	119	ストラップ(小)	3
18	センターギヤシャフト	1	69	サスシャフト(C)	2	120	ウイングステー(A)(L)	1
19	コックドベルト	1	70	◇ (D)	2	121	◇ (A)(R)	1
20	リアギヤボックス(L)	1	71	リアサスプレート	1	122	◇ (B)	2
21	リアプレート(L)	1	72	スイングシャフト	2	123	ウイングステージョイント	2
22	◇ (R)	1	73	ダンパーオイル	1	124	ウイングワッシャー	4
23	5φ カラー(大)(黄)	1	74	フロントダンパーケース	2	125	5φ シム	8
24	ギヤプロテクタープレート(B)	1	75	リアダンパーケース	2	126	ドライブワッシャー	4
25	ギヤプロテクターワッシャー	2	76	ダンパーピストン	4	127	ボディ	1
26	スパーギヤ	1	77	フロントダンパーシャフト	2	128	ウイング	1
27	ギヤプロテクタープレート(A)	1	78	リアダンパーシャフト	2	129	デカール	1
28	ウエーブワッシャー	3	79	ダンパーOリング(赤)	8	130	ニカドストラップ	2
29	ギヤプロテクターカラー	1	80	ダンパーカラー(白)	4	131	ウイングピン	2
30	アッパーロッドプレート	1	81	ブラワッシャー(黒)	4	132	ボディピン	2
31	リアダンパーステー	1	82	Cリング	4	133	メインギヤ	1
32	フロントギヤボックス(R)	1	83	ダンパーキャップ	4	134	スプロケット	2
33	◇ (L)	1	84	プレッシャートップ	4	135	デフケース	1
34	フロントダンパーステー	1	85	スプリングストッパー	4	136	デフリング(黄)	2
35	フロントサスプレート	1	86	ダンパーエンド	4	137	ベベルギヤ(A)	4
36	シャーシ	1	87	フロントスプリング	2	138	◇ (B)	4
37	バンパー	1	88	リアスプリング	2	139	ベベルシャフト	2
38	ベルトカバー(A)	1	89	スプリング受	4	140	M3ブラナット	4
39	ワンタッチテープ	2	90	ダンパーブッシュ	4	141	シリコングリス	1
40	スポンジテープ	2	91	ボールエンド(小)	3	142	スクリュースメント	2
41	セイバーシャフト	2	92	ボールナット	3	143	フロントスタビライザー	1
42	アッパーデッキポスト	2	93	サーボセイバー(A)	1	144	リアスタビライザー	1
43	アッパーデッキマウント	1	94	◇ (B)	1	145	4.8φ ボール	2
44	リアサスピボット	1	95	◇ (C)	1	146	スタビストッパー	2
45	バッテリーホルダー	2	96	◇ (D)	1	147	スタビピロボール	2
46	ナックルアーム(L)	1	97	サーボセイバーカラー	2	148	スタビリンク	2
47	◇ (R)	1	98	タイロッド	2	149	スタビエンドボール	2
48	ユニバーサルスイングシャフト	2	99	ステアリングロッド	1			
49	M2.6ピロボール(黒)	4	100	サーボステー	4			
50	フロントハブ(R)	1	101	サーボステースペーサー	2			
51	◇ (L)	1	102	アッパーデッキ	1			

4WDオフロードレーサー「ターボオプティマミッド」袋詰パーツ 一覧表(1)

袋 No	キーNo	部 品 名	数 量	説明書・使用箇所
ブリスター A	4	ジョイント	4	1
	10	カウンターギヤ	1	2
	17	センターギヤ	1	2
	19	コックドベルト	1	2
	26	スパーギヤ	1	4
	114	モーターピニオンギヤ(20T)	1	30
	126	ドライブワッシャー	4	35
	組立	フロントデフギヤ	1	1
	◇	リアデフギヤ	1	1
	仮組	プレッシャーダンパー(S)	2	19
◇	◇ (L)	2	19	
ブリスター B	3	8φ×14ベアリング	4	1
	7	5φ×10 ◇	10	2 11 14
	12	5φ×8 ◇	2	2
	16	4φ×8 ◇	2	2
	36	シャーシ	1	7
	46	ナックルアーム(L)	1	11
	47	◇ (R)	1	11
	48	ユニバーサルスイングシャフト	2	11
67	リアシャフト	2	14	
TOPM-1	ネジ袋	詳細は23ページの右欄。		
TOPM-2	6	リアギヤボックス(R)	1	2
	20	◇ (L)	1	2
	32	フロントギヤボックス(R)	1	6
	33	◇ (L)	1	6
	60	Eリング(E-2.5)	4	19
	73	ダンパーオイル	1	20
	76	ダンパーピストン	4	19
	79	ダンパーOリング(赤)	8	19
	80	ダンパーカラー(白)	4	19
	81	プラワッシャー(黒)	4	19
	82	Cリング	4	19
	84	プレッシャートップ	4	20
		キャップボルト M3×18	4	5 6
	141	シリコングリス	1	
142	スクリュースメント	2		
TOPM-3	2	ホイル	4	
TOPM-4	8	スパーギヤシャフト	1	2
	9	2φ×11ピン	2	2 ※1ヶはスベア
	18	センターギヤシャフト	1	2
	24	ギヤプロテクタープレート(B)	1	4
	25	ギヤプロテクターワッシャー	2	4
	29	ギヤプロテクターカラー	1	4
右欄につづく	41	セイバーシャフト	2	9

袋 No	キーNo	部 品 名	数 量	説明書・使用箇所
TOPM-4	52	キングピン	4	11
	61	5.8φ ボール(黒)	4	13 16
	64	アッパーロッド	4	13 16
	92	ボールナット	3	17
	98	タイロッド	2	18
TOPM-5	21	リアプレート(L)	1	3
	22	◇ (R)	1	3
	27	ギヤプロテクタープレート(A)	1	4
	30	アッパーロッドプレート	1	3
	31	リアダンパーステー	1	5
	34	フロントダンパーステー	1	6
	35	フロントサスプレート	1	6
	71	リアサスプレート	1	15
	113	モータープレート	1	30
	TOPM-6	13	ブーリー(黄)	1
14		ブーリーフランジ(黄)	1	2
15		5φ カラー(小)(黄)	2	2 ※1ヶはスベア
23		◇ (大)(黄)	1	4
37		バンパー	1	13
43		アッパーデッキマウント	1	9
44		リアサスピボット	1	9
45		バッテリーホルダー	2	10
50		フロントハブ(R)	1	11
51		◇ (L)	1	11
56		フロントスタビエンド	2	12
65		リアハブ(R)	1	14
66		◇ (L)	1	14
90		ダンパーブッシュ	4	22
93		サーボセイバー(A)	1	17
94		◇ (B)	1	17
95		◇ (C)	1	17
96		◇ (D)	1	17
97		サーボセイバーカラー	2	18
100		サーボステー	4	25 31
101	サーボステースペーサー	2	26	
103	スイッチプレート	1	27	
110	サーボスペーサー	2	31	
117	アンテナポスト	1	26	
120	ウイングステー(A) (L)	1	33	
121	◇ (R)	1	33	
122	ウイングステー(B)	2	33	
123	ウイングステージョイント	2	33	
124	ウイングワッシャー	4	40 ※2ヶはスベア	
140	M3プラナット	4	22	

4WDオフロードレーサー「ターボオプティマミッド」袋詰パーツ 一覧表(2)

袋 No	キーNo	部 品 名	数 量	説明書・使用個所
TOPM-7	49	M2.6ピロボール(黒)	4	11 17
	53	5.8φ ボール(銀)	4	13 16
	55	M3ピロボール(銀)	4	12 14
	58	サスシャフト(A)	2	12
	59	◇ (B)(銀)	2	12
	63	ボールエンド(大)	12	13 16 18
	69	サスシャフト(C)(黒)	2	15
	70	◇ (D)	2	15
	91	ボールエンド(小)	2	17
TOPM-8	38	ベルトカバー(A)	1	8
	39	ワンタッチテープ	2	8
	54	フロントサスアーム	2	12
	68	リアサスアーム	2	14
	102	アッパーデッキ	1	27
	104	ベルトカバー(B)	1	28
	107	◇ (C)	1	28
	109	モーターコード	2	23
	111	モーターカバー	1	23
	112	モータークリーナー	1	23
	115	ギヤカバー	1	30
	118	アンテナパイプ	1	32
	130	ニカドストラップ	2	39
	143	フロントスタビライザー	1	6
	144	リアスタビライザー	1	3
	145	4.8φ ボール	2	12
	146	スタビストッパー	2	3
	147	スタビピロボール	2	14
	148	スタビリンク	2	16
149	スタビエンドボール	2	15	
TOPM-9	40	スポンジテープ	2	9
	42	アッパーデッキポスト	2	9
	72	スイングシャフト	2	16
	91	ボールエンド(小)	1	25
	99	ステアリングロッド	1	25
	106	ゴムカバー	1	28
	116	両面テープ	1	31 32
	119	ストラップ(小)	3	31 32
	そ の 他	1	タイヤ	4
127		ボディ	1	36
128		ウイング	1	36
129		デカール	1	38
		組立説明書	1	

袋 No	部 品 名	数 量	説明書・使用個所
TOPM-1 ビス、 ナット、 その他	M2.6×4 バインドビス	4	
	M2.6×6 ◇	7	
	M2.6×12 ◇	4	
	M3×6 ◇	2	
	M3×10 ◇	4	
	M3×30 ◇	2	
	M3×35 ◇	1	
	M3×45 ◇	2	
	M4×12 ◇	2	
	M3×4 ナベビス	2	
	M3×6 サラビス	4	
	M3×12 ◇	2	
	M2.6×6 TP バインドビス	3	
	M2.6×12 ◇	4	
	M3×6 ◇	3	
	M3×10 ◇	19	
	M3×18 TP ナベビス	4	
	M3×6 TP サラビス	5	
	M3×10 ◇	11	
	M3×15 ◇	3	
	M2.6 ナット	16	
	M3 ◇	4	
	M3 ナイロンナット	1	
	M4 ◇	4	
	M2.6 ワッシャー	8	
	M3 ◇	4	
	M4 ◇	2	
	M5 ◇	4	
	⑫5 5φ シム	8	
	⑳ ウェーブワッシャー	3	
	M3×3 イモネジ	3	
	M4×4 ◇	4	
	⑥0 Eリング(E-2.5)	13	※1ケはスペア
	⑤7 ◇ (E-3 黒)	3	◇
	①① ◇ (E-4)	5	◇
	⑬① ウイングピン(小)	2	
⑬② ボディピン(大)	2		
⑩⑤ M2 シャフト	2	※1ケはスペア	
⑩⑥ 六角レンチ(1.5)	1		
⑤ ◇ (2.0)	1		
⑥② ◇ (2.5)	1		

The Super Hobby



京商株式会社 ● サービス部

〒243 神奈川県厚木市船子長ヶ町153 TEL. 0462 (29) 4115

本社・東京・千代田区・平河町

●お問合わせはサービス部へ：月曜日～金曜日(祝祭日を除く) 9:00～18:00

あなたと京商を結ぶホットライン

京商RCテレホンサービス
03-264-7131

新製品情報やワンポイントアドバイス、
レース案内など、京商RC情報を満載！
毎月、新鮮な情報をお届けします。

4WDオフロードレーサー「ターボオプティマミッド」小物パーツ一覧表(1)

★原寸の大きさを図示してあります。パーツの形やサイズを合わせ、よくたしかめてから使うようにしましょう。

⑥2 六角レンチ(2.5ミリ) … 1

⑤ 六角レンチ(2ミリ) … 1

⑩ 六角レンチ(1.5ミリ) … 1

1 ジョイントのとりつけ

M4×4 イモネジ … 4

M5 ワッシャー … 4

③ 8φ×14 ベアリング … 4

④ ジョイント … 4

2 リアギヤボックスのくみだて

M3×18TP ナベビス … 2

M4 ワッシャー … 2

⑦ 5φ×10 ベアリング … 2

⑧ スパーギヤシャフト … 1

⑨ 2φ×11 ピン … 1

⑩ カウンターギヤ … 1

⑪ Eリング(E-4) … 2

⑫ 5φ×8 ベアリング … 2

⑬ ブーリー(A)(黄) … 1

⑭ ブーリーフランジ(A) … 1
(黄)

⑮ 5φ カラー(小)(黄) … 1

⑯ 4φ×8 ベアリング … 2

⑰ センターギヤシャフト … 1

3 リアプレートのとりつけ

M3×35 バインドビス … 1

M3×45 バインドビス … 2

M2.6×6 バインドビス … 2

M2.6 ナット … 2

⑭ スタビストッパー … 2

4 スパーギヤのとりつけ

M3×10TP バインドビス … 2

M3 ナイロンナット … 1

⑲ 5φ カラー(大)(黄) … 1

⑳ ウェーブワッシャー … 3

㉑ リミッターカラー … 1

㉒ 5φ シム … 2
(ガタがある場合、使用)

5 リアダンパーステーのとりつけ

M3×10TP バインドビス … 2

M3×18 キャップボルト … 2

M3 ナット … 2

6 フロントギヤボックスのくみだて

M3×6TP バインドビス … 2

M3×10TP バインドビス … 4

M3×18 キャップボルト … 2

M3×18TP ナベビス … 2

M3 ナット … 2

7 ギヤボックスのとりつけ

M3×10TP サラビス … 5

M3×15TP サラビス … 1

9 アッパーデッキマウントのとりつけ

M3×6 サラビス … 4

M3×10TP サラビス … 4

④1 セイバーシャフト … 2

④2 アッパーデッキポスト … 2

10 バッテリーホルダーのとりつけ

M3×6TP サラビス … 4

M3×10TP サラビス … 2

M3×10TP バインドビス … 1

11 ナックルアームのくみだて

M2.6 ナット … 2

⑦ 5φ×10 ベアリング … 4

④9 M2.6 ピロボール(黒) … 2

⑤2 キングピン … 4

12 フロントサスアームのとりつけ

⑤5 M3 ピロボール(銀) … 2

⑤6 フロントスタビエンド … 2

⑤7 Eリング(E-3)(黒) … 2

⑤8 サスシャフト(A) … 2

⑤9 サスシャフト(B)(銀) … 2

⑥0 Eリング(E-2.5) … 6

④5 4.8φ ボール … 2

13 フロントアッパーロッドのとりつけ

M2.6×12 バインドビス … 2

M3×12 サラビス … 2

M3×15TP サラビス … 2

M2.6 ナット … 4

⑤3 5.8φ ボール(銀) … 2

⑥1 5.8φ ボール(黒) … 2

⑥3 ボールエンド(大) … 4

⑥4 アッパーロッド … 2

14 リアハブのとりつけ

- ⑦ 5φ X10ベアリング... 4
- ⑤⑤ M3ピロボール(銀)... 2
- ⑥⑥ Eリング(E-2.5)... 2
- ⑥⑦ リアシャフト
..... 2
- ⑥⑨ サスシャフト(C)(黒)
..... 2
- ④⑦ スタビピロボール... 2

15 リアサスアームのとりつけ

- M3X10TP バインドビス... 2
- M3X3イモネジ... 2
- ⑥⑥ Eリング(E-2.5)... 4
- ⑦⑦ サスシャフト(D)... 2
- ④⑨ スタビエンドボール... 2

16 リアアッパーロッドのとりつけ

- M2.6X12バインドビス... 2
- M3X10バインドビス... 2
- M2.6ナット 4
- ⑤③ 5.8φ ボール(銀) 2
- ⑥① 5.8φ ボール(黒) 2
- ⑥③ ボールエンド(大)... 4
- ⑥④ アッパーロッド
..... 2
- ④⑧ スタビリンク... 2

17 サーボセイバーのくみたて

- M2.6X6バインドビス... 1
- M2.6ワッシャー(黒) ... 4
- ④⑨ M2.6ピロボール(黒) ... 2
- ⑨① ボールエンド(小)... 2
- ⑨② ボールナット... 3
- ④⑤ M2シャフト... 1

18 サーボセイバーのとりつけ

- ①① Eリング(E-4) 2
- ⑥③ ボールエンド(大)... 4
- ⑨⑦ サーボセイバーカラー... 2
- ⑨⑧ タイロッド... 2
- ④⑤ 5φ シム... 2
(ガタがある場合、使用)

19 ダンパーのくみたて

- ⑥⑥ Eリング(E-2.5)... 4
- ⑦⑨ ダンパーOリング(赤)... 8
- ⑧⑧ ダンパーカラー(白)... 4
- ⑧① ブラワッシャー(黒)... 4
- ⑧② Cリング... 4
- ⑦⑥ ダンパーピストン
フロント用... 2
リア用... 2

20 ダンパーオイルの注入

- ⑧④ ダンパートップ... 4

22 ダンパーのとりつけ

- ⑨⑨ ダンパーブッシュ... 4
- ④⑩ M3 プラナット... 4

25 ステアリングロッドのとりつけ

- M3X10TP バインドビス... 2
- M3ワッシャー... 2
- ⑨① ボールエンド(小)... 1
- ⑨⑨ ステアリングロッド... 1
- ④⑩ サーボステー... 2

26 ステアリングのリンケージ

- M2.6X6TP バインドビス... 1
- M3X10TP バインドビス... 2
- ④⑩ サーボステースペーサー... 2
- ④③ アンテナポスト... 1

27 アッパーテッキのとりつけ

- M2.6X6TP バインドビス... 2
- M3X6TP バインドビス... 1
- M3X6バインドビス... 2
- M3X6TP サラビス... 1
- M4X12バインドビス... 2

28 ベルトカバー(B)、(C)のとりつけ

- M2.6X4バインドビス... 4
- M2.6X6バインドビス... 4
- M2.6ワッシャー 4

30 モーターのとりつけ

- M3X4ナベビス... 2
- M3X10バインドビス... 2
- M3X3イモネジ... 1

31 アンプのとりつけ

- M3X10TP バインドビス... 4
- M3ワッシャー... 2
- ④⑩ サーボステー... 2
(サーボ型アンプの場合、使用)
- ④⑩ サーボスペーサー... 2
(サーボ型アンプの場合、使用)

33 ウイングステーのとりつけ

- M2.6X12TP バインドビス... 4
- M3X30バインドビス
..... 2

35 タイヤのとりつけ

- M4ナイロンナット... 4
- ④⑥ ドライブワッシャー... 4
- ④⑤ 5φ シム... 4
(ガタがある場合、使用)

40 ボディとウイングのとりつけ


- ④④ ウイングワッシャー... 2
- ④③ ウイングピン... 2
- ④③ ボディピン... 2

パーツを紛失、破損された時

下記の品番・部品名・内容をよく確かめて、キットをお買求めいただいた模型店でお求め下さい。パーツは品番単位で発売しております。さらに細かく分けてのご注文はお受けできません。お近くに模型店がなく、パーツが入手できない時は「京商サービス部」に直接お申し込み下さい。ご注文にはキットに入っている払込用紙をご利用いただくのが便利です。特にお急ぎの場合は、現金書留か郵便普通為替をご利用下さい。いずれの方法も払込用紙に注文を記入して、代金・送料をそえてお申し込み下さい。
 ※郵便番号・住所・氏名・電話番号を必ず明記して下さい。2品以上をお求めの場合の送料は、品番の中で一番高い送料のみお送り下さい。他の送料はサービスとなります。ご送金いただいてからお届けできるまで、10日以上かかる場合もありますのでご了承下さい。●表示の送料は昭和62年8月31日現在のもので法規改正にともない変更になる場合があります。

OT-4 キングピン

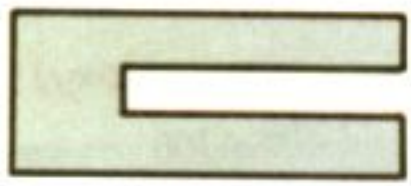
¥250
 70



②キングピン 4ヶ

OT-5 ジョイント


¥300
 120



④ジョイント 2ヶ

OT-6 スイングシャフト

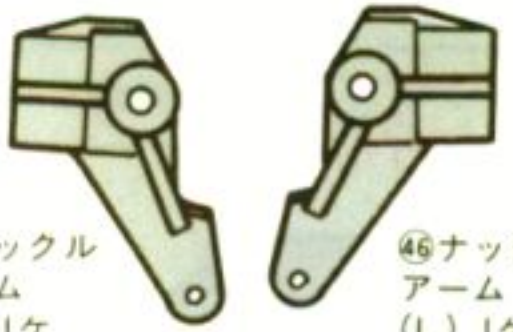
¥550
 70



⑩スイングシャフト 2ヶ

OT-16 ナックルアーム


¥500 120



④7 ナックルアーム (R) 1ヶ
 ④8 ナックルアーム (L) 1ヶ

OT-18 リアシャフト

¥450 120



⑥7 サアシャフト 2ヶ

OT-19 ドライブ

¥250
 70

ワッシャー



⑥8 ドライブワッシャー 4ヶ

OT-28 デフギヤセット

¥750
 120



⑥9 ベベルギヤA 4ヶ
 ⑥8 ベベルギヤB 4ヶ
 ⑥9 ベベルシャフト 2ヶ

OT-31 M3

¥350
 70

ピロボール



⑥5 M3ピロボール(銀) 10ヶ

OT-32 5.8φボール

¥250
 70



⑥3 5.8φボール(銀) 10ヶ

OT-33 ボールナット(M2.6)

¥250
 70



⑥2 ボールナット 10ヶ

OT-36 M2.6ピロボール


¥350
 70



④9 M2.6ピロボール 10ヶ

OT-38 シリコングリス(2本入)

¥300
 120



④4 シリコングリス 2ヶ

OT-39 Eリング(2.5)

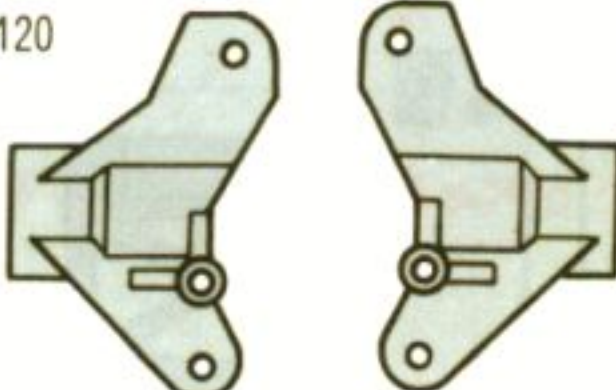
¥120
 70



⑥0 Eリング(2.5) 10ヶ

OT-45 リアハブ

¥200
 120

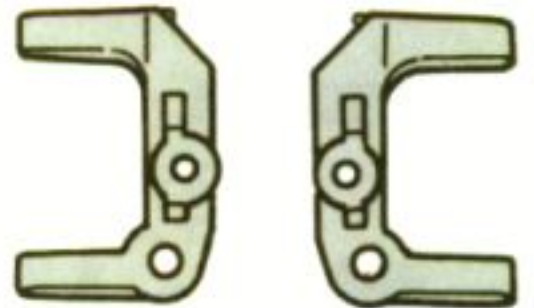


⑥5 リアハブ(R) 1ヶ
 ⑥6 リアハブ(L) 1ヶ

OT-55 フロントハブセット

¥250
 120

(下記イラスト以外の部品は、使用しません。)



⑥0 フロントハブ (R) 1ヶ
 ⑥1 フロントハブ (L) 1ヶ

OT-66 ロープロタイヤ

¥900
 170

(ピンタイプ)




①タイヤ 2ヶ

OT-69 ササアームセット

¥550
 120


(強化型)



⑥4 フロントササアーム 2ヶ
 ⑥8 リアササアーム 2ヶ

OT-79 モーターコード

¥400
 70




⑥9 モーターコード 2ヶ


OT-73 モータークリーナー

¥250
 120

セット



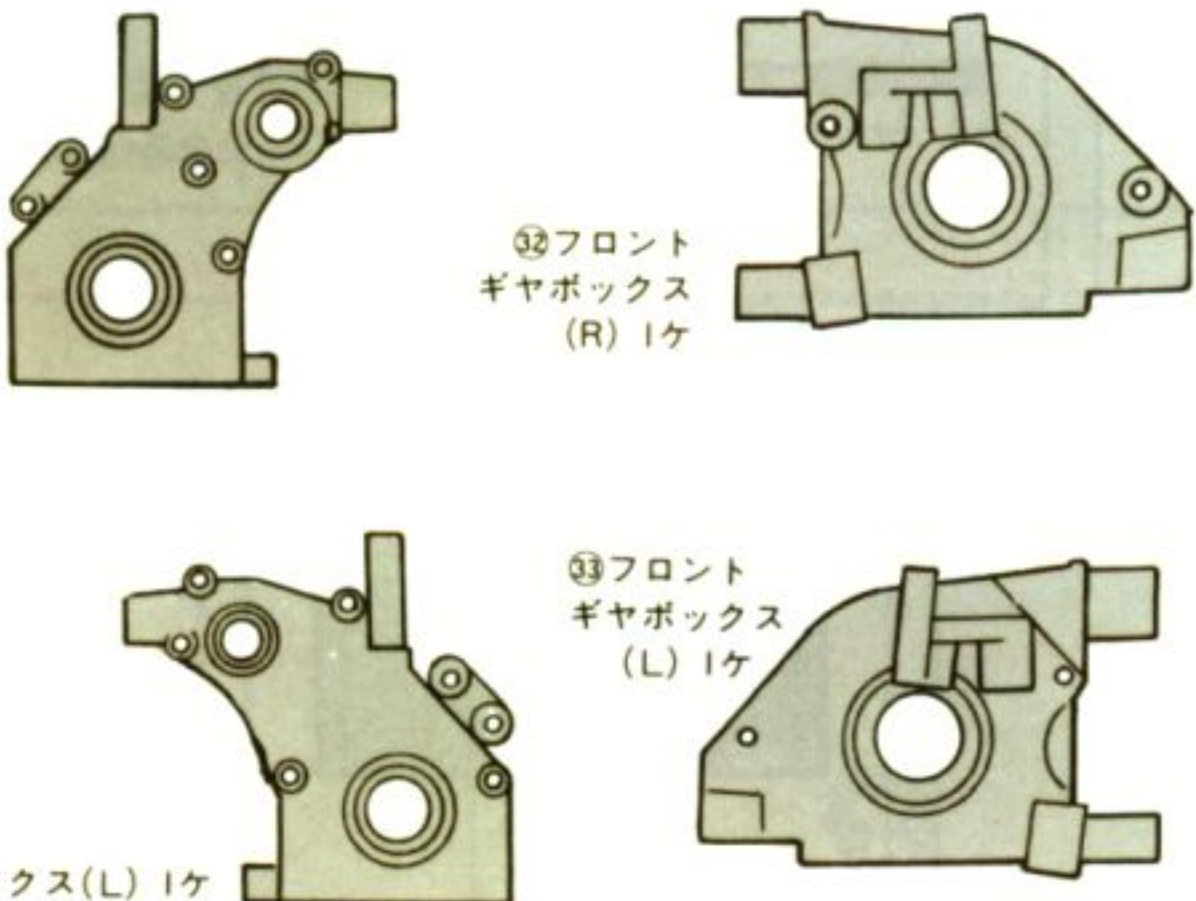
⑥9 モータークリーナー 2ヶ



⑥9 モータープレート 1ヶ

OT-84 ギヤボックス

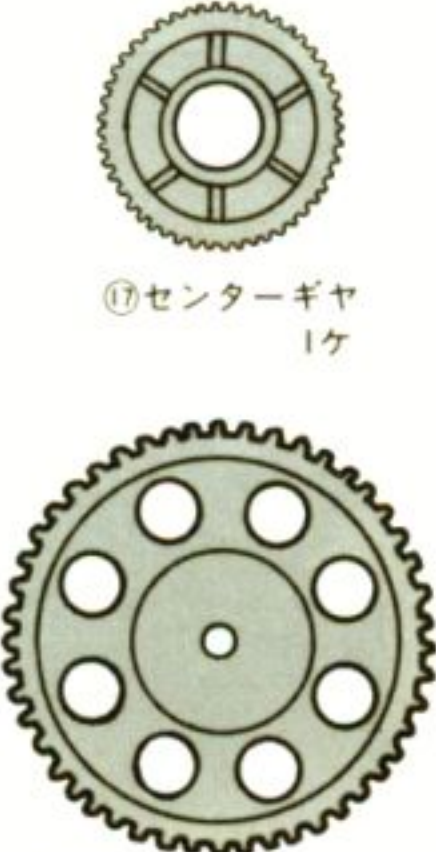
¥600
 170



⑥6 リアギヤボックス(R) 1ヶ
 ⑥2 フロントギヤボックス (R) 1ヶ
 ⑥3 フロントギヤボックス (L) 1ヶ
 ⑥9 リアギヤボックス(L) 1ヶ

OT-85 スパーギヤ

¥400
 70



⑥7 センターギヤ 1ヶ
 ⑥6 スパーギヤ 1ヶ

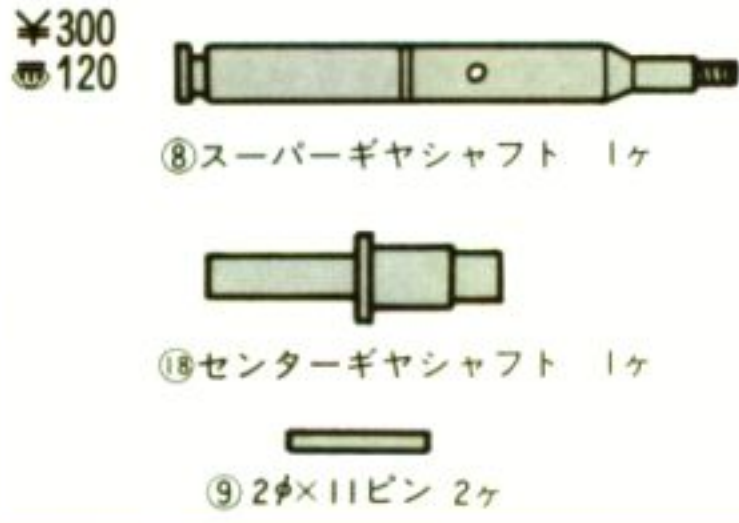
OT-86 カウンターギヤ

¥300
 70

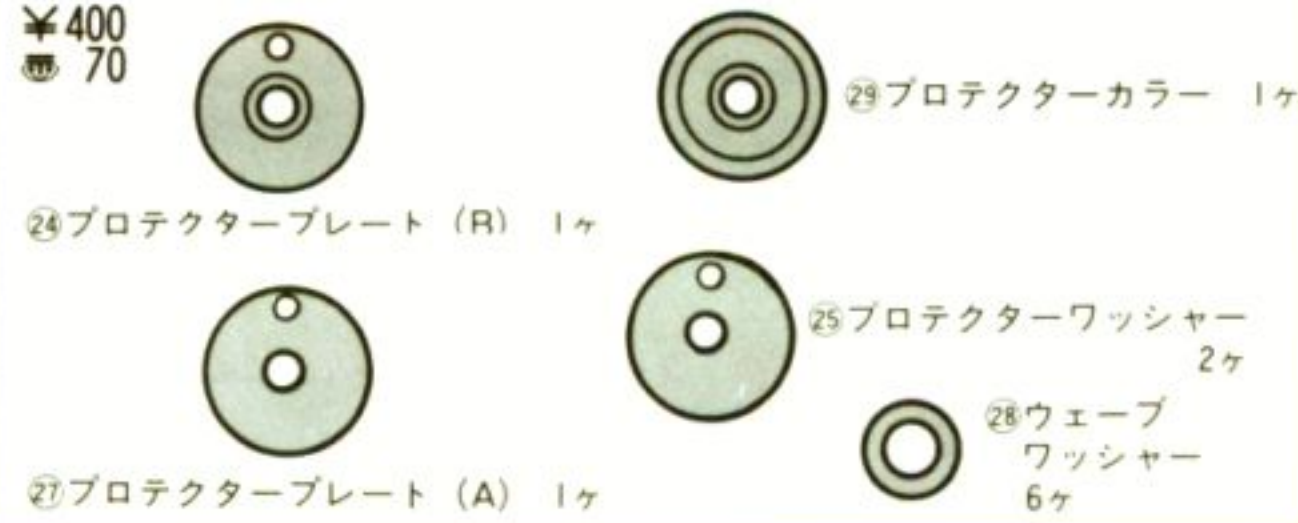


⑥0 カウンターギヤ 1ヶ

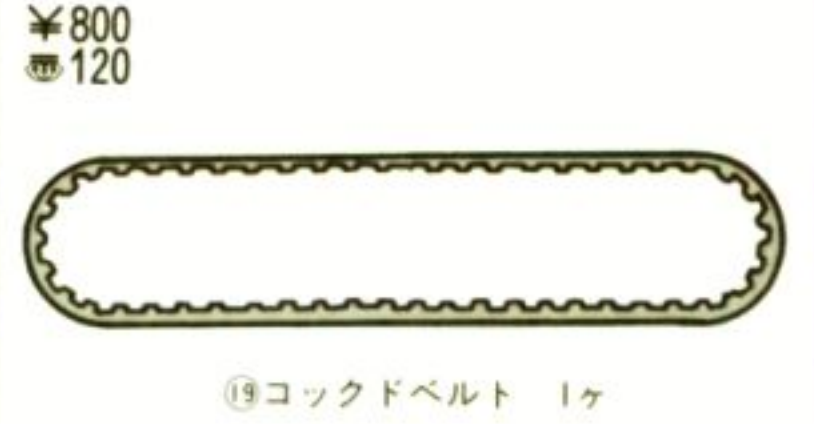
OT-87 ギヤシャフトセット



OT-88 プロテクターセット



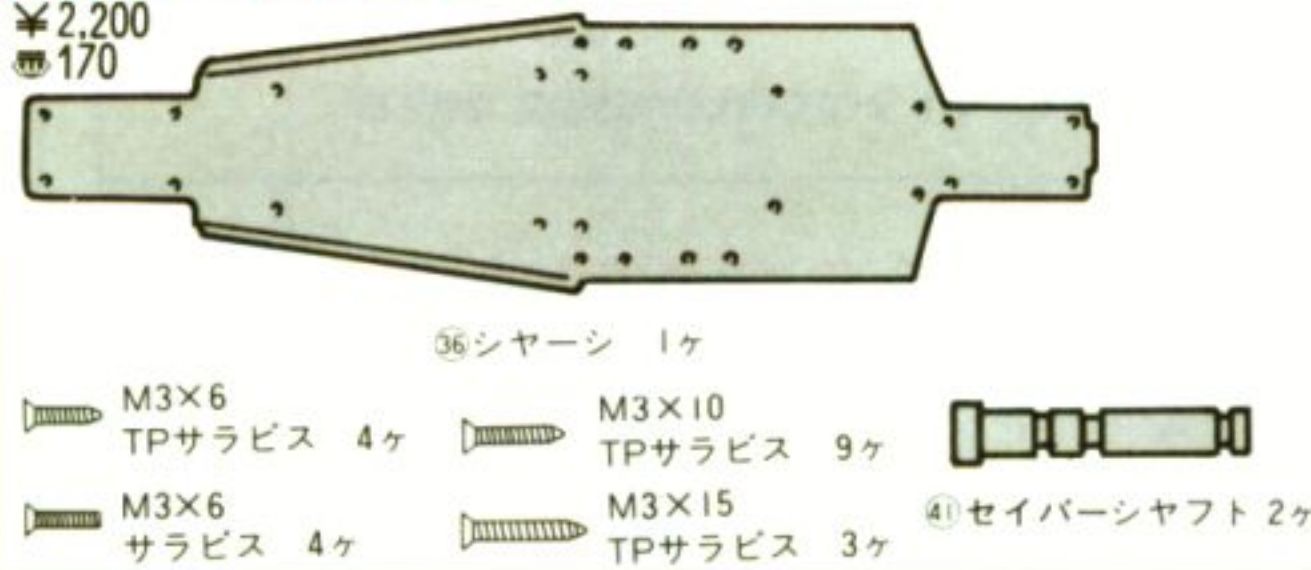
OT-89 コックドベルト



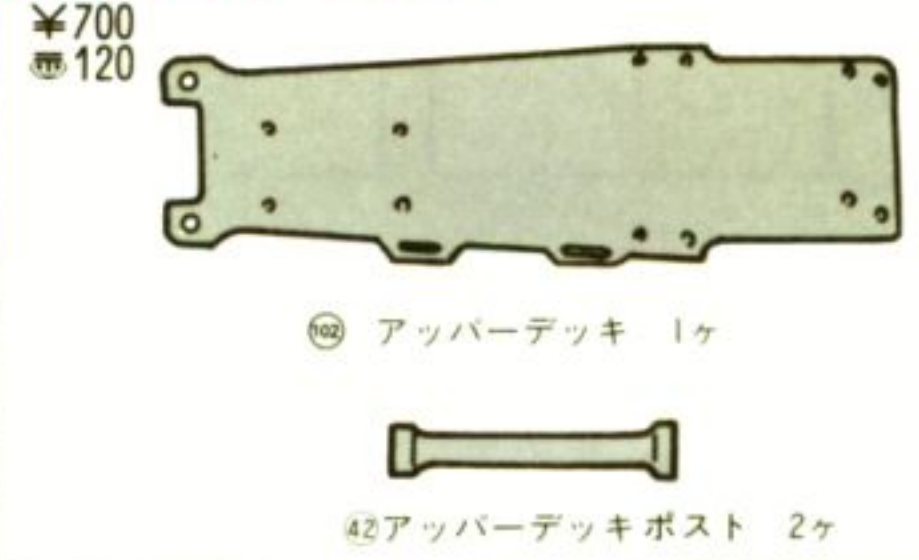
OT-90 ホイル



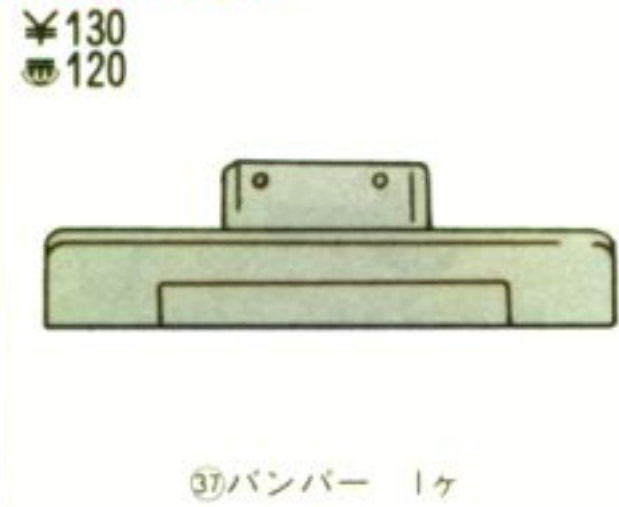
OTW-3 スペシャルシャーシ



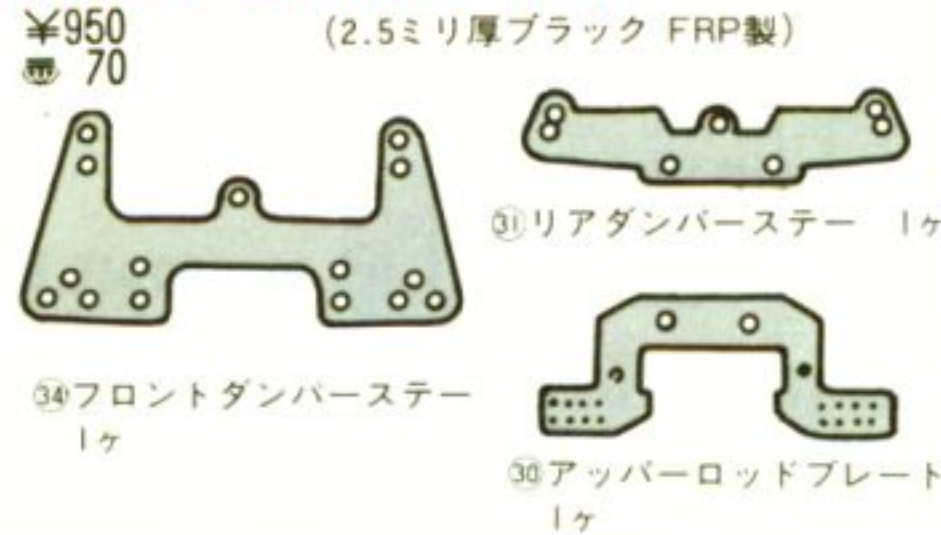
OT-92 アッパーデッキ



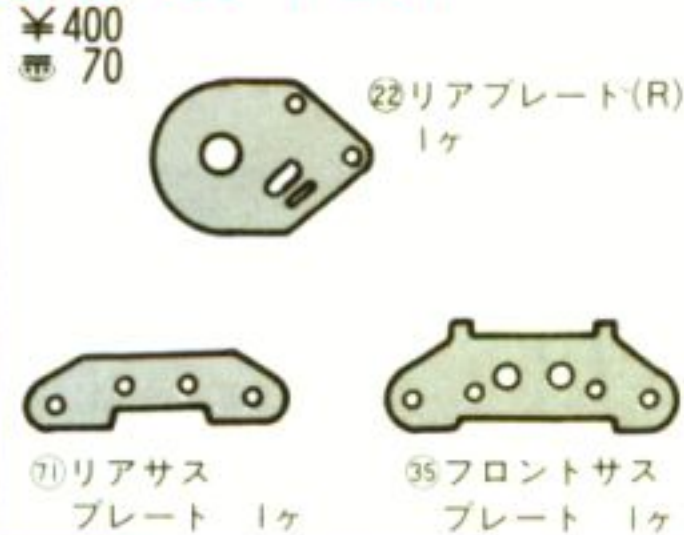
OT-93 バンパー



OTW-2 スペシャルダンパーステア



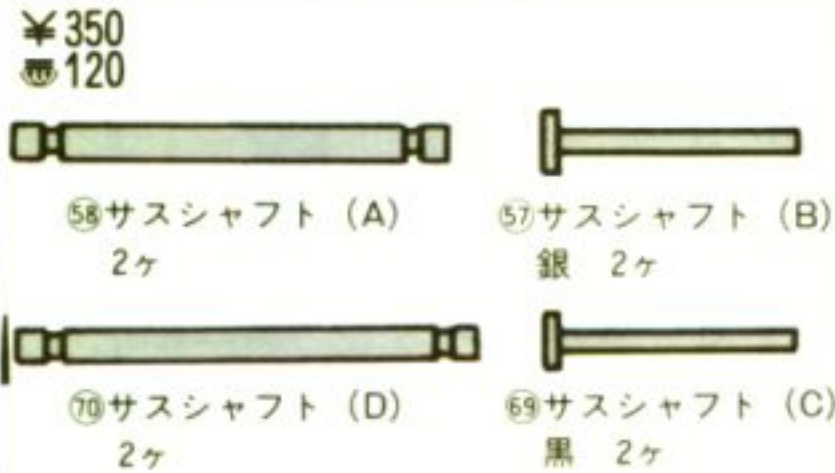
OT-95 プレートセット



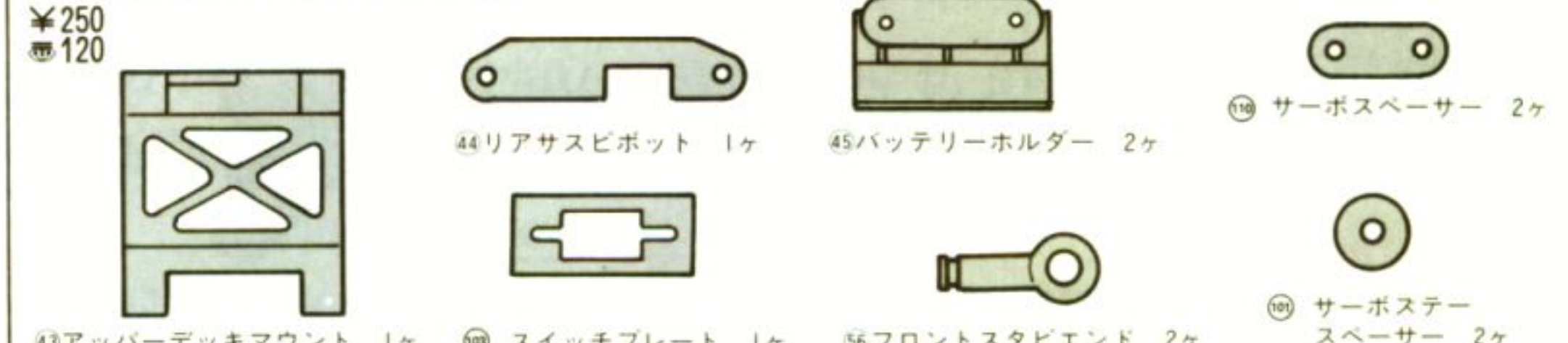
OT-110 リアプレート(L) (ターボミッド)



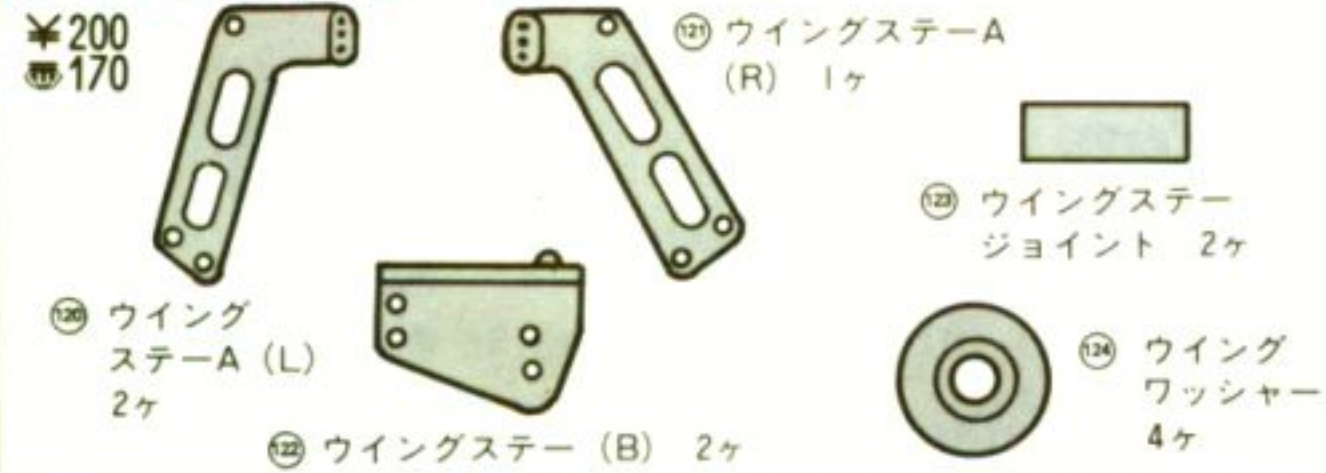
OT-97 サスシャフトセット



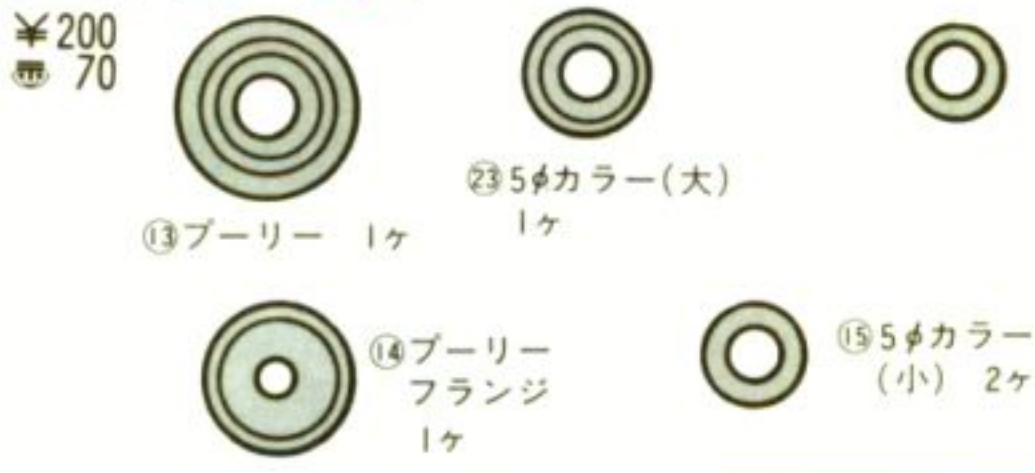
OT-98 バッテリーホルダーセット



OT-99 ウイングステーセット



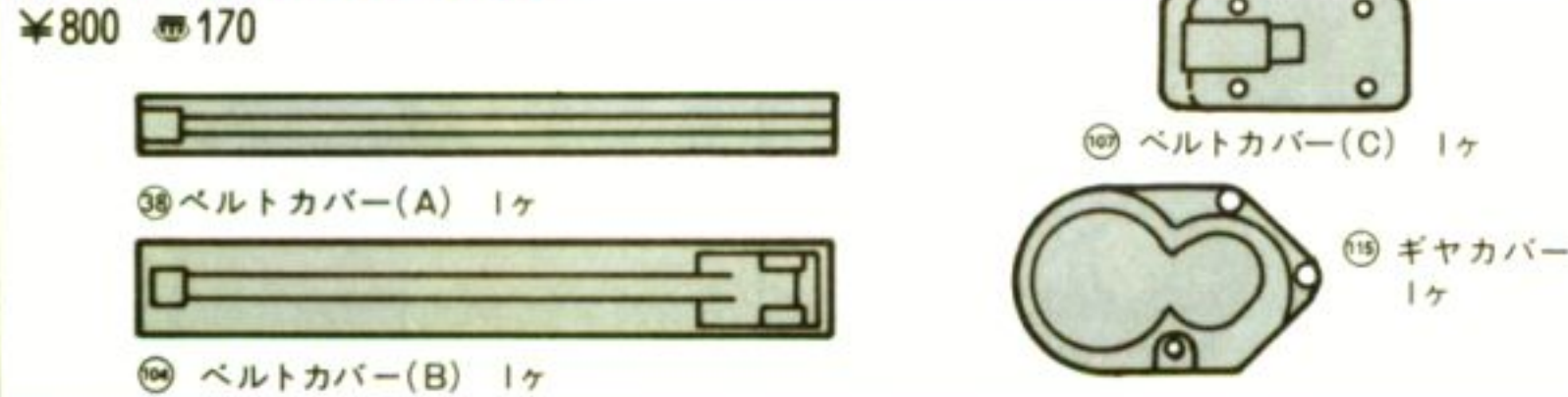
OT-100 カラーセット



OT-101 5.8φボール (黒2.6φ穴)



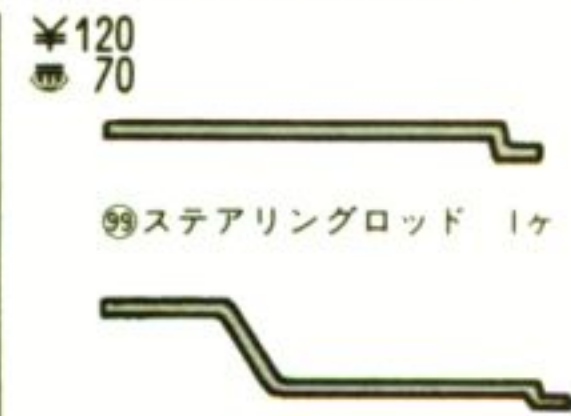
OT-102 ベルトカバーセット



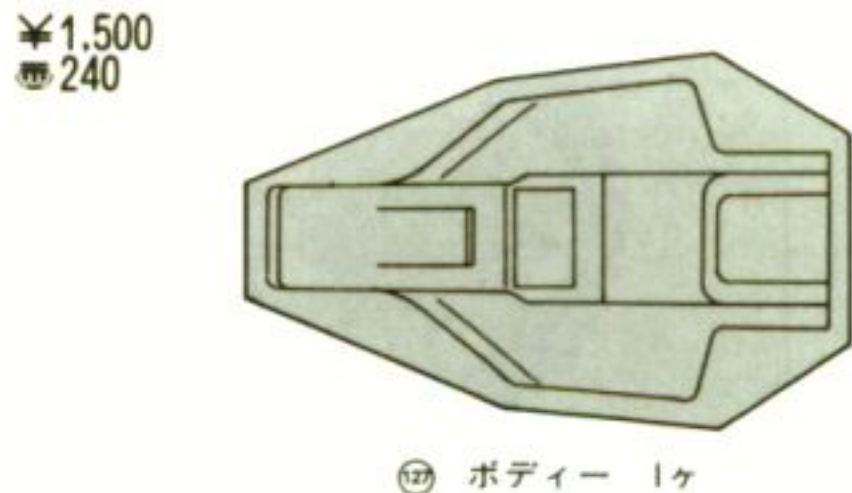
OT-103 テープセット



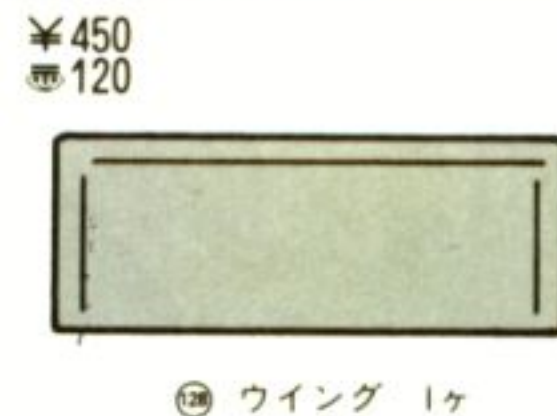
OT-105 ロッドセット



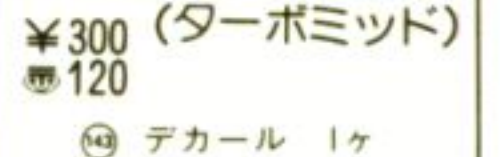
OT-106 ボディセット



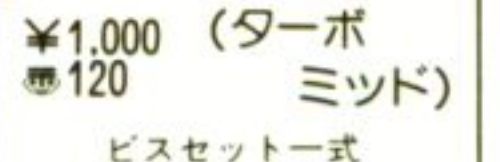
OT-107 ウイング





OT-111 デカール (ターボミッド)

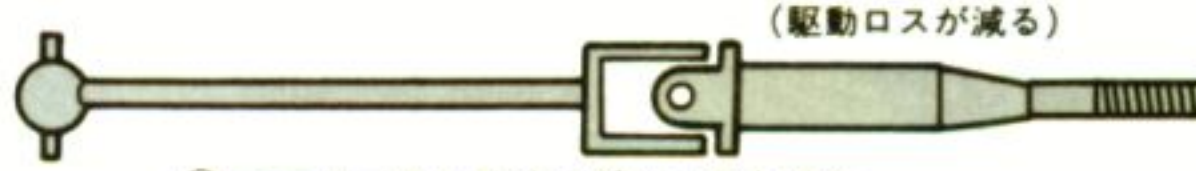


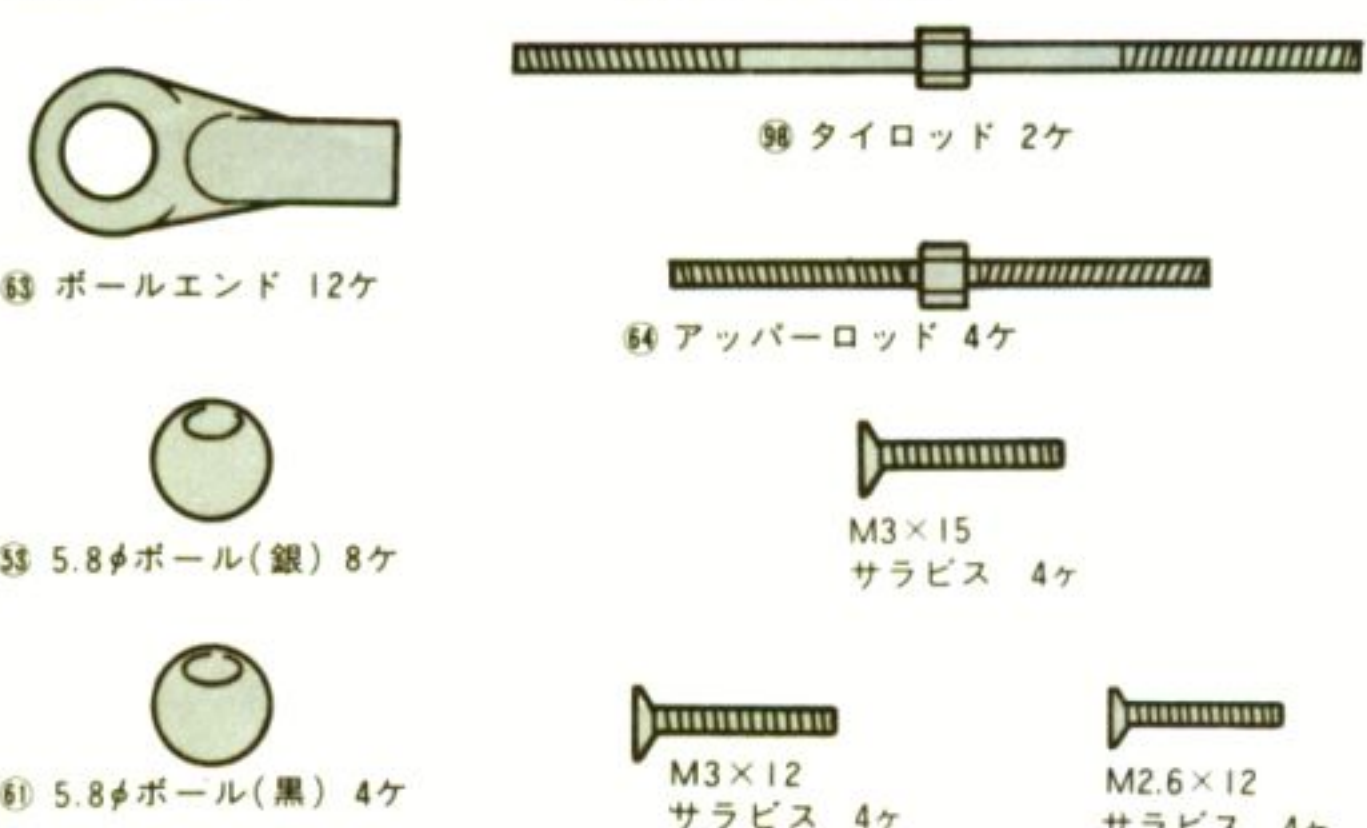
OT-112 ビスセット (ターボミッド)

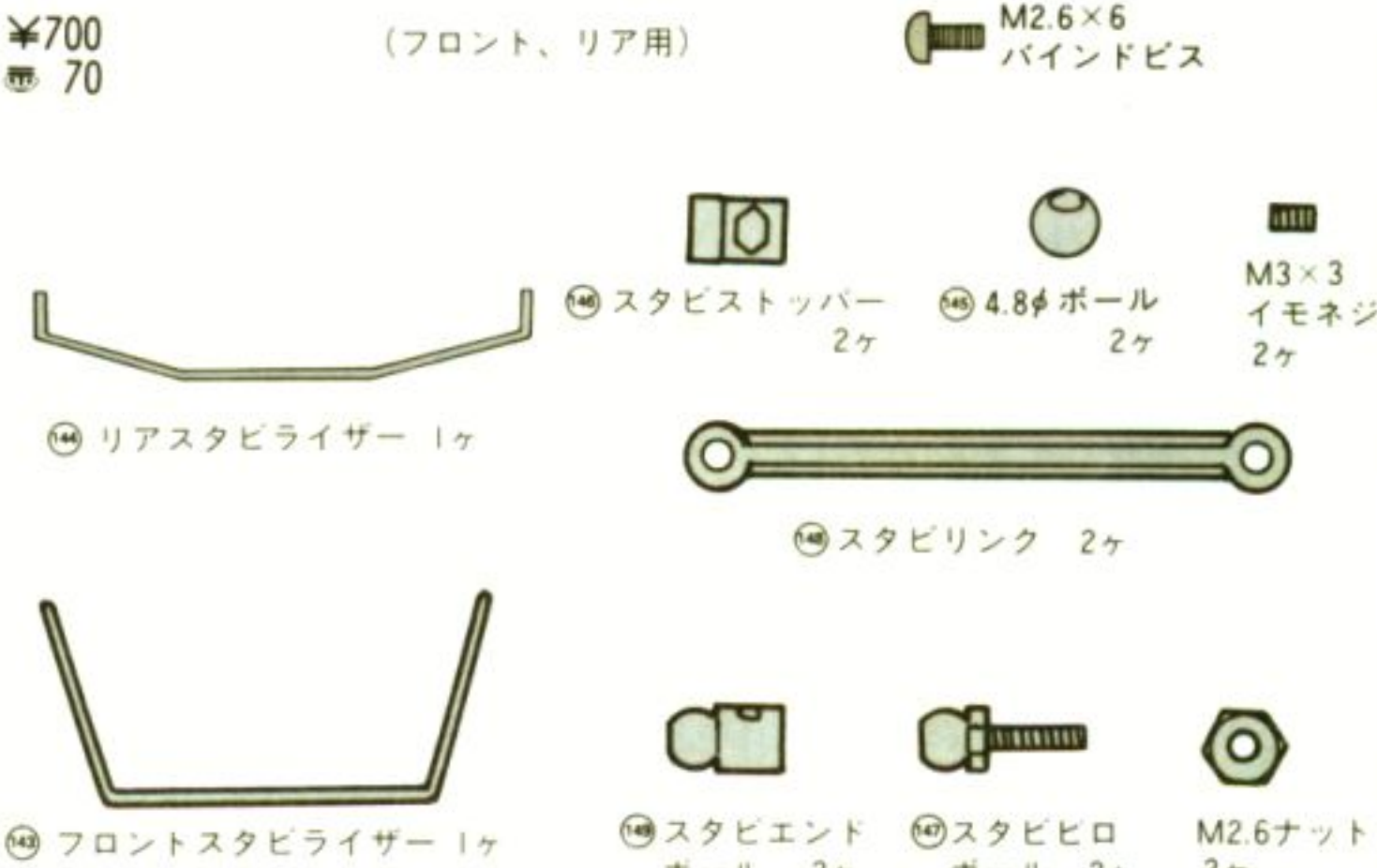


SC-40 モーターカバー
 ¥350
 120

 111 モーターカバー 1ヶ

1840 両面テープ
 ¥180
 70

 118 両面テープ 1ヶ

W-5061 ユニバーサルスイングシャフト
 ¥2,400
 120
 (駆動ロスが減る)

 48 ユニバーサルスイングシャフト 2ヶ
 5φ×12ワッシャー 2ヶ M3ナット 2ヶ

W-5005 スペシャルロッドセット
 ¥1,600 120
 (ワンタッチ調整式)

 63 ボールエンド 12ヶ
 64 アッパーロッド 4ヶ
 65 5.8φボール(銀) 8ヶ
 66 5.8φボール(黒) 4ヶ
 67 タイロッド 2ヶ
 68 サラビス M3×15 4ヶ
 69 サラビス M3×12 4ヶ
 70 サラビス M2.6×12 4ヶ


OTW-1 スタビライザーセット
 ¥700
 70
 (フロント、リア用)

 14 リアスタビライザー 1ヶ
 15 フロントスタビライザー 1ヶ
 16 スタビエンドボール 2ヶ
 17 スタビヒロボール 2ヶ
 18 スタビリンク 2ヶ
 19 スタビストッパー 2ヶ
 20 4.8φボール 2ヶ
 21 M2.6×6 バインドビス
 22 M3×3 イモネジ 2ヶ
 23 M2.6ナット 2ヶ

1878 ネジロック剤
 ¥200
 120

 132 ×2ヶ

EF-37 ストラップ(小)
 ¥180 70

 133 ストラップ(小) 6ヶ

EF-39 ニカドストラップ
 ¥400 70

 134 ニカドストラップ 6ヶ

1903 4φ×8 ベアリング
 ¥700
 70

 135 4φ×8ベアリング 2ヶ

EP-22 フックピン
 ¥100
 70

 136 ウイングピン 5ヶ

1889 ボディピン
 ¥100
 70

 137 ボディーピン 5ヶ

1911 8φ×14 ベアリング
 ¥700
 70


 138 8φ×14ベアリング 2ヶ

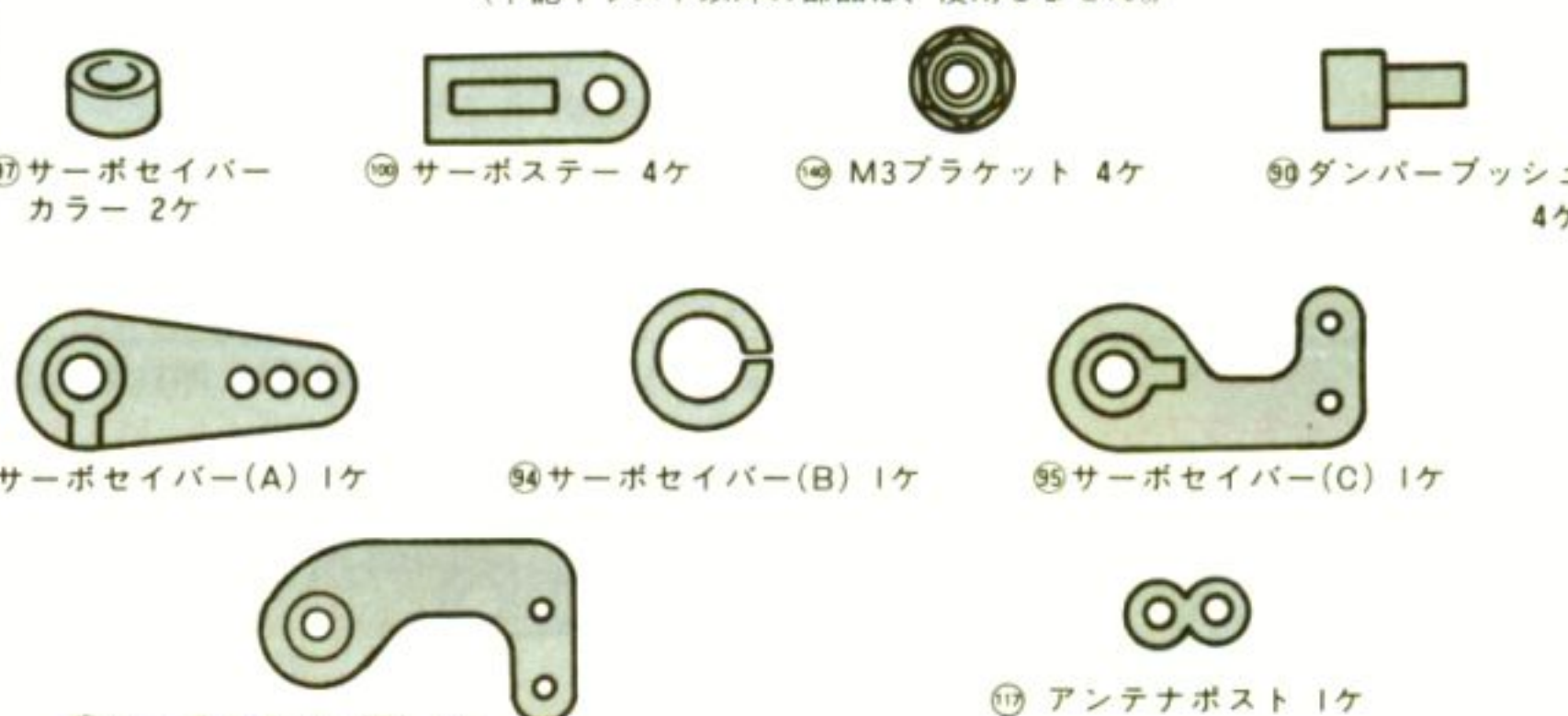
1901 5φ×10 ベアリング
 ¥700
 70


 139 5φ×10ベアリング 2ヶ

1902 5φ×8 ベアリング
 ¥700
 70

 140 5φ×8ベアリング 2ヶ

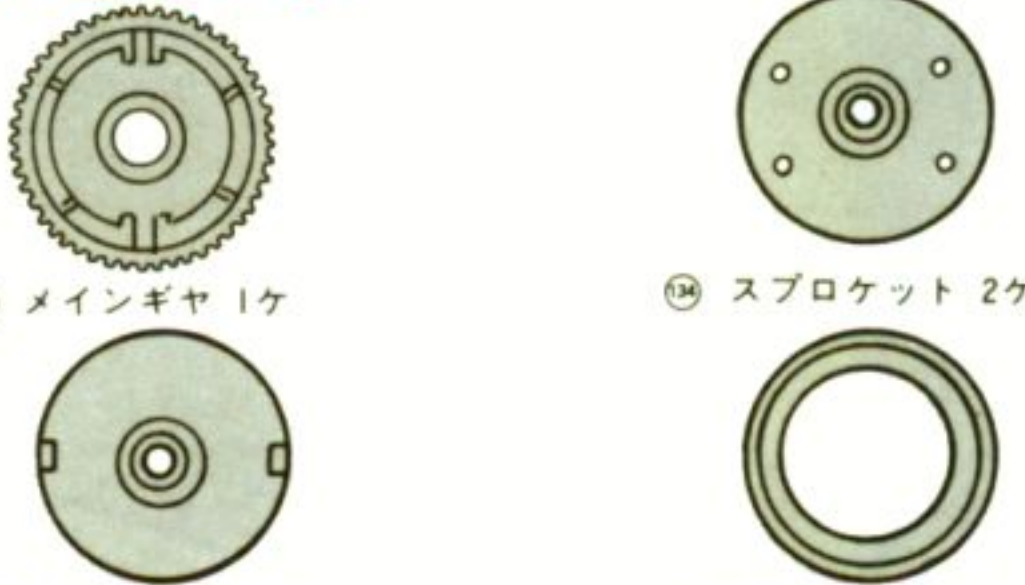
W-5001 プレッシュャーダンパー(S)
 ¥2,800
 120

 74 75 77 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 各2ヶ 79 4ヶ

UM-14 サーボセイバーセット
 ¥250
 120
 (下記イラスト以外の部品は、使用しません。)

 97 サーボセイバーカラー 2ヶ
 98 サーボステー 4ヶ
 99 M3ブラケット 4ヶ
 99 ダンパーブッシュ 4ヶ
 93 サーボセイバー(A) 1ヶ
 94 サーボセイバー(B) 1ヶ
 95 サーボセイバー(C) 1ヶ
 96 サーボセイバー(D) 1ヶ
 100 アンテナポスト 1ヶ

W-5002 プレッシュャーダンパー(L)
 ¥2,800
 120

 75 76 78 80 81 82 83 84 85 86 88 89 各2ヶ 79 4ヶ

SD-79 アンテナパイプ
 ¥250
 120

 110 アンテナパイプ 5ヶ

SG-25 スプロケットセット
 ¥550
 120

 120 メインギヤ 1ヶ
 121 デフケース 1ヶ
 122 スプロケット 2ヶ
 123 デフリグ 2ヶ

KC-20 Eリング(E-4)
 ¥120
 70

 111 Eリング(E-4) 4ヶ

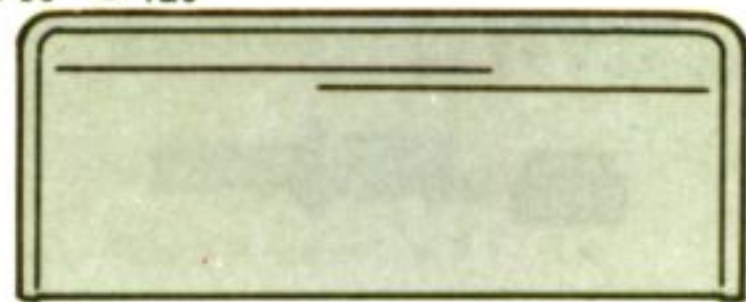
CB-72 Eリング(E-3)
 ¥100
 70

 112 Eリング(E-3) 4ヶ

オプションパーツ

OT-64 スペシャルウイング

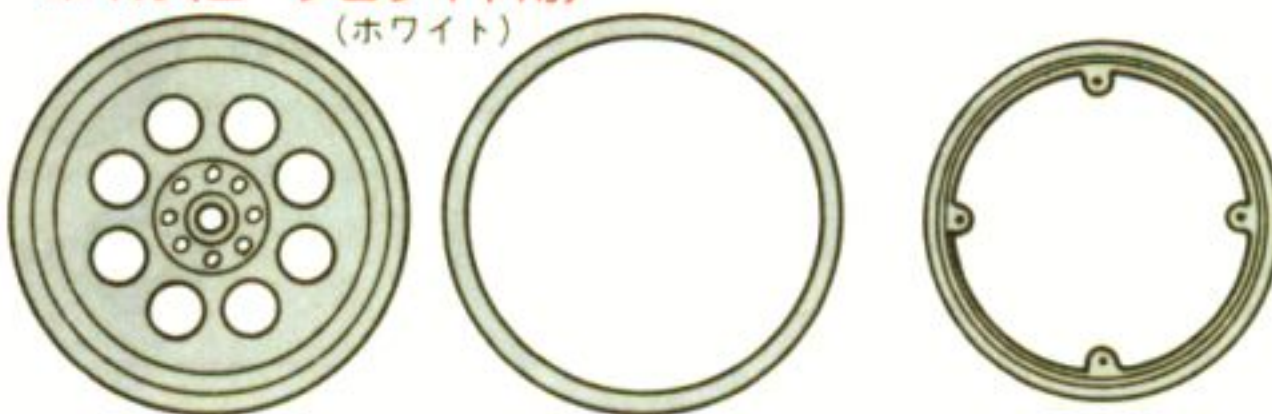
¥750 120



スペシャルウイング 1ヶ
(シルバーメッキ)

OT-67 ホイル(ロープロタイヤ用)

¥600
240



ホイール(1) 2ヶ ホイール(2) 2ヶ ホイール(3) 2ヶ

1863 スポンサー

¥600
120

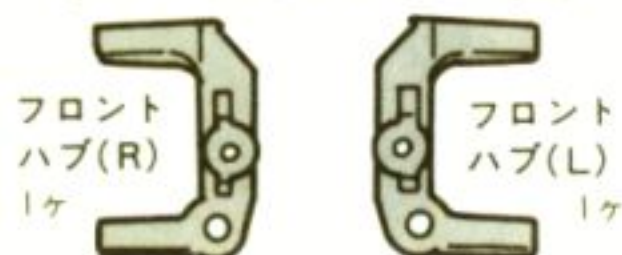
ステッカー

スポンサーステッカー 2ヶ

OT-47 フロントハブセット

¥250 (ローキヤスター)

120 (下記イラスト以外の部品は、
使用しません)
(ステアリングレスポンス向上)



フロント
ハブ(R) 1ヶ フロント
ハブ(L) 1ヶ

ハードピニオンギヤ

¥400 120

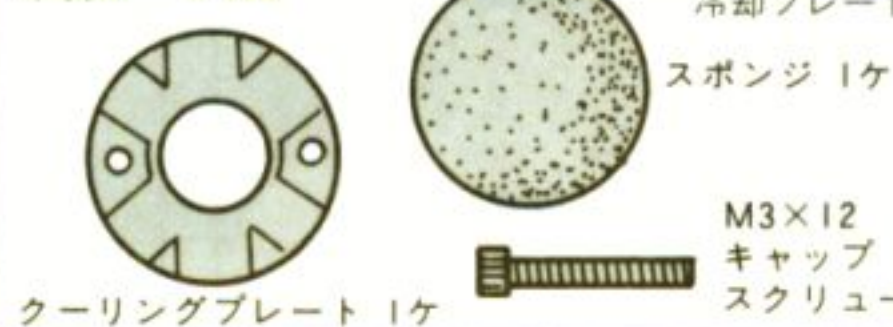
(ハードアルマイト
仕上ロングライフ)

W-5090(20T)
W-5085(15T) W-5091(21T)
W-5086(16T) W-5092(22T)
W-5087(17T) W-5093(23T)
W-5088(18T) W-5094(24T)
W-5089(19T) W-5095(25T)

LM-15 クーリングプレート

¥980 120

(ルマン、スバ専用
冷却プレート)



クーリングプレート 1ヶ スポンジ 1ヶ
M3×12
キャップ
スクリュー

1951 ダンパーオイルセット

¥800 ダンパーオイル (S.M.H)

240 セット



(ソフト・メディアム・ハードの3本セット)

1952 デフオイル

¥650 (デフ専用ハードオイル)

120



デフオイル 1ヶ

1953 シリコンオイル(S)

¥1,100 (温度変化に強い1951(S)に相当)

120



粘度100SC,200SC 各1ヶ

1954 シリコンオイル(M)

¥1,100 (温度変化に強い1951(M)に相当)

120



粘度300SC,400SC 各1ヶ

1955 シリコンオイル(H)

¥1,100 (温度変化に強い1951(H)に相当)

120



粘度500SC,600SC 各1ヶ

W-5031 ロープロタイヤ(ハード)

¥1,200
240



(硬い路面用)

ロープロタイヤ 2ヶ

UM-17 ホイルセット

¥480
240

(ホワイト) (下記イラスト以外の部品は、使用しません)



ホイール(1) 2ヶ ホイール(2) 2ヶ ホイール(3) 2ヶ

W-5032 ロープロタイヤ(ソフト)

¥1,200
240



(軟らかい
路面用)

ロープロタイヤ 2ヶ

W-5021 大径ホイール

¥700
240

(シルバーメッキ)

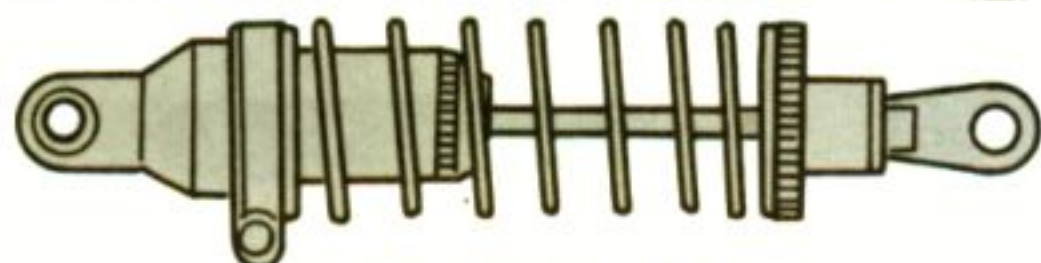


ホイール(1) 2ヶ ホイール(2) 2ヶ ホイール(3) 2ヶ

W-5003 アジャスタブルショック(S)

¥2,800
120

(減衰力ワンタッチ調整)

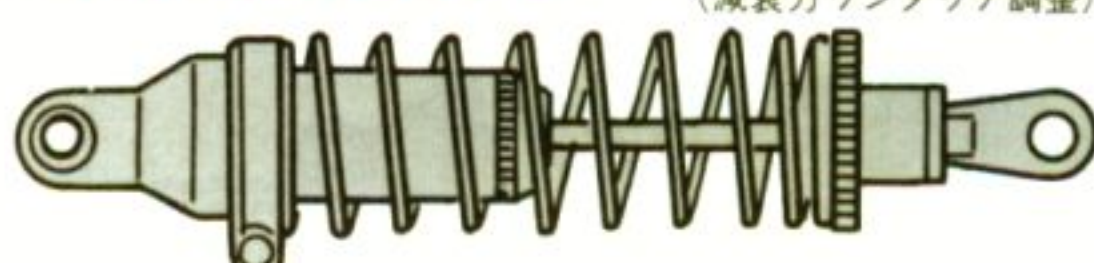


アジャスタブルショック(S) 2ヶ

W-5004 アジャスタブルショック(L)

¥2,800
120

(減衰力ワンタッチ調整)



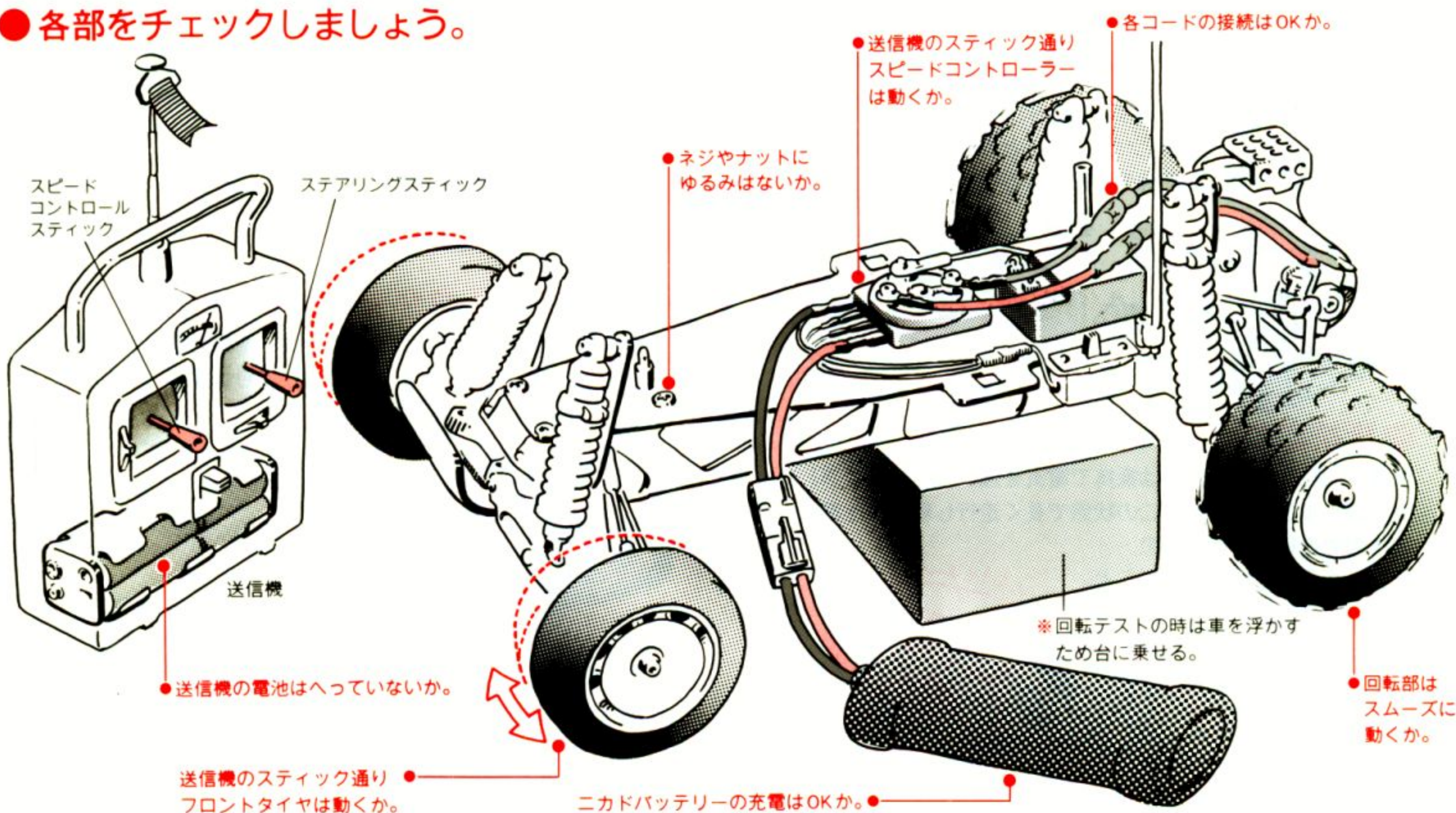
アジャスタブルショック(L) 2ヶ

MEMO

安全に走行するために 京商からのおねがい 必ず守っていただくこと

折角の高性能車、実力を十分に発揮するためには先ず正しい取り扱いから。よ〜くお読みの上で…エンジョイ RCの世界!!

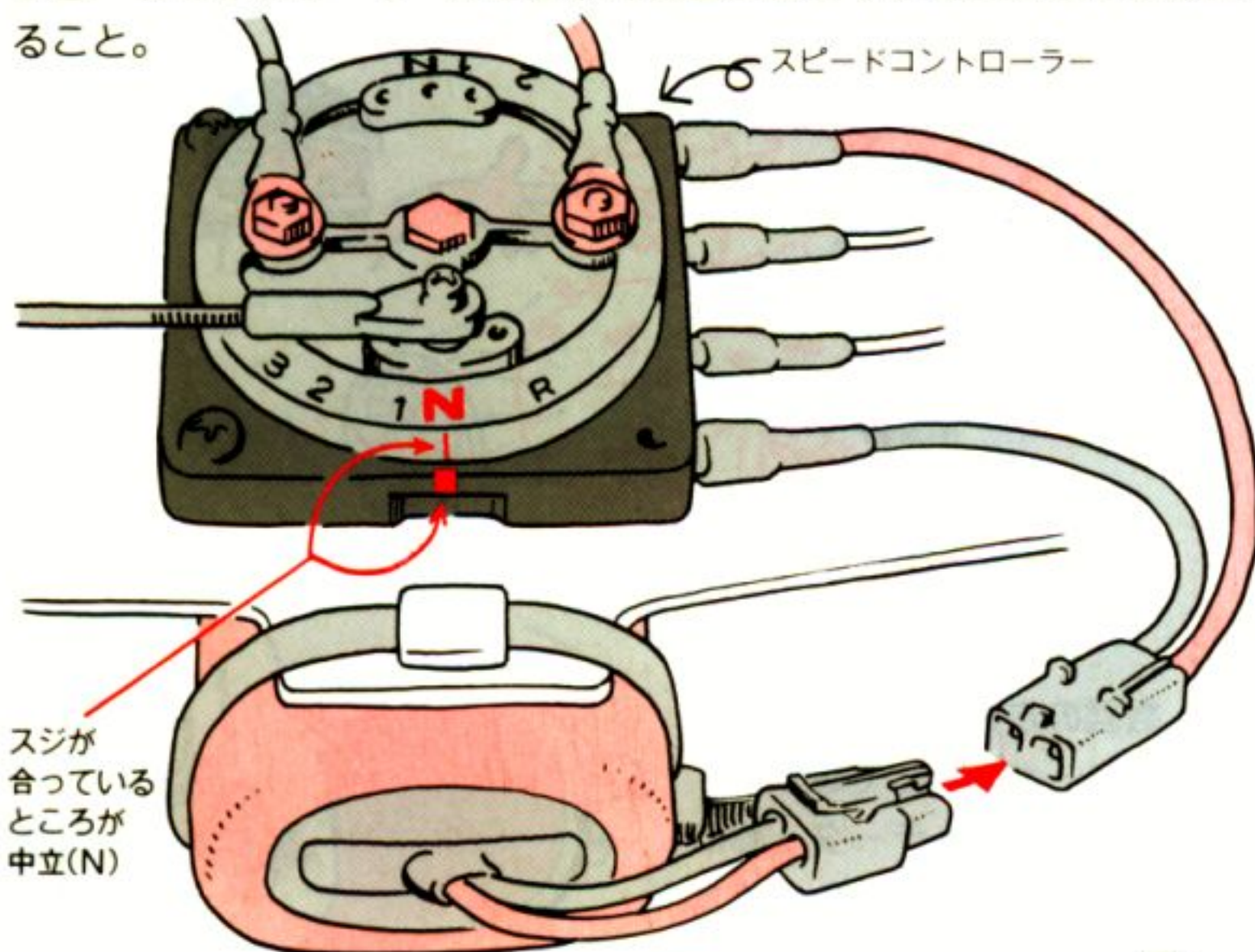
各部をチェックしましょう。



走行前

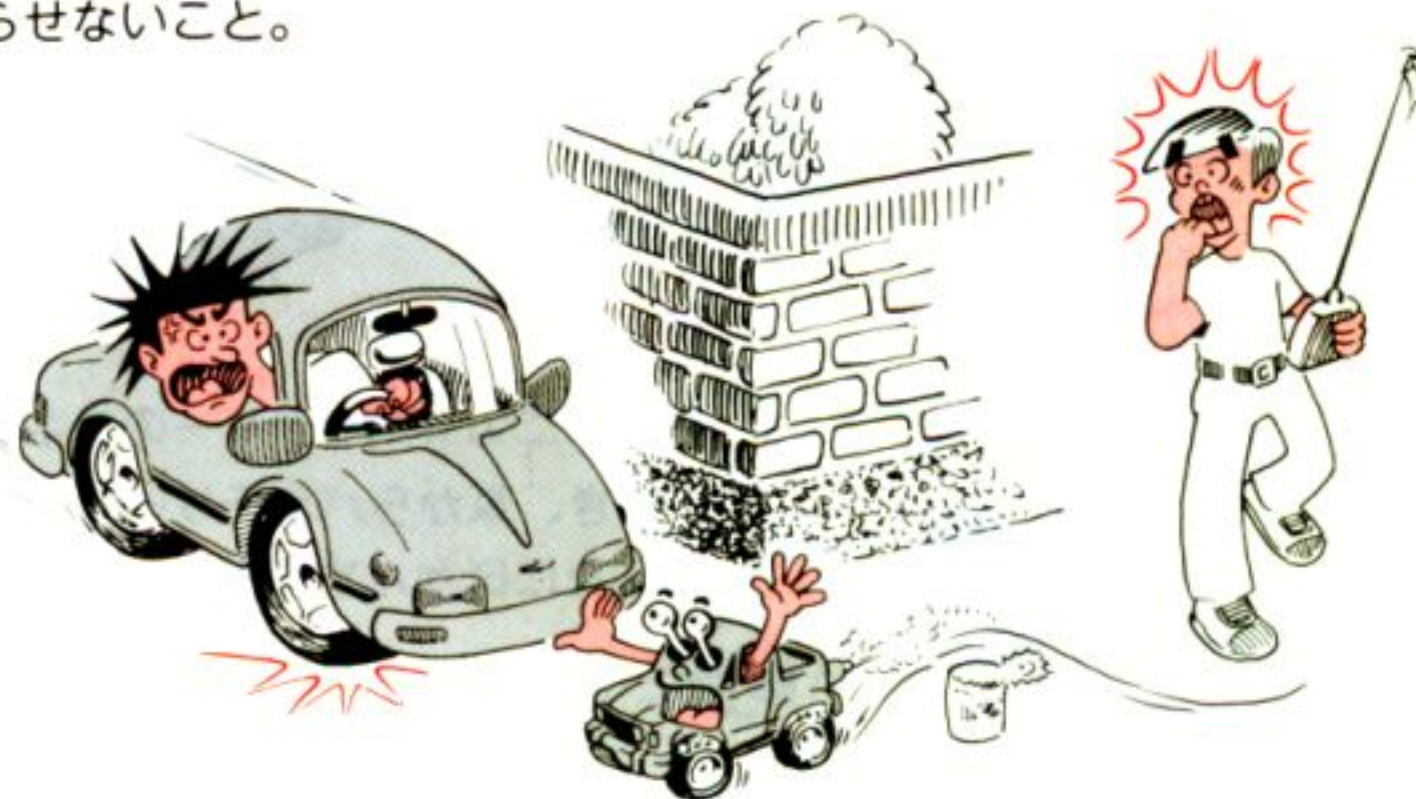
ニカドバッテリーをつなぐ時

スピードコントローラーが中立(N)位置になっていることをたしかめること。



走行させてはいけないところ

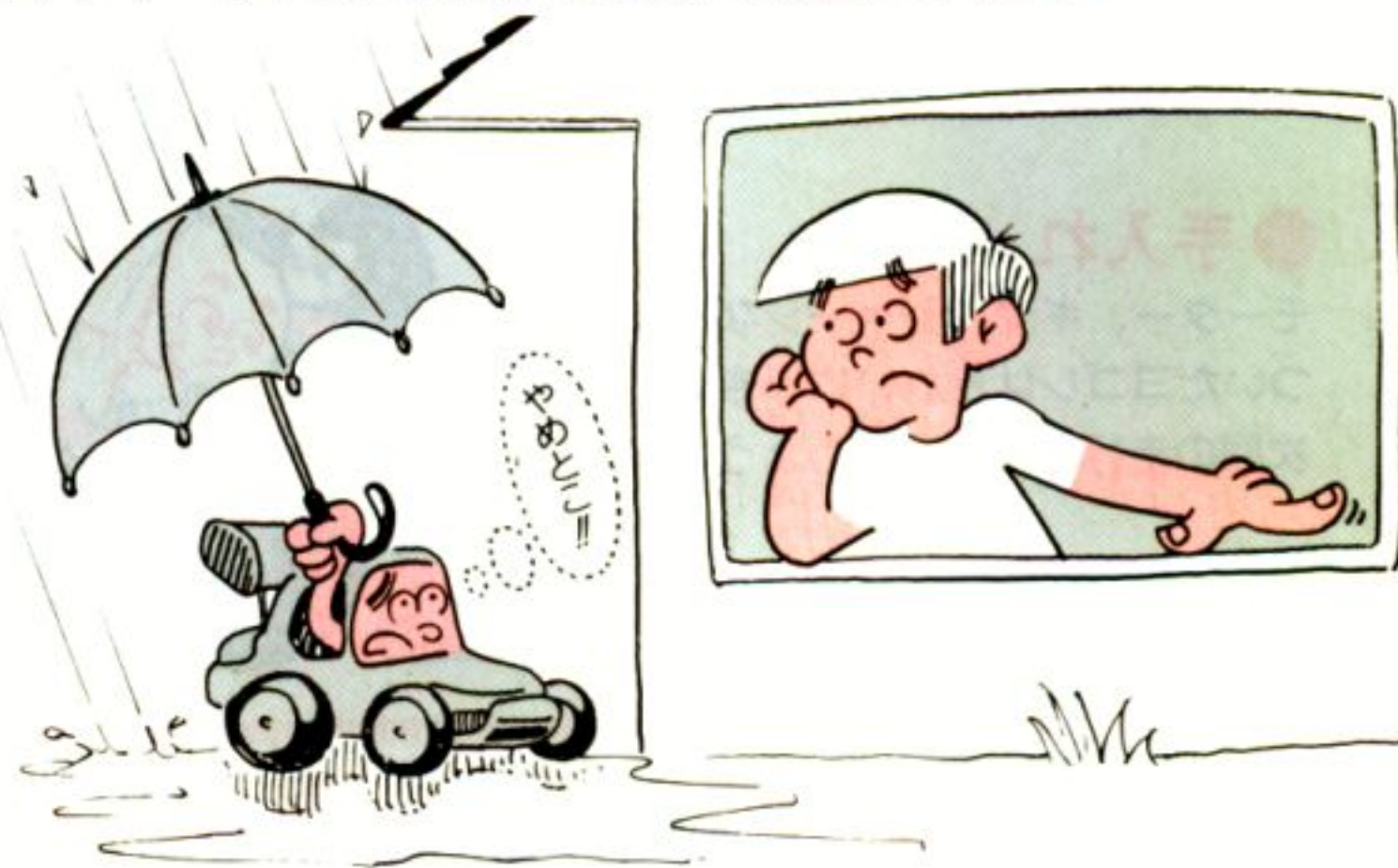
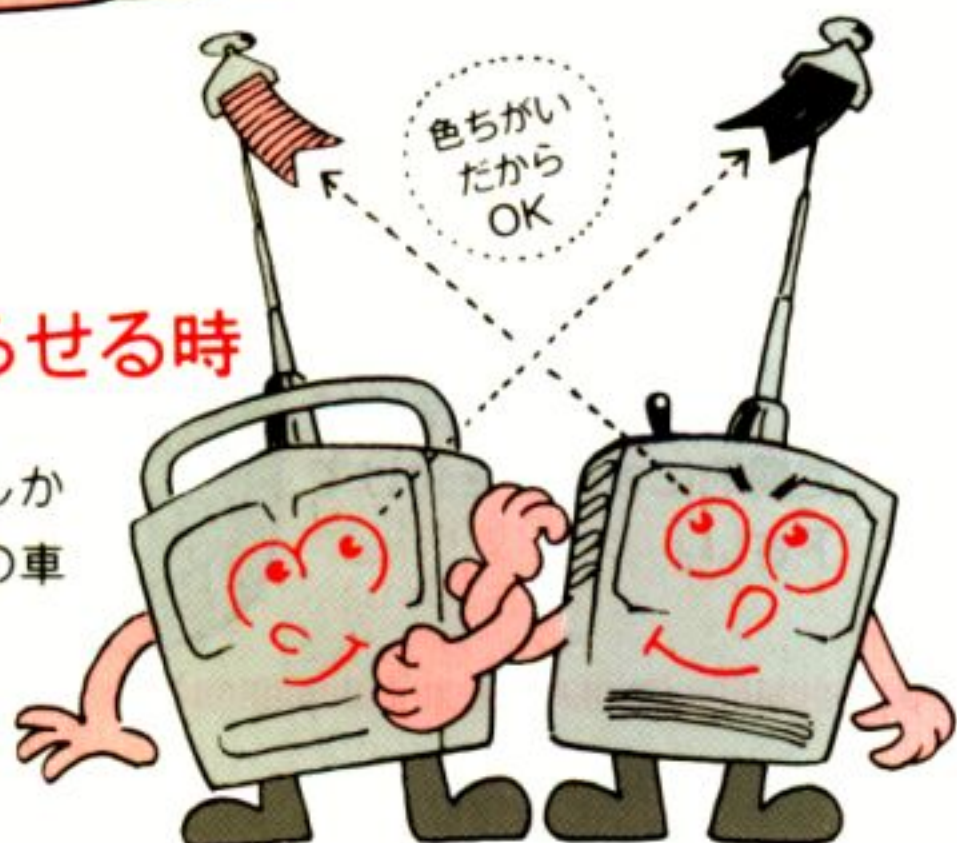
電動RCカーは高性能なニカドバッテリーを使用していますから大変スピードがでます。道路や他人のめいわくになるところではゼットイ走らせないこと。



雨や水たまりの中ではゼットイに走らせないで下さい。受信機、スイッチ、サーボなどに水が入ると故障の原因になります。

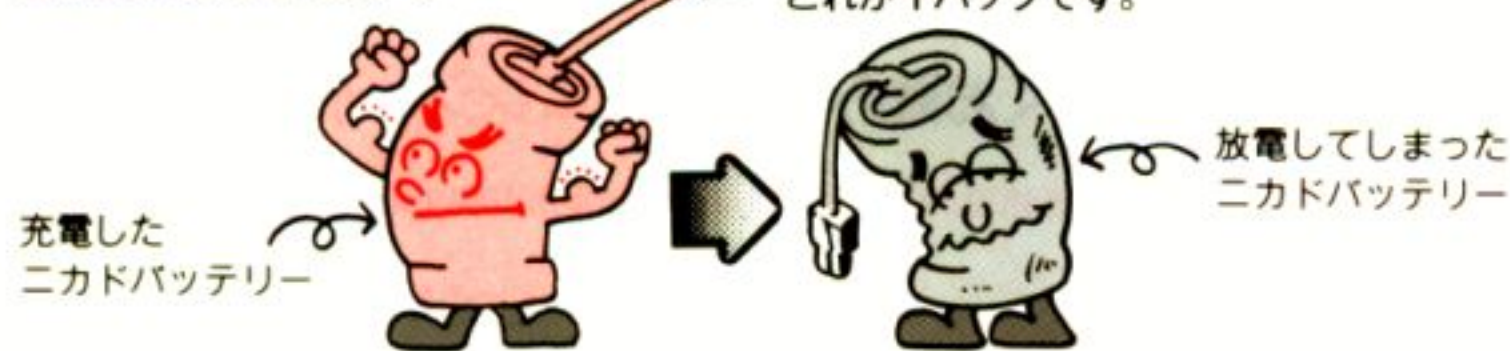
いっしょに走らせる時

必ずプロポの周波数をたしかめて下さい。同じ周波数の車を同時に走らせることはできません。



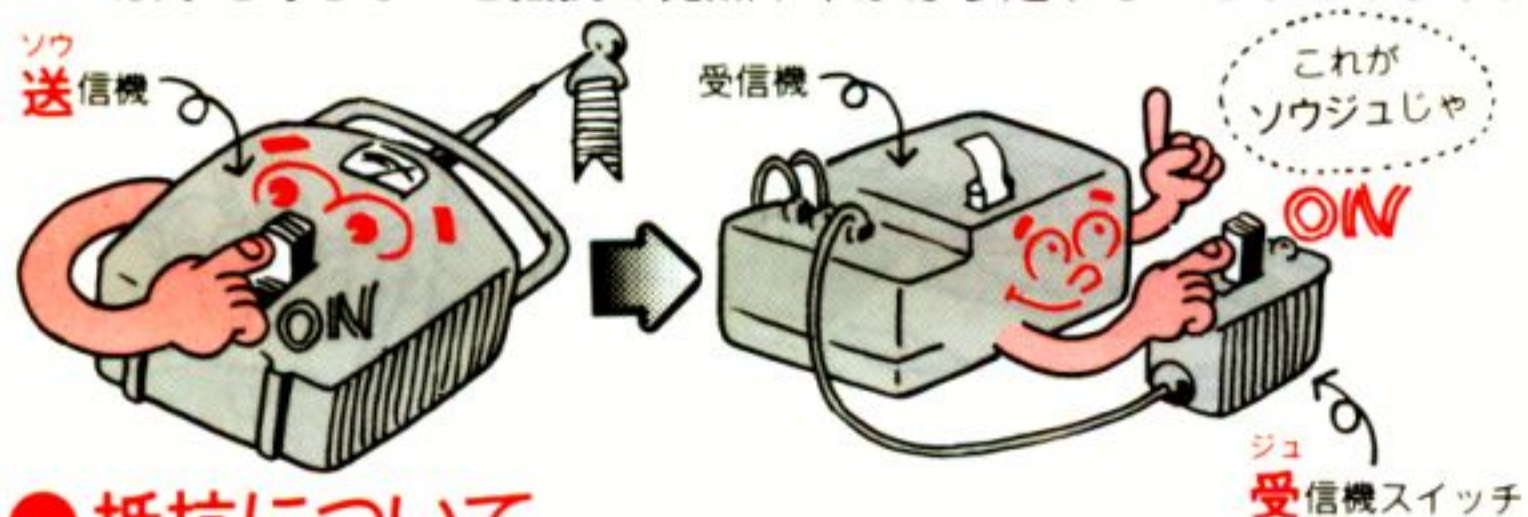
● ならし運転

初めて走らせる時はニカドバッテリー1~3パックぐらいはゆっくりと走らせて下さい。



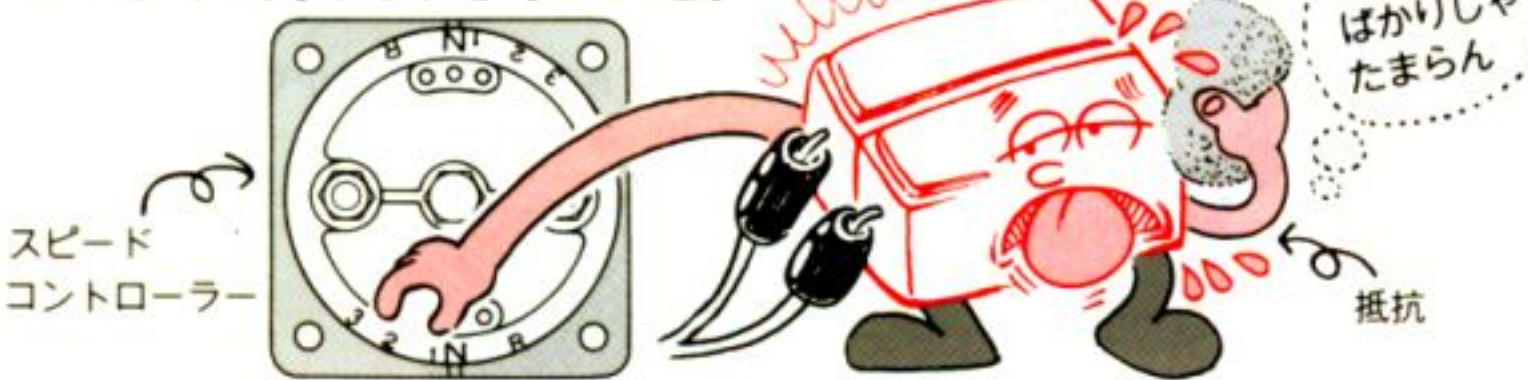
● 走らせる時のスイッチONの順序

先に送信機のスイッチを入れる。(ON)次に受信機のスイッチをON。送→受(ソウジュ)…操縦(ソウジュウ)と同じゴロにかけておぼえる。この順序を守らないと抵抗の発熱や車がほう走することがあります。



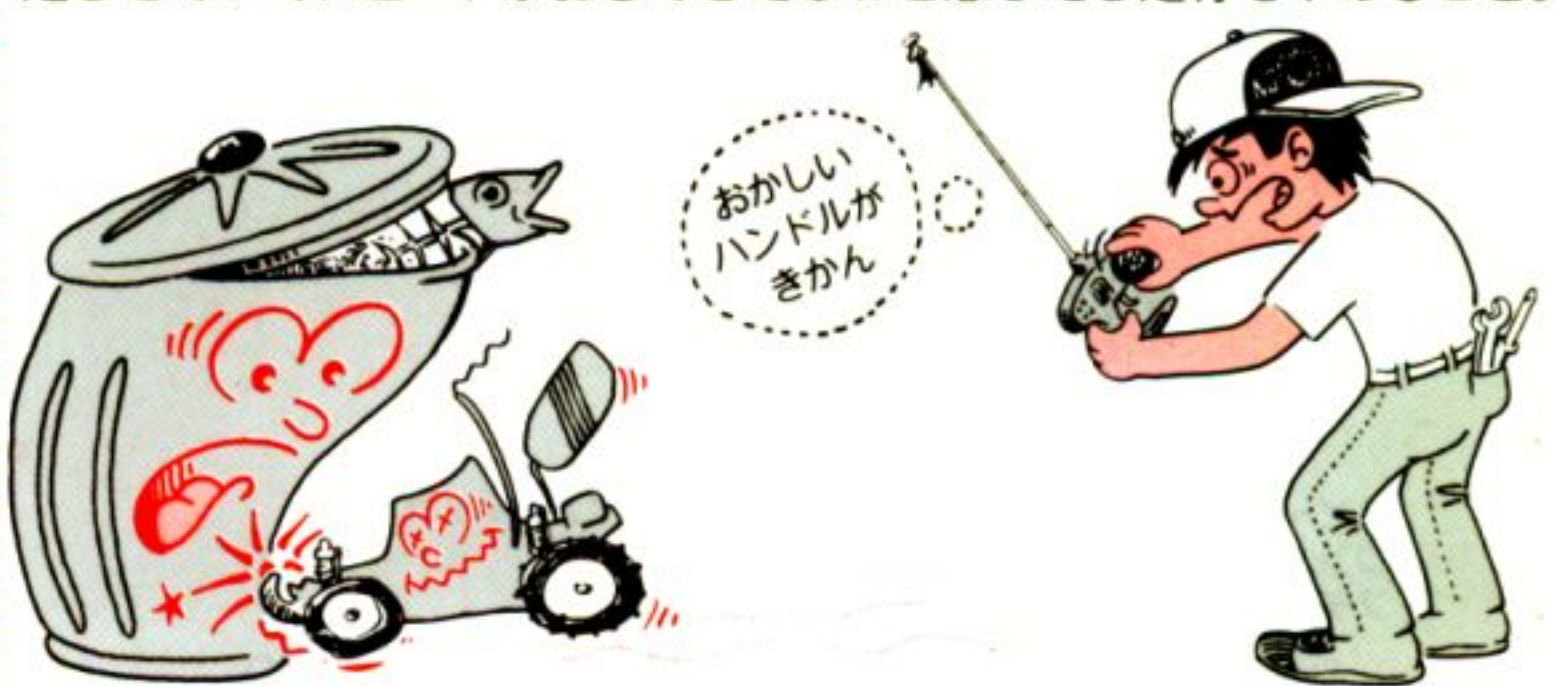
● 抵抗について

低速(1速)や中速(2速)は抵抗で電気を流れにくくしてスピードをコントロールしています。この状態で長く走行し続けると抵抗が発熱しますので走行中や走行後のしばらくの間はさわらないこと。



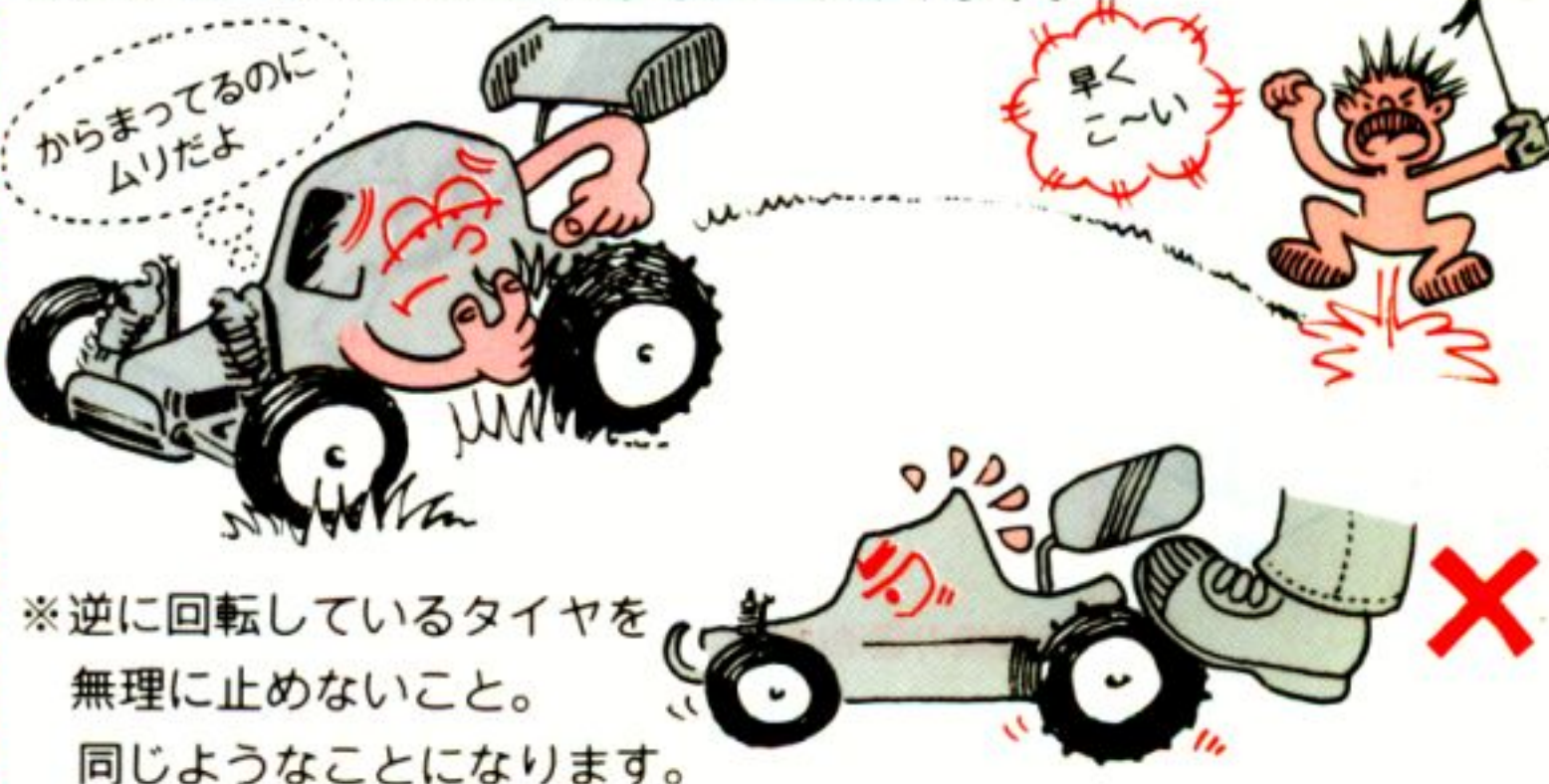
● 受信機の電池ボックスがない車

走行用のニカドバッテリーから受信機の電源をいっしょにとっている車はバッテリーの容量がへってくると受信機に電気が流れなくなり、コントロールができなくなります。走らせていてスピードがおちてきたな!!と感じたら走行をやめること。



● 走っている車が急に動かなくなった時

無理に動かそうとしないこと。モーターや配線関係が過熱してパーツをとかしたり、こわれたりすることがあります。



※逆に回転しているタイヤを無理に止めないこと。同じようなことになります。

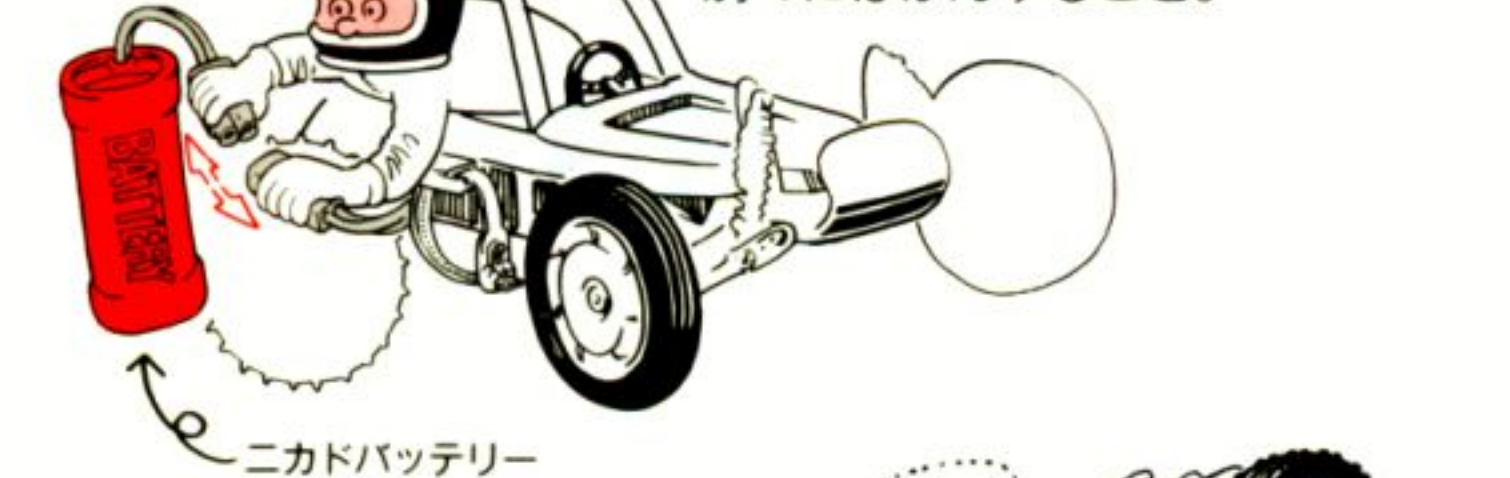
● 走行をやめる時のスイッチOFFの順序

先に受信機のスイッチを切る。(OFF)次に送信機のスイッチをOFF。つまり走らせる時の逆の順序です。



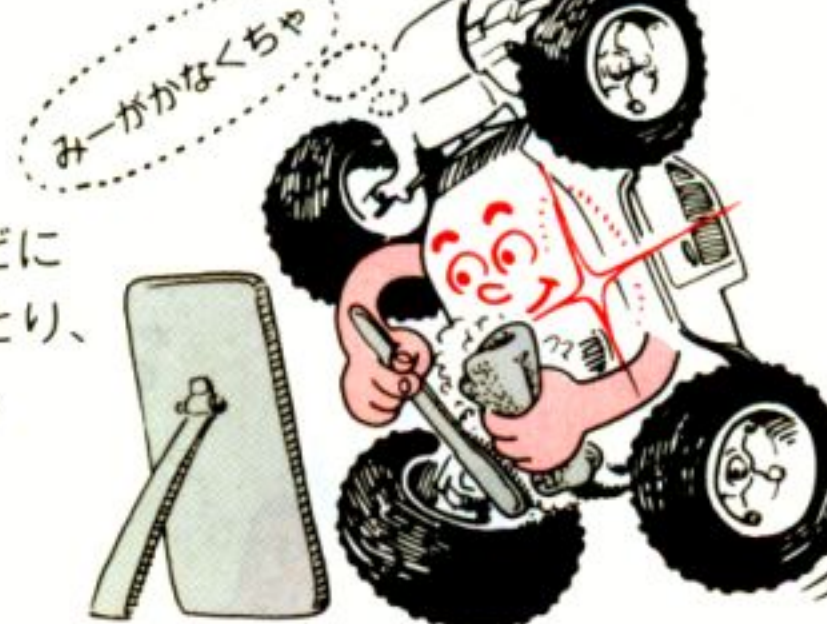
● ニカドバッテリーをはずす

必ずニカドバッテリーのコネクターをぬき、車からバッテリーをとり出し、別々にほかんすること。



● 手入れ

モーター、ギヤ、シャーシなどについたヨゴレはきれいにふきとり、次回の走行にそなえましょう。



● 走行後のモーターの取り扱い

走ったあとはモーターが発熱します。連続しての走行はモーターの寿命を短くします。冷えるのを待ってから走らせましょう。又、抵抗も走行状態によっては発熱していますのでしばらくはさわらないこと。



数回の走行でモーターのパワーが低下してきます。これはコミュテーター部にカーボンが付いたためです。ピニオンギヤをはずして15分間空回しをして下さい。

モーターの軸受け部には定期的にオイルを付けて下さい。